

東京女子高等師範學校
東京女子臨時教員養成所

一覽

自昭和十六年
至昭和十七年

東京女子高等師範學校
臨時教員養成所

一覽
至自
昭和
十六
十七
六年
年

東京女子高等師範學校一覽

自昭和十六年
至昭和十七年

目次

勅諭、令旨及御歌	一
第一 教育要旨及生徒心得	六
一 東京女子高等師範學校教育要旨	六
二 東京女子高等師範學校生徒心得	六
第二 沿革略	八
第三 學年曆	七
第四 關係法令	元
一 師範教育令	元
二 女子高等師範學校規程	三
三 文部省直轄諸學校官制(抄)	三
四 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)	三
五 文部省直轄諸學校長職務規程	三
第五 規則	三
一 東京女子高等師範學校規則	三
第一章 本科	三
第一節 總則	三
第二節 學科課程及教授時數	三
第三節 學年、學期及休業日	四
第四節 入學、在學、休學及退學	四
第五節 成績考査、修了及卒業	四
第六節 教育實習	四
第二章 研究科	四
第三章 專修科	四
第四章 選科生	四
九 高等師範學校卒業生服務規則	三
六 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集規程(抄)	三
七 文部省直轄學校外國人特別入學規程	三
八 臺灣、朝鮮人、文部省直轄諸學校入學外國人特別入學規程準用	三

- 二 東京女子高等師範學校保育實習科規則 七〇
- 三 東京女子高等師範學校附屬高等女學校規則 七〇
- 第一章 總則 七〇
- 第二章 學科課程 七〇
- 第三章 學年、學期及休業日 七〇
- 第四章 入學、在學、休學及退學 七〇
- 第五章 成績考查、修了及卒業 七〇
- 第六章 授業料 七〇
- 四 東京女子高等師範學校附屬國民學校規則 七〇
- 五 東京女子高等師範學校附屬幼稚園規則 七〇
- 六 東京女子高等師範學校生徒獎勵費給與規則 七〇
- 七 東京女子高等師範學校授業費償還ニ關スル事項 七〇
- 八 東京女子高等師範學校生徒學費支給規則 七〇
- 九 外國人特別入學規程細則 七〇
- 十 聽講生編入規程 七〇
- 十一 外國政府委託留學生及教育見習生ニ關スル規則 七〇
- 第六 細則 七〇
- 一 東京女子高等師範學校規則施行細則 七〇
- 第一章 選修科目及隨意科目 七〇
- 第二章 式日 七〇
- 第三章 入學及在學 七〇
- 第四章 成績考查 七〇

- 第五章 教育實習 七九
- 第六章 研究科及選科生 七九
- 一 寄宿舍規程 七九
- 二 生徒心得細則 八〇
- 三 一般生徒心得 八〇
- 四 寄宿舍生徒心得 八〇
- 五 通學生生徒心得 八〇
- 六 職員服務規程 八〇
- 四 職員服務規程 八〇
- 第一章 教官ノ服務 八〇
- 第二章 事務員ノ服務 八〇
- 第三章 學校醫ノ服務 八〇
- 第四章 當直ノ服務 八〇
- 五 校務分掌規程 八〇
- 第一章 教育事務 八〇
- 第二章 分課事務 八〇
- 六 圖書室規程 八〇
- 七 附屬學校幼稚園主事等職務規程 八〇
- 八 會議規程 八〇
- 九 文書處理規程 八〇
- 十 物品會計規程細則 八〇
- 十一 非常心得 八〇
- 第七 獎學資金 八〇

- 一 獎學寄附金管理規程 一〇九
- 二 獎學資金 一〇九
- 三 獎學資金ニ關スル規程 一〇九
- 第八 職員 一〇九
- 第九 生徒 一〇九
- 一 生徒氏名 一〇九
- 二 生徒兒童幼兒數 一〇九
- (一) 生徒兒童幼兒數 一〇九
- (二) 本校生徒數 一〇九
- (三) 附屬高等女學校生徒數 一〇九
- (四) 附屬國民學校兒童數 一〇九
- (五) 附屬幼稚園幼兒數 一〇九
- 三 本校生徒年齡別 一〇九
- 四 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別 一〇九
- 第十 卒業者 一〇九
- 一 本校卒業者數 一〇九
- 第十一 敷地及建物 一〇九
- 一 敷地 一〇九
- 二 建物 一〇九
- 三 建物略圖 一〇九

附錄

- 一 東京女子高等師範學校如爾報國會規則 一〇六
- 二 東京女子高等師範學校報國隊規則 一〇六
- 三 東京女子高等師範學校特設防護團規程 一〇六
- 四 東京女子高等師範學校寄宿舍生徒規約 一〇六

東京女子高等師範學校一覽

勅諭令旨及御歌

明治八年二月二日皇后陛下本校創立ノ事ヲ被聞召文部大輔田中不二麿ヲ宮中ニ召
サセラレテ賜リタル令旨

女學ハ幼稚教育ノ基礎ニシテ忽略ス可カラサル者ナリ聞ク頃者女子師範學校設立ノ舉
アリト我甚ク之ヲ悦ヒ内庫金五千圓ヲ加資セン

明治八年十一月二十九日皇后陛下本校開校式ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨

女子教育ノ根柢ヲ増益セン爲メ去年此校ヲ設置有ントスルヲ聞キ嘉尙ニ堪ヘス今經營
既ニ成リ爰ニ開業ノ典ヲ舉ク庶幾クハ自今此校ノ旺盛ニ赴キ途ニ女教ノ美果ヲシテ全
國ニ蕃結スルヲ觀ンコトヲ

明治九年二月十五日皇后陛下ヨリ賜リタル御歌

みかゝすは玉もかゝみもなにかせん學ひの道もかくこそ有けれ

明治九年九月二十五日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨
今や開業の後日尙淺しといへとも生徒の學業既に進歩の効あることを見る誠に喜ぶへし猶教員の善く導くと生徒の善く勉むるとを以て倍其上達を致さんことを望む所なり

明治十年十一月二十六日皇太后陛下皇后陛下附屬幼稚園ニ臨御アラセラレシ時皇太后陛下ヨリ賜リタル令旨

曩に此園の設けあるを聞き今其さまを觀るに幼稚の訓育稍々宜に適ひたることを知り尙倍訓育の方を竭し幼稚をして身を保ち智を増さしめむことを望む

同年同月同日皇后陛下ヨリ賜リタル令旨

人の身を保ち智を増さんは稚き時の育方にあれば此園の業もいと難かるべきをいま稚き者共の狀を觀るに其身の健にして其智の開けゆかん效までまのあたりに知られたるはまことに喜はしき事なり尙務めて此園の育方を普く敷きなは人々をして皆洪福あらしめんこと誰れか疑ふべき

明治十二年二月十三日皇后陛下第一回卒業證書授與式ニ臨御アラセラレシ時賜リ

タル令旨

此學校創めて立しより教員善く教へ生徒善く學ひ今卒業證書授與の式を觀るに至る處に喜ぶへしされと小しく成るに安んずるは人情の常ならば縦ひ業を卒れりともますく勉めて他日大に成ことあるを望む

明治十四年五月二十四日皇后陛下本校ニ臨御アラセラレシ時賜リタル令旨

生徒ノ學業年ヲ遂フテ進歩ノ効アルコトヲ見ル誠ニ喜ハシ猶教員ノ善ク導クト生徒ノ善ク勉メメントラ望ム

明治十九年五月十八日東京師範學校ニ臨幸アラセラレシ時賜リタル勅諭

本日親しく此校に臨み教務改良諸事整理の緒に就くを見るは朕か甚た喜みする所なり教官等の勉勵に因り將來益進歩する所あらんことを望む

大正四年十一月二十九日博恭王妃殿下開校四十年分立二十五年記念式ニ台覽アラセラレシ時賜リタル令旨

茲ニ開校四十年記念式ノ舉行ニ際シテ恭ク

皇后陛下ノ旨ヲ承ケ來リ臨ミテ此ノ盛事ヲ睹ル欣喜何ソ勝ヘム惟フニ明治八年昭憲皇太后ノ開校ノ式ニ臨ミタマヒシヤ深ク當局者ノ計畫ヲ嘉シ親諭シテ他日ノ効果ヲ庶幾シタマヘリ蓋今日女子教育ノ隆運ヲ馴致シタルハ其ノ胚胎セシ所亦甚遠シト謂フヘクシテ實ニ從事ノ人胆勉努力シテ懿旨ニ奉答センコトヲ期セシニ外ナラストス皇后陛下遺範ヲ紹述シタマヒ方ニ女子教育ノ事ニ御心ヲ注キテ更ニ將來ノ大成ヲ望マセタマヘハ諸員ハ宜ク益奮勵シテ敢テ或ハ懈ルコトナカルヘシ

大正十四年十一月二十九日皇后陛下開校五十年記念式ニ臨御アラセラルシ時賜リ

タル令旨

茲に親しく開校五十年記念式を擧ぐるの盛事を見る欣悦何ぞ勝へむ昭憲皇太后曩に開業の式に臨ませられ深く當路の計畫を佳尚し女子教育を發展せしむべきことを親諭せらる惟ふに今日の興隆由て來る所已に尙し從事の人常に志を此に置き又能く時世の進運に鑑みて懈ることなく業を修むる者亦意を潜めて訓育の國家人心と須くも離るへからざる所以を究めは庶幾は遺範に副ふことあらむ各自其れ之れを勉めよ

昭和五年三月二十七日皇后陛下本校ニ臨御アラセラルシ時賜リタル御言葉

本日此校ニ臨ミ詳ニ課業ノ實際ヲ見學校長ヲ始メ職員等ガ熱心ニ教導ニ當リ生徒等モ亦眞率ニ勉勵シツツアルハ満足ニ堪ヘズ此校ハ創立以來既ニ五十餘年ヲ經成績愈々揚ガリ國家社會ニ貢獻セシ所洵ニ多シ此レ實ニ昭憲皇太后並皇太后陛下ノ御懿旨ニ副フ所以タルヲ信ズ今ヤ女子教育ハ益々振興ノ必要ヲ感ゼシムルモノアリ諸子宜シク此校ノ本旨タル師範教育ガ眞ニ女子教育ノ源泉ヲ爲スヲ思ヒ一層努力ヲ加ヘ以テ時世ノ進運ニ伴ハンコトヲ期スベシ

昭和九年十月二十九日皇后陛下本校開校六十年記念式ニ臨御アラセラルシ時賜リ

タル令旨

茲に開校六十年記念式を擧ぐるに當り親しく諸子を見るは満足に勝へず昭憲皇太后曩に開業の式に臨ませられ當局の計畫を佳尚せられ他日其の美果の全國に蕃結せむことを庶幾ひ給へり今ヤ女子教育大に興り此校の成績愈々揚れるは其の淵源する所甚だ遠しと謂ふへし學校長を始め職員は夙夜匪懈して事に當り生徒等は皆善く學習を勵み常に將來の進運を期し以て此校の使命を完くせむことを望む

第一 教育要旨及生徒心得

一 東京女子高等師範學校

教育要旨

本校ハ女子教育ノ淵源ニシテ風教化育ノ依テ
生スル所ナレハ殊ニ教育ニ關スル勅語ノ趣旨
ヲ奉體シテ其ノ實効ヲ擧ケンコトヲ務ムヘシ
乾坤徳ヲ異ニシ陰陽行ヲ同シクセス本校ノ教
育ハ一ニ女子ノ性ニ順ヒテ之ヲ施スヘシ
徳義ヲ以テ教化スルハ教育ノ骨髓ナリ本校生
徒ハ他日人ノ師表母儀タルヘキ重任ヲ負フモ
ノナレハ最モ品行ノ端正志操ノ廉潔ヲ向ハシ
ムヘシ且ツ謙讓ノ美德ト進取ノ氣象トハ偏廢
スヘカラス二者其ノ宜シキヲ得シムヘシ
生徒心身ノ關係ニ注意シテ其ノ健康ヲ増進セ

シメ適實ナル教授ヲ施シ生徒ヲシテ隨テ學ヘ
ハ隨テ行ヒ所謂知行合一ヲ期セシムヘシ

二 東京女子高等師範學校

生徒心得

一 本校生徒ハ卒業ノ後國家教育ノ重任ニ當
ルヘキ者ナリ故ニ特ニ教育ニ關スル勅語ノ
大旨ヲ奉體シ徳ヲ修メ業ヲ勵ミ以テ其ノ本
分ヲ盡サンコトヲ期スヘシ
一 常ニ貞淑勤儉ヲ旨トシ聊カモ虚偽浮薄ノ
言行ヲナス可ラス言ハ衷心ヨリ發シ行ハ誠
意ヨリ出テ女子ノ師表タルヘキ徳操ヲ備ヘ
ンコトヲ務ムヘシ
一 校規學則ヲ守ルハ勿論時々ノ訓諭命令ニ

從ヒ尊長ヲ恭敬シ朋友ヲ信愛シ常ニ禮節ヲ
正シクシテ師弟ノ義長幼ノ序ヲ明ニスヘシ
一 平素衛生ニ注意シテ眠食勞逸ノ度ヲ節シ
以テ身體ノ健康ヲ増進センコトヲ務ムヘシ

第二沿革略

廣ク世局ノ進運ニ鑑ミ女子教育ノ忽ニスヘカ
ラサルヲ察シ明治七年一月文部少輔田中不二
麿ハ女子師範學校設置ノ必要ヲ具シテ太政大
臣ノ裁可ヲ乞フ茲ニ於テ文部卿ハ同年三月十
三日神田區宮本町八番地(後現時ノ本郷區湯島
三丁目二十四番地ニ變更)ヲトシテ東京女子師
範學校ヲ創立セリ之ヲ本校ノ起源トナス
明治七年 四月十四日小杉恒太郎校長ニ任セ
ラル
明治八年 二月二日皇后陛下本校ノ設立ヲ嘉
シ給ヒ御内庫金五千圓下賜セラル○七月廿九
日當校ニ於ケル學科ヲ定メラレタルヲ以テ翌
八月教則ヲ制定ス○十一月十八日中村正直代
リテ本校ノ攝理トナル○同月二十九日校舍新

築成ル仍テ開校式ヲ舉ク此ノ日皇后陛下行啓
アラセラレ令旨ヲ賜フ
明治九年 二月十五日皇后陛下御歌ヲ賜フ奉
シテ校歌トナス○四月師範學科ヲ本科ト名ツ
ケ別ニ豫備ノ教科ヲ設ケテ別科ト稱シ尋イテ
豫科ト改稱ス○六月附屬幼稚園ヲ設立シ幼兒
ノ保育ヲナス之レ本邦ニ於ケル幼稚園ノ嚆矢
ナリ○九月二十五日皇后陛下行啓アラセラレ
令旨ヲ賜フ
明治十年 十一月二十六日皇太后陛下皇后陛
下幼稚園ニ行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ
明治十一年 六月保姆練習科ヲ置ク○七月附
屬小學校ヲ創設シ練習小學校ト稱ス
明治十二年 二月十三日第一回卒業證書授與

式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令
旨ヲ賜フ○同月豫科ヲ廢ス
明治十三年 五月福羽美靜代リテ本校攝理ト
ナル○七月大ニ校則ヲ釐革シ保姆練習科ヲ廢
シ幼兒保育法ハ之ヲ本校ノ課程ニ編入シ再ヒ
豫科ヲ置ク
明治十四年 二月十二日禮節教場新設落成ノ
旨聞シ召サレ特ニ攝理ヲ召シ皇后陛下ヨリ該
教場用トシテ抱一上人筆三幅對畫幅ヲ賜フ○
四月附屬練習小學校ノ教則ヲ改メ附屬小學校
ト改稱ス○五月二十四日皇后陛下行啓アラセ
ラル○七月那珂通世校長ニ任セラル
明治十五年 七月豫科ヲ廢シ附屬高等女學校
ヲ設置シ附屬小學校ノ教則ヲ改メ附屬女兒小
學校ト改稱ス○十二月二十六日天皇皇后兩陛
下ノ御眞影ヲ下賜セラル
明治十八年 八月本校及附屬校園ヲ東京師範

學校ニ合併シ本校ヲ東京師範學校女子部ト稱
ス時ニ高嶺秀夫東京師範學校長タリ
明治十九年 二月附屬高等女學校ヲ文部大臣
官房附屬トシ東京高等女學校ト稱ス
明治二十年 四月曩ニ勅令ヲ以テ公布セラレ
タル師範學校令ニ基キ東京師範學校ヲ改メテ
高等師範學校ト稱ス○同月山川浩校長ニ任セ
ラル
明治二十三年 三月二十四日高等師範學校女
子部ヲ分離シ女子高等師範學校ト稱シ東京高
等女學校及高等師範學校附屬幼稚園ヲ本校ノ
附屬トシ別ニ附屬小學校ヲ設置シ高等師範學
校附屬小學校ノ女兒ヲ轉學セシム○同月中村
正直校長ニ任セラル○十二月二十五日御親署
勅語ヲ下賜セラル
明治二十四年 四月本校學則及寄宿舍規則ヲ
定ム○六月校長中村正直卒去村岡範爲馳校長

心得ヲ命セラルル○八月十日中川謙二郎代リテ校長心得ヲ命セラルル○八月十六日細川潤次郎校長ニ任セラル

明治二十五年 四月二十五日皇后陛下行啓アラセラル○五月附屬小學校分室ヲ設ク○九月附屬幼稚園分室ヲ設置ス

明治二十六年 二月七日皇太子殿下ノ御寫眞ヲ下賜セラル○三月附屬校園ノ規則ヲ改正ス○十月十六日皇后陛下行啓アラセラル

明治二十七年 三月秋月新太郎校長ニ任セララル○五月本校各部ノ内規ヲ定ム○六月本校教育要旨ヲ定ム○七月附屬小學校規則ヲ改正ス○十月本校規定ヲ定ム○十二月本校規則ヲ改正シテ選科ヲ置ク

明治二十八年 四月附屬高等女學校規則ヲ改正ス○十月本校生徒心得ヲ定ム○十一月寄宿舎規則ヲ改正ス

明治二十九年 五月本校規則ヲ改正シ專修科ヲ置ク○五月十八日皇后陛下行啓アラセラル○七月本校規則ヲ改正シ保姆練習科ヲ置キ十月授業ヲ開始ス

明治三十年 九月第一回家事專修科及第二回保姆練習科ノ授業ヲ開始ス○十一月高嶺秀夫校長ニ任セラル○十二月曩ニ公布セラレタル文部省令ニ基キ本校規則ヲ改メ科ヲ分チテ文科理科ノ二トシテ生徒定員ヲ二百名トス

明治三十一年 一月本校規則ヲ改メ研究科ヲ設置ス

明治三十二年 二月本校規則ヲ改正シ文科理科ノ外ニ技藝科ヲ置キ生徒定員ヲ増シテ三百名トナス○三月高等女學校令ニ基キ附屬高等女學校ノ規則ヲ改メ同月附屬小學校規則ヲ定ム○六月國語專修科地理歴史專修科ノ規則ヲ定ム

明治三十三年 一月國語專修科ヲ置ク○三月本校規則ヲ改正シ本校生徒假入學ノ件ヲ削除シ又曩ニ發布セラレタル幼稚園設備準則ニ基キ附屬幼稚園規則ヲ改正ス○五月本校規則中試驗ニ關スル件ヲ改正ス○六月國語專修科ノ名稱ヲ改メテ國語漢文專修科トナス○九月地理歴史專修科ヲ置キ授業ヲ開始ス

明治三十四年 一月第三回保姆練習科ノ授業ヲ開始ス○二月改正小學校令及小學校令施行細則ニ基キ附屬小學校規則ヲ改正ス○同月高等女學校令施行規則ニ基キ附屬高等女學校ノ規則ヲ改正シ補習科ヲ廢シテ修業年限三箇年ノ專攻科ヲ置ク○六月國語漢文專修科及附屬高等女學校ノ規則ヲ改正ス○九月第二回國語漢文專修科ノ授業ヲ開始ス

明治三十五年 一月地理歴史專修科規則ヲ改正シ修業年限ヲ延ヘテ二箇年トシ學科目中ニ

英語ヲ加フ○二月家事專修科ノ規則ヲ改正ス○三月生徒學費支給規則ヲ改正セララル○四月第二回地理歴史專修科及家事專修科ノ授業ヲ始ム○同月附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○七月本校規則中ニ改正ヲ加フ○十月二十八日皇后陛下行啓アラセラル

明治三十六年 一月國語體操專修科ヲ置ク○四月國語體操專修科ノ授業ヲ開始ス○十月文部省令第三十二號ニ基キ本校規則ヲ改正シ同時ニ附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○十二月文部省令第三十六號ニ據リ生徒學費支給規程ヲ定ム

明治三十七年 二月訓令ニ依リ附屬小學校第三部ニ二部教授ヲ施行スルコトトシ其ノ規則ヲ定ム○同月小學校令施行規則ノ改正ニ基キ附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○四月附屬小學校第三部ニ二部教授ヲ開始ス○同月文部省

令第三號ノ趣旨ヲ準用シ出征又ハ應召軍人ノ子女ニ對シ授業料ヲ免除ス○五月第三回家事專修科ノ授業ヲ開始ス○同月數學物理化學專修科ヲ設置ス○十月數學物理化學專修科ノ授業ヲ開始ス○十二月本校及附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ

明治三十八年 一月附屬高等女學校教科用書ヲ改正ス○同月國語體操專修科規則第七條試驗科目中ニ漢文ヲ加フ○三月教員服制ヲ改正ス○同月附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○四月本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月研究科生徒學資支給規則ヲ定ム○官費研究科授業ヲ開始ス○同月第二回國語體操專修科ノ授業ヲ開始ス○十一月家事專修科ノ規則ヲ改定シ修業年限ヲ延ヘテ三箇年トス

明治三十九年 三月本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月保育實習科ヲ設置ス○四月當校内ニ第

六臨時教員養成所英語科ヲ置カル○同月第四回家事專修科ノ授業ヲ開始ス○五月保育實習科ノ授業ヲ開始ス○六月生徒學資支給規則中ニ改正ヲ加フ○十月地理歷史專修科ノ規定ヲ改正シ修業年限ヲ延ヘ三箇年トス

明治四十年 二月附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○四月官費研究科第二回ノ授業ヲ開始ス○五月第三回地理歷史專修科國語體操專修科及第二回保育實習科ノ授業ヲ開始ス○六月附屬高等女學校教科用書ヲ改正ス○十一月本校規則中改正ノ豫備トシテ教育實習ニ關スル條項ヲ假定シ四十一年度ヨリ試ニ施行スルコトトス○十二月小學校令中改正ニ基キ附屬小學校規則ヲ改正ス

明治四十一年 三月文部省令第三號ニ基キ本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月三十日勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制改正ノ結

果トシテ當校ハ四月一日ヨリ東京女子高等師範學校ト改稱ス○六月本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月五日皇后陛下行啓アラセラル○十一月二十九日皇孫迪宮淳宮兩殿下成ラセラル

明治四十二年 一月第三回保育實習科ノ授業ヲ始ム○二月家事專修科ノ規則ヲ改正ス○三月前年度ニ於テ假ニ施行セル教育實習ニ關スル條項ニ基キ本校規則中ニ改正ヲ加フ○同月當校内ニ附設セラレタル第六臨時教員養成所ノ英語科ヲ廢シ更ニ家事科ヲ置カル○四月第三回官費研究科ノ授業ヲ始ム○同月外國人特別入學規程細則ヲ定ム○五月私費專修科生徒寄宿舎ヲ牛込區揚場町ニ設ケ東京女子高等師範學校寄宿舎分舎ト稱ス○同月第五回家事第四回國語體操兩專修科ノ授業ヲ始ム○十二月十三日皇孫光宮殿下成ラセラル

明治四十三年 二月二十二日校長高嶺秀夫薨

去ス○同月二十三日教授飯盛挺造校長代理ヲ命ゼラル○三月四日仙臺高等工業學校長中川謙二郎校長ニ任セラル○四月十一日第四回保育實習科ノ授業ヲ開始ス○五月六日各學科ニ主任ヲ置ク○七月一日生徒學資支給規程ヲ改正ス○十月四日圖書主任ヲ置ク○十月二十六日生徒及卒業生授業費ニ關スル件ヲ定ム○十一月十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ文科理科技藝科ヲ更ニ各第一第二部ニ分テ生徒ノ定員ヲ増シテ四百五十人トシ私費生ヲ置ク○十二月二十日寄宿舎規則中ニ改正ヲ加フ

明治四十四年 二月一日附屬校園規則中ニ改正ヲ加ヘ附屬小學校第三部ニ補習科ヲ置ク○四月小石川區原町百二十五番地ニ校外寄宿舎ヲ新設シ之ヲ第三寄宿舎ト稱シ從來ノ寄宿分舎ヲ第二寄宿舎ト改稱ス○同月寄宿舎生徒心得ニ改正ヲ加ヘ通學生徒心得ヲ定ム○五月二

十三日事務員分掌規程中ニ改正ヲ加ヘ圖書掛
ヲ新設ス○六月五日附屬高等女學校同小學校
ノ規則中ニ改正ヲ加ヘ夏季休業ヲ短縮ス○六
月十七日本郷區湯島三丁目二十三番地所在東
京高等師範學校所用土地建物ヲ本校ノ管理ニ
屬セラル○九月八日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ
本科ニ於ケル試驗科目ヲ定メテ各科共通トス
○十月七日入學志望者心得ヲ定ム
明治四十五年 一月十八日選科細則ヲ定ム○
同月二十五日生徒學費支給規程中ニ改正ヲ加
ヘ研究科ノ定員三人ヲ十人以內ニ改ム○同月
二十三日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加ヘ本園
ヲ第一分室ヲ第二部ト改メ第一部ニ於ケル
保育料ヲ増シ第二部ノ保育料ヲ徴收スルコト
トス○二月一日附屬高等女學校規則中ニ改正
ヲ加ヘ定員ヲ増シテ四百人トシ授業料ヲ増シ
專攻科學科課程ヲ改メ選科生ハ第二部ニ限リ

入學ヲ許スコトトス○三月二十八日附屬小學
校規則中ニ改正ヲ加フ○四月第三寄宿舎ヲ牛
込區赤城元町二十五番地ニ移シ第二寄宿舎ヲ
第六臨時教員養成所寄宿舎トナス○六月三日
皇后陛下行啓アラセラル○六月十二日第一回
女子通俗講話會ヲ開催ス○六月三十日職員心
得及附屬校園職務規程ヲ定ム○七月六日皇太
子皇太子妃兩殿下ノ御寫眞ヲ下賜セラル仍テ
明治二十六年二月下賜セラレタル皇太子殿下
ノ御寫眞ヲ返納ス
大正元年 十月十二日本校規則中ニ改正ヲ加
ヘ從來生徒ハ地方長官ノ薦舉ニ依ルモノナリ
シヲ其ノ出身學校長ノ薦舉トナシ同時ニ入學
志望者心得ヲ改ム○同月十五日學科目主任ヲ
置ク○同月二十三日學校醫職務規程ヲ定ム○
同月二十八日明治四十五年六月三日皇后陛下
行啓ノ節下賜セラレタル金員ヲ恩賜獎學資金

トシテ永久ニ保管スルコトトス○同月三十日
圖書室規程ヲ定ム
大正二年 一月二十四日生徒學費支給規程中
ニ改正ヲ加フ○三月三日共通學科主任ヲ置キ
同日女子教育研究部ヲ設ケ主任ヲ置ク○三月
八日本校規則中ニ改正ヲ加フ○四月一日附屬
校園規則中ニ改正ヲ加フ○東校舎ニ接續シテ
増築セル本校々舎一部竣工ス○第二寄宿舎ヲ
本郷區森川町一番地ニ設ク○同月十一日本校
生徒ニ佩用セシムヘキ徽章ヲ定ム○五月二十
一日女子教育研究部規程ヲ定ム○七月二十四
日西校舎明治八年築造ヲ取毀ツ○十二月十八
日警局ヲ新設シ主任ヲ置キ其ノ職務規程ヲ定
ム○同日寮務掛ヲ新設シ事務員事務分掌規程
ヲ改正ス
大正三年 二月二日必要アル場合ニ於テハ各
科ニ副主任ヲ置クコトトシ技藝科ニ副主任ヲ

置ク○二月十九日附屬高等女學校並附屬小學
校規則中ニ改正ヲ加ヘ附屬小學校ノ補習科ヲ
廢シ附屬高等女學校ニ修業年限二年ノ實科
ヲ置ク○三月五日獎學寄附金管理規程ヲ定ム
○三月二十日東校舎ニ接續シテ増築セル校舎
落成ス○三月二十三日本校規則中ニ改正ヲ加
ヘ技藝科ヲ家事科ト改稱シ文科及理科ニ於ケ
ル第一第二ノ部別ヲ廢シ學費ハ總ヘテ自費ト
ナス○三月三十一日附屬高等女學校實科規則
ヲ定メ四月一日ヨリ實施ス○四月十五日保育
實習科主任ヲ置ク○六月十日附屬高等女學校
專攻科及實科ニ主任ヲ置ク○七月十日各學級
ニ主任ヲ置ク○九月七日附屬高等女學校同小
學校規則中ニ改正ヲ加ヘ附屬高等女學校ニ於
ケル教育ヲ必修科目トシ生徒ノ定員ヲ増シテ
五百人トナス○十一月十二日生徒獎勵費給與
規程ヲ定ム○十一月十七日本校及附屬高等女

學校卒業式日ヲ三月二十七日ニ改メ同小學校卒業式日ヲ三月二十六日トナス○十一月二十一日外國人特別入學規程細則中ニ改正ヲ加フ○十二月一日昭憲皇太后御遺物梨子地桐鳳凰蒔繪御料紙文匣同硯箱ヲ下賜セラル

大正四年 一月物品會計規程細則ヲ定ム○二月二十五日保育實習科規程ヲ改正シ授業料ヲ徵收スルコトトナス○同月同日寄宿舎規則中ニ改正ヲ加フ○同月同日附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○三月十二日會議規定ヲ改メ教授會ヲ設ク○三月二十七日家事參考品室ヲ設ク○四月十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ入學檢定料ヲ徵收スルコトトシ選科生ノ授業料ヲ定ム○四月二十四日第二回女子通俗講話會ヲ開催ス○五月二十八日外國人特別入學規程規則中ニ改正ヲ加ヘ入學檢定料ヲ定メ附屬高等女學校專攻科ニ入學スル者ノ授業料ヲ定ム○八月二

日學科主任學級主任及學科科主任規程ヲ定ム○八月三日庶務教務會計ノ三掛ニ掛長ヲ置ク○八月十四日高等女學校令施行規則ノ一部改正ニ基キ附屬高等女學校實科規則中ニ改正ヲ加フ○九月三日附屬高等女學校專攻科規則ニ改正ヲ加ヘ同科卒業者ニシテ相當ノ成績ヲ得タル者ハ無試驗檢定ニ依リ家事科教員ノ免許狀ヲ授與セラルル途ヲ開ク○十月一日勳章授與式例第五條ニ依リ勳章授與式次第ヲ定ム○十月二十一日天皇陛下御眞影ヲ下賜セラル○十一月五日第三回女子通俗講話會ヲ開催ス○十一月卒業者ノ爲講習會ヲ開催スル計畫ヲ以テ其ノ第一回ヲ開ク○十一月即位ノ大禮ヲ行ハセラレタルニ付此ノ曠古ノ盛典ヲ記念スル爲大禮記念文庫ヲ設ク○十一月二十九日開校四十年分立二十五年記念式ヲ舉行ス當日天皇陛下思召ヲ以テ特ニ博恭王妃經子殿下ヲ御

差遣アラセラレ殿下ヨリ令旨ヲ賜フ此ノ日昭憲皇太后ノ御下賜品御遺物等ノ保管並明治時代ニ於ケル我カ國文化ノ發達變遷ヲ記念スヘキ物品ノ陳列ヲナスクメ明治記念室ヲ設ク○十二月十七日明治記念室主任ヲ置ク

大正五年 一月十四日庶務主任及教務主任ヲ置ク○一月十五日圖書主任ヲ圖書室主任ト改メ其ノ規程ヲ定ム○三月二十八日圖書室規程ヲ改正ス○四月寄宿舎生徒心得及通學生徒心得ヲ改ム○五月十六日附屬校園規則中ニ改正ヲ加フ○五月二十五日教育實習ニ關スル規程ヲ定ム○六月十二日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加フ○六月十四日日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ本科入學志願者年齢十七年ヲ十六年トス○六月十八日第四回女子通俗講話會ヲ開ク○七月十二日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○八月四日獎學資金ニ關スル規程ヲ定ム○十月

二十一日皇后陛下、皇太子殿下御眞影ヲ下賜セラル○十月二十三日皇后陛下行啓アラセラル○十一月卒業者第二回講習會ヲ開ク

大正六年 六月九日第五回女子通俗講話會ヲ開ク○六月十一日東京普樂學校長湯原元一校長ニ任セララル○七月六日前校長中川謙二郎名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○七月二十五日卒業者第三回講習會ヲ開ク○十一月二十七日日本校ニ於ケル重要事項ヲ評議スル機關トシテ評議員ヲ設ケ十二月六日其ノ規程ヲ實施ス

大正七年 四月二十五日卒業生ノ身上ニ關スル取扱内規ヲ定ム○五月二十五日第六回女子通俗講話會ヲ開ク本會ハ從來本校ノ事業トシテ繼續シ來リシカ今回之ヲ卒業生團體櫻蔭會ノ事業ニ移ス○六月五日東伏見宮妃周子殿下台臨アラセラル○八月一日卒業者等第四回講習會ヲ開ク○十月一日退職職員送別ニ關スル

内規ヲ定ム○十一月二十八日教育實習ノ改善ヲ圖ル爲假規定ヲ定メ試ニ之ヲ實施ス
大正八年 三月附屬高等女學校專攻科卒業者ニ對シ無試驗檢定ニ依リ中等教員家事科免許狀授與ノ特典ヲ得○四月四日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ家事科第二部ヲ廢シ家事科第一部ヲ家事科トナス○同月同日圖畫專修科設置規則制定ノ許可ヲ得新ニ修業年限三箇年ノ圖畫專修科ヲ置ク○四月十六日學科主任學級主任及學科目主任規程ニ改正ヲ加ヘ學級主任ヲ止ム○四月二十六日寄宿舎内規及通學生心得ヲ改正ス○圖畫專修科主任及副主任ヲ置ク○五月十九日圖畫專修科ノ授業ヲ始ム○五月三十一日寄宿舎規則ヲ改正ス○十月八日現代ニ於ケル内外ノ情勢ニ就キ精確ナル理解ト正當ナル判斷トヲ與フル目的ヲ以テ現代科ヲ置ク
大正九年 三月三十一日許可ヲ得テ附屬小學

校規則中ニ改正ヲ加ヘ第三部ニ於ケル授業料ヲ徵收スルコトトス○大正八年度中ニ於テ寄宿舎食堂及寮舎ノ一部改築ヲ了ス○六月九日附屬高等女學校專攻科ニ於ケル夏季休業ノ期間ヲ改メテ本校同様トナス
大正十年 二月十七日許可ヲ得テ本校並圖畫專修科規則中ニ改正ヲ加ヘ入學試驗科目中ニ英語及代數初歩ヲ加ヘ教育實習期間ヲ減縮ス○三月十六日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加ヘ專攻科ニ於テ從來ノ第一部第二部ヲ廢シテ新ニ國語部英語部家事部ノ三部ヲ置ク○四月二十六日書記ノ定員ヲ増シテ七名トス○五月四日外國人特別入學規程細則中ニ改正ヲ加フ○七月九日豫テ當校職員及櫻蔭作樂兩會員中ニ於ケル有志ノ醜金ヲ以テ當校開校四十年分立二十五年祝賀記念ノタメ建築ニ計畫アリシカ工事落成ヲ告ケタルヲ以テ本日之ヲ當校

ニ寄贈セリ仍テ受ケテ記念館ト稱ス○十一月九日校長湯原元一東京高等學校長ニ轉任松本高等學校長茨木清次郎校長ニ任セラル○十二月十四日本校及附屬校園規則中ニ改正ヲ加ヘ本校選科附屬各部ニ於ケル授業料保育料ヲ増額シ附屬高等女學校生徒ノ檢定料並入學料ヲ増徴スルコトトス又保育實習科ノ定員ヲ増シテ二十名トシ同時ニ授業料ヲ増シ檢定料ヲ徵收スルコトトス
大正十一年 三月三日附屬高等女學校實科規則中ニ改正ヲ加フ○七月十四日文部省告示ヲ以テ中等教員無試驗檢定ニ關スル指定學校及學科中ニ改正ヲ加ヘラレタルニ依リ當校附屬高等女學校專攻科卒業者ニ對シ國語部ニ在リテハ國語英語部ニ在リテハ英語家事部ニ在リテハ家事ノ免許狀ヲ授與セラルコトトナレリ

大正十二年 九月一日午前十一時五十八分稀有ノ大地震アリ棟瓦建ノ校舍(本部)ハ龜裂ヲ生シ加フルニ破壞墜落セシ箇所多ク到底再ヒ使用スルニ堪ヘサル程度ノ損害ヲ被リシカ木造ノ校舍ハ其ノ一部ノ屋根瓦搖落セシニ止リ被害比較的少カリシモ西方ヨリノ延火ニ依リ僅ニ表門々衛所一棟ヲ燒シテ午後五時悉ク類焼ノ災ニ罹レリ但御眞影其ノ他貴重品ハ之ヲ奉遷シ緊要書類ハ其ノ一部分ヲ搬出スルヲ得タリ○九月二日東京音樂學校内ニ假事務所ヲ設ケ應急事務ヲ開始ス○九月十七日御眞影其ノ他貴重品ヲ一時宮内省ニ保管方顯出ツ○十月一日假事務所ヲ東京府女子師範學校内ニ移シ同時ニ假教場及假寄宿舎ヲ設ク即チ東京府女子師範學校内ニ本校ノ一部及附屬高等女學校專攻科假教場ヲ東京高等師範學校内ニ本校ノ一部及附屬小學校ノ假教場ヲ女子學習院内ニ

附屬高等女學校本科及實科ノ假教場ヲ帝國女子專門學校内ニ本校ノ一部及附屬幼稚園假保育場ヲ設ケ東京育學校内ニ第一假寄宿舎ヲ東京府立第五高等女學校内ニ第二假寄宿舎ヲ置ク○十月十五日附屬小學校ノ授業ヲ始ム○十月二十二日附屬高等女學校本科及實科ノ授業幼稚園ノ保育ヲ開始ス○十一月一日本校附屬高等女學校專攻科及第六臨時教員養成所ノ授業ヲ始ム○十一月八日獎勵費給與規程中ニ改正ヲ加フ○十二月八日皇后陛下女子學習院ニ行啓ノ際當校附屬高等女學校ノ授業ヲ御巡覽アラセラル

歸ス新築假校舎ハ木造平家ニシテ其ノ建坪五千七百餘坪工費九十七萬餘圓ヲ算ス○六月十日震災直後宮内省ニ保管ヲ願ヒ置キタル御眞影共ノ他ノ貴重品ヲ本校ニ奉安ス○十月二十七日皇后陛下行啓アラセラル
大正十四年 四月一日勅令第八十號ヲ以テ職員定員令中改正ヲ加ヘラレ助教九人ヲ八人ニ改メラル○五月十三日岩川友太郎東京女子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○六月三日勅令第二百十六號ヲ以テ職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ書記七人ヲ八人ニ増員セラル○六月十一日東伏見宮妃周子殿下臨アラセラル○十一月二十九日開校五十年ニ相當スルヲ以テ記念式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラル令旨ヲ賜フ
大正十五年 八月二十七日文部省令第二十八號ヲ以テ生徒募集規程ヲ改正セラレタルヲ以

テ本校規則中ニ改正ヲ加ヘ十月五日許可ヲ得タリ之ニ仍リテ從來ノ志望學科ニ對スル第一第二ノ制ヲ廢シ入學試驗科目ニ就テハ國語英語數學ハ各科共通トシ外ニ文科ニ在リテハ歴史又ハ地理ヲ理科家事科ニ在リテハ物理化學又ハ動物植物ノ内其一ヲ課ス而シテ選拔試驗ハ之マテ東京府ヲ除クノ外ハ當該學校ノ屬スル地方廳所在地ニ於テ地方長官監督ノ下ニ施行セシカ之ヲ限定シテ東京、奈良、札幌、仙臺、金澤、松江、廣島、福岡ノ八ヶ所ニ試驗場ヲ設ケ直接本校監督ノ下ニ試驗シ右ノ外沖繩縣並朝鮮臺灣關東州、樺太、青島ノ管外各廳下ニ於ケル志望者ハ其ノ當該長官監督ノ下ニ受験セシムルコトトナレリ○九月十八日校内ニ於ケル一般ノ情報ヲ通知スルタメ每週土曜日校報ヲ發行スルコトトナス○校門閉閉ノ時間ヲ定ム○九月二十八日會議規程中ニ改正ヲ加フ○十月二十

九日評議員會規程並同細則中ニ改訂ヲ加フ
昭和二年 二月二十三日保育實習科規則中改正ノ件許可セララル本改正ニ依リ課程及實習ヲ了ヘタル者ニハ卒業證書ヲ與フルコトトナレリ○二月二十八日校長茨木清次郎浦和高等學校長ニ轉任浦和高等學校長吉岡郷浦校長ニ任セララル○三月三十一日附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○五月一日本校ニ於ケル旅費支給内規ヲ定ム○六月十七日日本校細則中職員服務規程校務分掌規程會議規程及評議員會内規ヲ改正シ九月十一日ヨリ實施ス○九月一日附屬高等女學校ノ規則ヲ改正ス○同月十一日日本校規則ヲ改正ス○同月同日日本校規則施行細則ヲ制定ス○十月寄宿舎規程及生徒心得細則ヲ制定ス○十二月勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ本校ニ助手二名ヲ置カル

昭和三年 一月七日保育實習科規則ヲ改正ス
○二月一日昭和三年三月限本校圖書專修科廢止ノ件並ニ昭和四年三月限附屬高等女學校實科廢止ノ件認可セラル但附屬高等女學校實科ハ現ニ在學スル生徒及昭和三年四月入學スヘキ者ニ對シテハ其ノ卒業スルニ至ル迄仍之ヲ存續ス○二月二日生徒願屆書式例ヲ定ム○四月三十日聽講生受業內規ヲ定ム○四月四日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○五月四日遠足修學旅行及見學ニ關スル事項ヲ定ム○六月十五日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○六月二十日本校及保育實習科附屬高等女學校附屬小學校附屬幼稚園規則ヲ改正シ皇太后陛下御誕辰ヲ休業日ニ加フ○八月二十三日生徒獎勵費給與規程並ニ獎學資金ニ關スル規程中ニ改正ヲ加フ○八月入學者選抜ノ方法ヲ改正シ沖繩縣朝鮮、臺灣、關東州、樺太、青島ノ入學志願者ニ對シテ

ハ從前ノ通各廳ニ選抜試驗ノ施行ヲ委託スルモノ内地ノ入學志願者ニ對シテハ本校並ニ奈良女子高等師範學校ニ於テノ選抜試驗ヲ施行シ之ニ引續キ第一次身體檢査ヲ施行スルコトトス又入學志願者ヲシテ文科理科及家事科ニ就キ志望ノ順位ヲ定メ二科ヲ併セ指定スルヲ得シム○九月十四日勅令第二百三十三號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ訓導二十一人ヲ二十二ニ増員セラル○十月九日天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル○十月三十日勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ニ改正ヲ加ヘ生徒監ヲ生徒主事ニ改メ別ニ生徒主事補ヲ置カル同時ニ勅令第二百五十七號ヲ以テ定員令中ニ改正ヲ加ヘ教諭ノ次ニ生徒主事書記ノ次ニ生徒主事補各一人ヲ加ヘラル○十一月十日大禮記念事業トシテ新校地ニ記念植樹ヲナスコトトス○

十一月二十六日小石川區大塚町三十五番地ノ十四號東青柳町二十八番地ノ一號ニ於ケル二萬七千二百六十四坪ヲ新校地トシテ文部省ヨリ交付セラル○十二月二十日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加ヘ專攻科英語部ハ昭和四年三月限廢止スルコトトス但現ニ在學スル生徒ニ對シテハ其ノ卒業ニ至ルマテ仍之ヲ存續ス
昭和四年 一月十二日生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○一月十八日會議規程及生徒心得細則中ニ改正ヲ加フ○二月二十日本校規則中ニ改正ヲ加ヘ規則第三十五條第一號ニ依リ一旦退學シタル者モ退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再ヒ入學シ得ルノ途ヲ開ク○三月七日聽講生編入規程ヲ定ム○三月十一日附屬幼稚園規則中ニ改正ヲ加フ○七月十七日文書處理規程ヲ定ム○九月六日勅令第二百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加

ハ教授二十八人ヲ三十人ニ助教授八人ヲ十人ニ増員セラル○九月十四日本校規則並ニ同施行細則中ニ改正ヲ加ヘ各學科ニ選修ノ區分ヲ設ク○十一月二十二日寄宿舎小石川區大塚町三十五番地所在ノ新營工事竣成ニ付移轉ヲ了ス
昭和五年 二月一日校門開閉ノ時間中ニ改正ヲ加フ○三月二十七日皇后陛下下行啓アラセラレ御言葉ヲ賜フ○四月二十五日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○五月二十九日勅令第二百九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ助教授十人ヲ十二人ニ増員セラレ○九月四日寄宿舎規程中ニ改正ヲ加フ○同月旅費支給內規中ニ改正ヲ加フ○十月四日附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○十一月集會所及雨天體操場ノ新營工事竣成ス集會所ハ之ヲ嚶鳴舎ト名付ク

昭和六年 二月五日天皇皇后兩陛下ノ御影ヲ下賜セラル因テ曩ニ御下賜ノ御影ハ之ヲ奉還ス○三月三十日本校並ニ附屬校園規則中授業料保育料ノ徵收方法ニ改正ヲ加フ○四月二十七日東伏見宮大妃殿下ヨリ講堂ニ奉掲ノ料トシテ御染筆ヲ御下賜アラセラル○六月附屬幼稚園ノ新營工事竣成ス○七月本校卒業生團體櫻蔭會並ニ附屬高等女學校卒業生團體作樂會ノ寄附ニ係ル水泳プール竣成ス○十二月二十八日附屬幼稚園規則中第二部幼兒保育料金額ニ改正ヲ加フ

昭和七年 四月十二日附屬高等女學校規則中ニ改正ヲ加フ○四月十五日下村三四吉東京女子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○五月園障通用門及門衛所ノ新營工事竣成ス○六月十三日東伏見宮大妃殿下ヨリ圖書閱覽室ニ奉掲ノ料トシテ御歌ヲ御下賜アラセラル○

十一月二十九日本校開校記念式並ニ附屬高等女學校創立五十年祝賀式ヲ舉行ス此ノ日東伏見宮周子殿下台臨アラセラル○十二月十二日附屬小學校規則中ニ改正ヲ加フ○十二月二十八日本校校舍ノ新營工事竣成ニ付本校及附屬幼稚園ノ移轉ヲ了ス○十二月二十八日勅令第三百九十五號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ助教授十二人ヲ十一人ニ助手二人ヲ一人ニ減員セラル

昭和八年 三月物置ノ一部門衛所及車庫ノ新營工事竣成ス○十月機關室ノ新營工事竣成ス

昭和九年 三月附屬小學校校舍ノ新營工事竣成ニ付同月三十一日移轉ヲ了ス○十月二十九日本校開校六十年記念式ヲ舉行ス此ノ日皇后陛下行啓アラセラレ令旨ヲ賜フ

昭和十年 三月附屬高等女學校ノ新營工事竣

成ニ付三月三十一日移轉ヲ了ス○四月二日文部省普通學務局長下村壽一校長ニ任セラル○五月四日前校長吉岡鄉甫東京女子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○九月二十六日外國政府委託留學生ニ關スル規則ヲ定ム

昭和十一年 三月七日會議規程中ニ改正ヲ加フ○三月二十四日第二寄宿舎ノ新營工事竣成ス○六月正門ノ新營工事及校內道路ノ鋪裝工事竣成ス○十月二十一日皇太后陛下行啓アラセラル○十一月二十八日全校舎ノ新營工事竣成ニ付落成式ヲ舉行ス○十一月二十九日落成記念祝賀會ヲ開催ス

昭和十二年 一月二十七日下田次郎東京女子高等師範學校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル○三月五日生徒心得細則及寄宿舎規程中ニ改正ヲ加フ○五月十八日勅令第二百五號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ教授

三十人ヲ三十二人ニ書記八人ヲ九人ニ増員セラル○五月十九日文部省令第二十三號ヲ以テ女子高等師範學校規程中ニ改正ヲ加ヘ體育科ヲ置ク○同日本校規則中ニ改正ヲ加フ○九月十一日勅令第四百八十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ニ改正ヲ加ヘ同時ニ勅令第四百八十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ改正ヲ加ヘ教諭ノ次ニ事務官一人ヲ加ヘラル○十一月二十日本校規則施行細則中ニ改正ヲ加フ

昭和十三年 六月三十日體育科授業費ニ關スル金額ヲ定ム○七月二十五日本校規則施行細則中ニ改正ヲ加フ○八月四日本校及保育實習科並ニ附屬高等女學校小學校幼稚園規則中ニ改正ヲ加フ○十一月十日長野縣下高井郡平糎村ニ志賀高原體育運動場ヲ設置ス

昭和十四年 二月二十五日東京府下東村山村

ニ久米川郊外園ヲ開設ス
 昭和十五年 十一月五日久米川郊外園舎ノ新
 營工事竣成ス○十二月三日皇后陛下行啓アラ
 セラル

昭和十六年 一月本校如蘭報國會規則並ニ本
 校特設防護團規程ヲ定ム○三月一日生徒心得
 細則及寄宿舎規程中ニ改正ヲ加フ○三月二十
 五日附屬小學校規程中ニ改正ヲ加ヘ附屬國民
 學校規程ヲ定ム○四月二十二日勅令第四百八
 十號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ
 改正ヲ加ヘ教授三十二人ヲ三十五人ニ助教授
 十一人ヲ十四人ニ保姆六人ヲ九人ニ書記八人
 ヲ九人ニ増員セラル○五月一日本校規則中ニ
 改正ヲ加フ○十月二十日生徒學資支給規程ヲ
 定ム○十一月二十一日女子高等師範學校生徒
 募集規程中ニ改正ヲ加フ○十一月二十九日本
 校臨時補習科規程ヲ定ム

昭和十七年 一月十三日修業年限短縮ニ伴フ
 臨時規則ヲ定ム

第三學年 年 曆

自昭和十六年四月 至昭和十七年三月

昭和十六年

四月一日 本校、附屬學校第一學期及附屬幼稚園
 第一期始
 四月三日 神武天皇祭
 四月七日 附屬學校及幼稚園春季休業終
 四月八日 附屬學校第一學期及附屬幼稚園第一期
 始業
 四月十日 本校春季休業終
 四月十一日 本校第一學期始業 本校生徒入學式
 四月廿九日 天長節 拜賀式
 六月廿五日 皇太后陛下御誕辰 拜賀式
 七月十日 本校及附屬高等女學校專攻科第一學期
 及附屬幼稚園第一期終業

七月十一日 本校、附屬高等女學校專攻科及附屬幼
 稚園夏季休業始
 七月二十日 附屬高等女學校本科及附屬國民學校第
 一學期終業
 七月廿一日 附屬高等女學校本科及附屬國民學校夏
 季休業始
 八月卅一日 本校、附屬學校第一學期及附屬幼稚園
 第一期終業、附屬高等女學校本科及附屬
 國民學校夏季休業終
 九月一日 本校及附屬學校第二學期、附屬幼稚園
 第二期始業、附屬高等女學校本科及附屬
 國民學校第二期始業
 九月十日 本校、附屬高等女學校專攻科及附屬幼
 稚園夏季休業終
 九月十一日 本校及附屬高等女學校專攻科第二學期
 及附屬幼稚園第二期始業
 九月廿四日 秋季皇靈祭
 十月十七日 神嘗祭

十月卅日 勅語奉讀式
 十一月三日 明治節 拜賀式
 十一月廿三日 新嘗祭
 十一月廿九日 開校記念日 記念式
 十二月廿四日 本校、附屬學校第二學期及附屬幼稚園第二期終業
 十二月廿五日 大正天皇祭 本校、附屬學校及幼稚園冬季休業始
 十二月卅一日 本校、附屬學校第二學期及附屬幼稚園第二期終
 昭和十七年
 一月一日 拜賀式
 本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園第三期始
 一月七日 本校、附屬學校及幼稚園冬季休業終
 一月八日 本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園第三期始業
 二月十一日 紀元節 拜賀式

三月六日 皇后陛下御誕辰 拜賀式
 三月廿一日 春季皇靈祭
 三月廿四日 附屬國民學校修了式
 三月廿五日 本校及附屬高等女學校卒業式
 三月卅一日 本校、附屬學校第三學期及附屬幼稚園第三期終

第四 關係 法令

一 師範教育令 (明治三十年十月九日勅令第五百四十六號 改正昭和十六年一五二號)

第一條 高等師範學校ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
 女子高等師範學校ハ師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
 前二項ニ記載シタル學校ニ於テハ順良信愛威重ノ德性ヲ涵養スルコトヲ務ムヘシ
 第二條 師範學校ハ北海道及各府縣ニ各一校若クハ數校ヲ設置ス
 第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ師範學校ハ地方長官ノ管理ニ屬ス
 第四條 師範學校ノ經費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス
 第五條 師範學校ノ設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム
 第六條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ募集及卒業後ノ服務ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

關係法令

第七條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ學資ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ學校ヨリ之ヲ支給スヘシ

前項ノ外文部大臣ノ定ムル所ニ依リ私費生ヲ置クコトヲ得
 第八條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校ノ學科及其ノ程度並教科書ハ文部大臣之ヲ定ム
 第九條 師範學校ニ國民學校教員講習科及幼稚園保母講習科ヲ置クコトヲ得

附則

第十條 本令ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス
 明治十九年勅令第十三號師範學校令ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第十一條 他ノ法令中尋常師範學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然師範學校ト改正セラレタルモノト看做ス

參照

明治三十五年五月勅令第九十八號 (直轄諸學校官制改正)ヲ以テ廣島高等師範學校ヲ加フ明治四十年三月勅令第六十八號 (直轄諸學校官制改正)ヲ以テ女子高等師範學校ヲ東京女

子高等師範學校ト改稱シ其ノ次ニ奈良女子高等師範學校ヲ加フ

二 女子高等師範學校規程

(明治三十年十月十二日交部省令第二十四號、明治三十一年第一號ヨリ昭和十二年第二十三號マテ屢次改正)

- 第一條 女子高等師範學校ノ學科ヲ分チテ文科、理科、家事科トス
- 前項學科ノ外東京女子高等師範學校ニ體育科ヲ置ク
- 第二條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、外國語、家事、音樂、體操トス
- 理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、礦物及地質、植物、動物、生理及衛生、外國語、家事、圖畫及手工音樂、體操トス
- 家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、裁縫、手藝、手工、園藝、圖畫、國語、外國語、數學、音樂、體操トス
- 體育科ノ學科目ハ修身、教育、體育概論、體操及遊戲、競技及武道、生理衛生及運動醫學、生物學通論、育児看護、營養學、音樂理論、聲樂、器樂、音樂史、和聲學、國語、美學、外國語トス
- 家事科ハ之ヲ分チテ第一部及第二部トナスコトヲ得

學校長ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ前各項ノ學科目ヲ加除スルコトヲ得

- 第三條 前條ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトヲ得
- 第四條 女子高等師範學校ノ學科ハ師範學校女子部ノ課程ニ照シ更ニ一層精深ナル程度ニ於テ教授スルモノトス
- 第四條ノ二(削除)
- 第五條 女子高等師範學校各學科ノ修業年限ハ四箇年トス
- 第六條 (削除)
- 第七條 第四學年生徒ハ附屬學校及幼稚園ニ於テ實地授業及保育ニ從事セシム
- 第八條 生徒在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ
- 文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資及授業費ノ全部若ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ
- 第九條 生徒在學中疾病ニ罹リ若ハ學業進マス又ハ品行修マラサルカ爲ニ成業ニ適セスト認ムルトキハ學校長ヨリ退學ヲ命スヘシ
- 第十條 女子高等師範學校ノ卒業生又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノニシテ第二條ニ規定シタル科目中ノ一科目又ハ數

附屬幼稚園ヲ置ク

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校 長
- 教 授
- 生徒主事
- 助 授 教
- 書 記
- 生徒主事補
- 前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ事務官又ハ助手ヲ置クコトヲ得
- 第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所属職員ヲ監督ス
- 第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
- 第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

本令ハ昭和十二年五月十九日ヨリ之ヲ施行ス

三 文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年勅令第八十六號、明治二十九年第二百二十六號ヨリ昭和十二年第四八七號マテ屢次改正)

第三條 女子高等師範學校ニ附屬高等女學校附屬國民學校及

關係法令

ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三 事務官ハ奏任トス校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌理ス

第十條ノ四 助手ハ判任トス教授又ハ助教ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十一條 第六條ニ掲ケタル職員ノ外女子高等師範學校ニ教諭助教諭、訓導及保母ヲ置ク教諭ハ奏任トシ助教諭、訓導及保母ハ判任トス

教諭及助教諭ハ附屬高等女學校ノ生徒ノ教育ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス訓導ハ上官ノ命ヲ承ケ附屬國民學校兒童ノ授業ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス保母ハ附屬幼稚園幼兒ノ保育ヲ掌ル

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十八條 文部大臣ハ女子高等師範學校、高等學校、名古屋高等工業學校、橫濱高等工業學校、熊本高等工業學校及東

京高等工藝學校ノ教官ノ中ヨリ各其ノ附屬學校主事、教員養成所主事、附屬幼稚園主事ヲ命シ其ノ事務ヲ掌ラシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四 文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

東京女子高等師範學校	校長	一人	三十五	一人	十四	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	教授	五人	八十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	事務	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	生徒	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	助教	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	助教	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	訓導	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	保母	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	助手	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	書記	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	主事	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人
	主事補	一人	十五	一人	八	十六	廿二	九人	一人	九人	一人

五 文部省直轄諸學校校長職務規程

(大正二年六月廿三日文部省訓令) (大正八年、九年號外ヲ以テ改正)

第二條 女子高等師範學校文科理科家事科體育科及專修科ノ生徒ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ身體健全品行方正ニシテ出身

學校長ノ推薦シタル者ニ就キ試驗ノ上之ヲ選拔ス但シ第三號又ハ第四號ニ該當スル者ニ付テハ女子高等師範學校長ニ於テ出身學校長ノ推薦ニ代ルヘキ適當ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

- 一 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ依リ卒業者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者
- 三 前號ノ外專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者
- 四 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ノ入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入學ヲ許サス

- 一 身體虛弱ナル者
- 二 精神機能ニ障礙アル者
- 三 急治ノ見込ナキ重症トシテホトトシテ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得サル視力障礙ヲ有スル者

第一條 校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟中スルコトヲ得

第二條 校長事故アルトキハ文部大臣ノ認可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第三條 左ノ事項ハ校長之ヲ專任スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

- 第一 教官ノ學科擔任及事務員ノ分課ヲ定ムル事
- 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
- 第三 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 教官以下ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 第五 教官以下ノ除服出仕請假ニ關スルコト
- 第六 講師ノ解雇及其ノ報酬減額ニ關スルコト
- 第七 經費中ノ目ヲ流用スルコト
- 第八 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト

第四條 前條ニ掲ケタル事項ノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

六 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集規程(抄)

(大正十五年八月二十七日、文部省令) (第二十八號、改正昭和十六年八三號)

關係法令

高等師範學校生徒募集規則及女子高等師範學校生徒募集規則
ハ之ヲ廢止ス

七 文部省直轄學校外國人

特別入學規程 (明治三十四年十一月)
(文部省令第十五號)

- 第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省在外公館又ハ本邦所在外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ
- 第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ
- 第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得
- 第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ承ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

- 四 高度ノ色神障礙ヲ有スル者
- 五 著シキ聽力障礙又ハ言語障礙ヲ有スル者
- 六 高度ノ脊柱彎曲著シキ畸形又ハ運動障礙ヲ有スル者
- 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
- 八 癩ヲ患フル者
- 九 重症心臟疾患ヲ患フル者
- 一〇 惡性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
- 二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
- 三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者
- 第四條 高等師範學校長及女子高等師範學校長ハ必要ト認メタルトキハ第一條及第二條ニ規定シタル事項ノ外生徒推薦ニ關スル條件ヲ定ムルコトヲ得
- 第五條 第一條及第二條ニ規定シタル選拔試驗ノ學科目及其ノ程度、期日、場所、募集人員、出願手續其ノ他必要ナル事項ハ當該學校長ニ於テ豫メ官報ヲ以テ公告ス
- 第六條 高等師範學校及女子高等師範學校生徒募集ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當該學校長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第七條 本令施行ノ際文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス在學スル外國人ハ本令ニ依リ入學シタル者ト看做ス

第八條 明治三十三年文部省令第十一號文部省直轄學校外國委託生ニ關スル規定ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢ス

八 臺灣朝鮮人文部省直轄諸學校入學ハ外國人特別入學規程準用

(明治四十四年四月四日)
(文部省令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規定ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

九 高等師範學校等卒業生服務規則

(大正十年四月二十六日文部省令)
(第二十九號、改正昭和九年三號)

第一條 本令ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、東京美術學校圖畫師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業生並ニ高等師範學校第三學年修了者ニシテ文理科大學ニ入學シタル者ニ適用ス

第二條 卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育

關係法令

- ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス
- 一 學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間
- 二 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ其ノ支給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
- 前項ノ期間ハ二學科以上ヲ修メタル場合ニ於テハ通シテ八年ヲ超エス
- 第二條ノ二 高等師範學校第三學年修了者ニシテ文理科大學ニ入學シタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス
- 一 高等師範學校在學中學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ同校ニ於ケル修業期間ノ二分ノ一ニ相當スル期間
- 二 高等師範學校在學中學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ其ノ支給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
- 第三條乃至第七條ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第三條 卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ有ス但シ前條ノ義務一年未滿ナル場合ハ其ノ期間トス
- 一 學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタルモノニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス

第四條 卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルモノハ其ノ理由ヲ具シ道府縣ニ奉職スル者ニ在リテハ地方長官其ノ他ノ者ニ在リテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ調査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ

第二條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テハ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ免除セラレタルモノトス

第五條 卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリタルトキハ第一條ニ掲ケタル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學費ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學費、學費ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者

二 服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第六條 卒業者ニシテ服務年限中學校ニ入學セムトスルモノアルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ但シ卒業者ニ

シテ引續キ更ニ他ノ學科又ハ文理科大學ニ入學セントスル者ハ許可ヲ要セス入學ノ上直ニ届出ツヘシ

第七條 卒業者ニシテ第四條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ學校ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了ラサルモノノ服務年數ニ關シテハ本令ノ規定ニ依ル

大正九年度以前ノ入學者ニシテ從前ノ規定ニ依リ服務義務ナキモノノ服務ハ仍從前ノ例ニ依ル

明治四十二年文部省令第二十五號高等師範學校卒業者服務規則同年文部省令第二十七號女子高等師範學校卒業者服務規則明治四十三年文部省令第二號東京美術學校圖畫師範科卒業者服務規則同年文部省令第三號東京音樂學校甲種師範科卒業者服務規則及明治四十五年文部省令第八號臨時教員養成所卒業者服務規則ハ之ヲ廢ス

附則(昭和九年文部省令第三號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了ラサルモノノ服務年限ニ關シテハ本令ノ規定ニ依ル

第五 規 則

一 東京女子高等師範學校規則

第一章 本 科

第一節 總 則

第一條 本校ハ女子師範學校、師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼テ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第二條 學科ヲ分テテ文科、理科、家事科、體育科トス

第三條 各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第四條 生徒ノ定員ハ凡六百九十人トス

第二節 學科課程及教授時數

第五條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、外國語、音樂、體操トス

但第三學年以後ニ於テハ國語ト歴史及地理トヲ選修科目トス

第六條 理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、植物、動物、生物、生理及衛生、礦物及地質、工作、外國語、音樂、體操トス

但數學及物理ト物理及化學ト植物及動物トヲ選修科目トス

數學及物理又ハ物理及化學ヲ選修スル者ニ對シテハ植物及動物ヲ缺キ生物及工作ヲ必修セシム植物及動物ヲ選修スル者ニ對シテハ生物學通論及工作ヲ缺カシム

第七條 家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫、理科、圖畫、手藝、外國語、音樂、體操トス

但第三學年以後ニ於テハ家事ト裁縫トヲ選修科目トス

第八條 體育科ノ學科目ハ修身、教育、體育概論、體操及遊戯、競技及武道、生理衛生及運動醫學、生物學通論、育兒看護學、音樂理論、聲樂、器樂、音樂史、和聲學、國語、美學、外國語トス

第九條 文科、理科及家事科ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトアルヘシ

第十條 文科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身

修養論 教育ニ關スル勸語、戊申詔書及國民精神作興ニ關スル詔書ノ述義 國民道德論 倫理學 法制及經濟作法

教育

心理學 論理學 教育學 教育史 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 學校衛生 教育實習
 國語 講讀 習字 作文 文法 作歌 文學史 文學概論
 國語學概論 言語學概論
 漢文 講讀 復文

歷史

日本史 東洋史 西洋史

地理

地理學通論 日本地誌 外國地誌 實習

外國語(英語)

講讀 文法 作文

音樂

單音唱歌 重音唱歌

體操

體操 遊戲及競技 教練 體育概論

第十一條 理科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身

礦物通論 礦物各論 地殼ノ構造及發達 實驗

工作

普通木工 普通金工

外國語(英語)

音樂

體操

文科ニ準ス

第十二條 家事科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身

教育

文科ニ準ス

家事

織維及織物 衣類整理法 食物及營養 料理法 住居

理科

養老 育兒 看護 家事經濟 家計簿記 家事概論

生理學

物理學

化學

生理及衛生

園藝

實驗

裁縫

和服裁縫

洋服裁縫

圖畫

自在畫

考案畫

手藝

規則

文科ニ準ス

數學

算術

代數

幾何

三角法

數學解析

應用數學

數學

雜論

演習

物理

力學

物性

音響

熱學

光學

電氣磁氣學

天文及氣象大意

實驗

化學

無機化學

有機化學

理論化學

實驗

植物

形態

組織及細胞

生理及生態

遺傳

分類

生態

動物

動物學一般

分類

細胞及組織

發生

實驗形態

生理

生態

進化

應用

實驗

生物

生物學通論

實驗

生理及衛生

生理學一般

衛生學一般

(個人衛生、公衆衛生、民族衛生)

礦物及地質

編物

刺繡

外國語(英語)

音樂

體操

文科ニ準ス

第十三條 體育科ノ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身

教育

文科ニ準ス

體育概論

體育史

體育總論

體操及遊戲

體操

教練

唱歌遊戲

行進遊戲

競技及武道

走・跳・投

籠球

排球

手球

水泳

弓道

薙刀

生理衛生及運動醫學

生理學

解剖學

衛生學

運動醫學

生物學通論

生物學大意

育兒看護

育兒看護大意

榮養學
榮養學大意
音樂理論
樂典 對位法 樂式 作曲 指揮
聲樂
獨唱 合唱
器樂
ピアノ
音樂史
日本音樂史 西洋音樂史
和聲學
和聲學大意
國語
講讀 作歌
美學
美學大意
外國語(獨語、英語)
講讀 文法 作文
第十四條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル
其ノ一 國語ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	二	二	二	三
國語	七	七	九	一〇
漢文	三	三	三	三
歷史	五	五	五	三
地理	四	四	三	三
外國語	四	四	三	二
音樂	二	一	一	一
體操	三	三	三	三
計	三二	三一	三二	三一

其ノ二 歷史及地理ヲ選修科目トスルモノ
第四學年ノ英語(一)ハ隨意科目トス

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
國語	七	七	五	四
漢文	三	三	三	三
歷史	五	五	七	六
地理	四	四	五	六
外國語	四	四	三	二
音樂	二	一	一	一
體操	三	三	三	三
計	三二	三一	三二	三一

第四學年ノ英語(一)ハ隨意科目トス
第十五條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	二	二	二	三
國語	二	二	三	四
數學	二	二	三	四
計	二	二	三	四

其ノ一 數學及物理ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
物理學	九	九	一	一
化學	四	四	五	六
生物	二	二	二	二
生理及衛生	二	二	二	二
礦物及地質	二	二	二	二
工作	二	二	二	二
外國語	四	四	三	二
音樂	二	一	一	一
體操	三	三	三	三
計	三二	三一	三二	三一

其ノ二 物理及化學ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	二	二	二	三
國語	二	二	三	四
數學	七	六	四	二
計	七	六	四	二

其ノ一

其ノ三 植物及動物ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
植物學	二	二	二	二
動物學	二	二	二	二
生理及衛生	二	二	二	二
礦物及地質	二	二	二	二
外國語	二	二	二	二
音樂	二	二	二	二
體操	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

其ノ一 家事ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
家事	二	二	二	二
修身	二	二	二	二
教養	二	二	二	二
數學	二	二	二	二
物理	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

第十六條 家事科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
植物學	三	三	三	三
動物學	三	三	三	三
生理及衛生	三	三	三	三
礦物及地質	三	三	三	三
外國語	三	三	三	三
音樂	三	三	三	三
體操	三	三	三	三
計	三二	三二	三二	三二

其ノ二 裁縫ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
裁縫	二	二	二	二
物理	二	二	二	二
圖畫	二	二	二	二
手藝	二	二	二	二
外國語	二	二	二	二
音樂	二	二	二	二
體操	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

第十七條 體育科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
手藝	二	二	二	二
外國語	二	二	二	二
音樂	二	二	二	二
體操	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

第十八條 體育科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
手藝	二	二	二	二
外國語	二	二	二	二
音樂	二	二	二	二
體操	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

其ノ二 裁縫ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
裁縫	二	二	二	二
修身	二	二	二	二
教養	二	二	二	二
家事	二	二	二	二
裁縫	二	二	二	二
理科	二	二	二	二
圖畫	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

其ノ一 家事ヲ選修科目トスルモノ

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
家事	二	二	二	二
修身	二	二	二	二
教養	二	二	二	二
體育概論	二	二	二	二
體操及遊戲	二	二	二	二
競技及武道	二	二	二	二
生理衛生及運動醫學	二	二	二	二
生物學通論	二	二	二	二
育兒看護	二	二	二	二
計	三二	三二	三二	三二

規則

四三

四二

第十九條 學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第二十條 休業日ハ左ノ如シ

- 春季 休業 四月一日ヨリ同十日ニ至ル
- 日曜 日
- 天皇節 四月二十九日
- 皇太后陛下御誕辰 六月二十五日
- 夏季 休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル
- 秋季 皇靈祭 秋分日
- 神嘗祭 十月十七日
- 明治節 十一月三日
- 新嘗節 十一月二十三日
- 開校記念日 十一月二十九日
- 冬季 休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
- 紀元節 二月十一日
- 皇后陛下御誕辰 三月六日
- 春季 皇靈祭 春分日

第二十一條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第四節 入學、在學、休學及退學

第十八條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第三節 學年、學期及休業日

榮 養 學	1	(1)	(1)	(1)
音 樂 理 論	1	(1)	(1)	(1)
音 樂	4	(4)	(4)	(4)
器 樂	2	(2)	(2)	(2)
音 樂 史	1	(1)	(1)	(1)
和 聲 學	1	(1)	(1)	(1)
國 語	3	(3)	(3)	(3)
美 學	1	(1)	(1)	(1)
外 國 語	2	(2)	(2)	(2)
計	30	(74)	(75)	(30)

増課科目ハ第二學年、第三學年、第四學年ニ於テ生徒ヲシテ増課選修セシム

増課科目ニ充ツヘキ每週教授時數ハ各學年七時トス外國語各學年二ハ獨語トシ第三學年、第四學年(一)ハ英語隨意科目トス

第二十二條 本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ

- 一 身體健全品行方正ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者
- 二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(一)又ハ(二)ノ學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於テ本校ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得

- (一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
 - (二) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ卒業者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者
 - (三) 前號ノ外專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試験檢定ヲ受ケル資格ヲ有スル者
 - (四) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
- 三 年齢十六年以上二十二年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者
- 第二十三條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ推薦ヲ要ス
- 出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願者ヲ推薦スルト

規 則

キハ推薦書ニ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願者ノ入學願書履歷書、學業成績調查人物考定書、身體檢査書及戶籍謄本並ニ寫眞ヲ添付シ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第二十四條 第二十二條第二號ノ(三)又ハ(四)ニ該當スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定ムル様式ニ依ル入學願書、履歷書、身體檢査書及寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第二十五條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第二十三條又ハ第二十四條ニ掲記セル書類ノ外本局長官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

第二十六條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入學ヲ許可セス

- 一 身體虛弱ナル者
- 二 精神機能ニ障礙アル者
- 三 急治ノ見込ナキ重症トシテホトムヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得サル視力障礙ヲ有スル者
- 四 高度ノ色神障礙ヲ有スル者
- 五 著シキ聽力障礙又ハ言語障礙ヲ有スル者
- 六 高度ノ脊柱彎曲、著シキ畸形又ハ運動障礙ヲ有スル者
- 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
- 八 癩ヲ患フル者

九 重症心臟疾患ヲ患フル者
 一〇 悪性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
 一一 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
 一二 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若クハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者
 第二十七條 入學志願者ハ入學檢定料金參照ヲ所定ノ期間内ニ納付スヘシ
 既納ノ檢定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス
 第二十八條 入學志願者ニ對シ學科試驗、身體檢査及人物考査ヲ行ヒ入學者ヲ選抜ス
 學科試驗ノ科目及其ノ程度、期日、場所、募集人員其ノ他必要ナル事項ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公告ス
 第二十九條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓書ヲ差出スヘシ
 第三十條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ
 第三十一條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居住セザルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ代理保證人ハ東京市内又ハ其

ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ本校ノ要求スル場合ニ於テ保證人ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
 代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ
 第三十二條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ
 第三十三條 生徒ノ學費ハ總テ私費トス但別ニ定ムル所ノ規程ニ依リ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
 第三十四條 在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者ハ授業費及補給ノ學資ヲ償還スヘシ但文部大臣ヨリ其ノ全部又ハ一部ヲ免除セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 第三十五條 引續キ二箇月以上課業ヲ缺キ又ハ缺クヘシト認メタル者ニハ一箇年以内休學ヲ命ス但時宜ニ依リ本文ニ依ラサルコトアルヘシ
 第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當セリト認メタル者ニハ退學ヲ命ス
 一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者
 二 學業進マズシテ成業ノ目途立タサル者
 三 二回同一學年ニ止レル者

四 品行修ラサル者

五 本校教育ノ趣旨ニ適セザル者
 第三十六條ノ二 前條第一號ニ依リ退學シタル者退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ於テ再ヒ入學ヲ志願スルトキハ其ノ身體ヲ檢査シタル上同一學年以下ニ限リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
 第三十七條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ノ志願ヲナスコトヲ得ス
 第五節 成績考査、修了及卒業
 第三十八條 學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス
 第三十九條 各學科目ハ之ヲ一ノ評點科目トス但毎週教授時數ヲ顧慮シ之ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツコトアルヘシ
 教育中教育實習ハ之ヲ二ノ評點科目ト看做ス各評點科目ノ評點ハ一百ヲ以テ最高トス
 第四十條 學期成績評點ハ各評點科目ニ就キ平素ノ學業ノ成績又ハ試験及平素ノ學業ノ成績ヲ考査シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム
 第四十一條 學年成績評點ハ各評點科目ニ就キ各學期成績評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム但第四學年ニ於テハ第一學期及第二學期成績評點ノ和ヲ二除シタルモノヲ以テ其ノ學年成績ト看做ス

第四十二條 卒業成績評點ハ各學年ノ平均成績評點ノ和ヲ四除シタルモノヲ八倍シ之ニ教育實習ノ成績評點ヲ加ハテ除シテ之ヲ定ム
 第四十三條 各學年ノ課程ノ修了ハ各學年成績評點全課程ノ卒業ハ卒業成績評點ニ依リ之ヲ認定ス
 第四十四條 全課程ヲ卒業シタル者ニ對シテハ卒業證書ヲ授與ス
 卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

校印	卒業證書	族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス)
右者當校何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證書ス	年月日	某年某月某日
東京女子高等師範學校校長位勳學位何某		

第四十五條 一箇年以上ノ課程ヲ履修セル生徒ニハ其ノ學業成績ヲ顧慮シ規定ノ學科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ課セザルコトアルヘシ
 前項ニ該當スル者ニ授與スヘキ卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

第 號	卒業證書	族 稱(華族ニ限リ之ヲ記ス)	何 年 月 日 某 日生
	校印	右者當校何科又ハ何ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ 因テ茲ニ之ヲ證ス	年 月 日

東京女子高等師範學校長位勳學位何某◎

第六節 教育實習

第四十六條 第四學年第三學期ニ於テ各學科生徒ヲシテ附屬學校幼稚園ニ於テ教育實習ニ從事セシム

教育實習ニ從事スル生徒ヲ教生ト稱ス

第四十七條 教生ハ教育實習中附屬學校幼稚園主事ノ指揮監督ヲ受ク

第四十八條 附屬學校幼稚園主事ハ教育實習細則ヲ定メ學校長ノ認可ヲ受クヘシ

第二章 研究科

第四十九條 各學科ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ專攻セムトスル者ノ爲ニ研究科ヲ置ク

第五十條 研究科ノ修業年限ハ一箇年以上二箇年以下トス

第五十一條 研究科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ本校卒業者又ハ試験ニ依リ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認メタル者タルヘシ

第五十二條 研究科ニ入學セムトスル者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル入學願書、履歷書、身體検査書及寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ但本校卒業後直ニ入學セムトスル者ニ在リテハ身體検査書ヲ要セス

第五十三條 入學志願者ノ學力、人物及研究學科目等ヲ考查シ適當ト認メタルトキハ教授設備ニ差支ナキ場合ニ限り入學ヲ許可ス

第五十四條 第十八條乃至第二十條第二十五條乃至第二十七條、第三十一條乃至第三十六條 ハ之ヲ研究科生徒ニ適用ス

第五十五條 研究科生徒ハ學校長ノ指定スル指導教官ニ就キ研究ニ從事スヘシ

第五十六條 研究科生徒ハ修業期間ノ終ニ於テ研究報告ヲ差出スヘシ

第五十七條 前條ノ報告書ヲ審査シ合格ト認メタルトキハ修了證書ヲ授與ス

第三章 專修科

第五十八條 女子師範學校、師範學校女子部高等女學校教員

ノ缺乏ヲ充ス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトアルヘシ

第五十九條 專修科ノ學科目及其ノ程度並修業年限募集人員等ハ其ノ都度之ヲ定ム

第六十條 第十八條乃至第三十三條、第三十六條乃至第四十三條、第四十六條、第四十七條ハ專修科生徒ニ適用又ハ準用ス

第六十一條 全課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

第 號	卒業證書	族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス)	何 年 月 日 某 日生
	校印	右者當校何々專修科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス	年 月 日

東京女子高等師範學校長位勳學位何某◎

第四章 選科生

第六十二條 女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル女子ニシテ各學科ノ學科目中一科目者クハ數科目ヲ選ヒテ學修セムトスル者アルトキハ教授上

規
則

差支ナキ場合ニ限り選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六十三條 選科生ニハ何等ノ科目ヲ選ブニ拘ラス修身及教育ヲ兼修セシム

第六十四條 選科生トシテ入學スルコトヲ得ル者ハ品行方正身體健全ニシテ所選科目ノ學修ニ堪フト認メタル者タルヘシ

第六十五條 選科生トシテ入學セムトスル者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル入學願書履歷書ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第六十六條 選科生ノ在學期間ハ四箇年トス但特別ノ事情アルトキハ本文ノ期間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第六十七條 第五條乃至第八條、第十八條乃至第四十三條、第四十六條、第四十七條ハ之ヲ選科生ニ適用又ハ準用ス

第六十八條 選科生ノ授業料ハ一學年五拾五圓トス
授業料ハ始業日後十五日以内ニ於テ其ノ學年分ヲ完納スルカ又ハ其ノ學期分若ハ月分ヲ分納スヘシ其ノ月分ヲ分納スル場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

每學期又ハ毎月分納スル場合ニ於ケル其ノ學期分又ハ其ノ月分ノ授業料額ハ左ノ通之ヲ定ム

第一學期 各金貳拾圓
第二學期

第三學期

金拾五圓
每月 金五圓

第六十九條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亙ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス
授業料ノ滞納二箇月以上ニ亙ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第七十條 所選科目ノ課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス
卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

第 號	校印	卒業證書	族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス)
	右者當校何科中何々選科生トシテ成規ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ之ヲ證ス	年 月 日	何 某 日生
東京女子高等師範學校校長位勳學位何某			

本規則ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 東京女子高等師範學校保育實習科規則

第一條 幼稚園保姆タラムトスル志望ヲ以テ保育ノ方法ヲ實

體操

遊戲及競技

第六條 各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	每週教授時數	圖畫	手工	音樂	體操	計
修身	一		二			二
教育	二			三		三
保育	四				一〇	二
理科	三					三〇

第七條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第八條 學年ヲ分テテ三學期トス

第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第九條 休業日ハ左ノ如シ

春季 休業 四月一日ヨリ同十日ニ至ル

日 曜 日

天 長 節 四月二十九日

皇太后陛下御誕辰 六月二十五日

夏季 休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

規 則

五〇

習セムトスル者ノ爲ニ保育實習科ヲ設ク

第二條 保育實習科ノ修業年限ハ一箇年トス

第三條 保育實習科生徒ノ定員ハ凡二十人トス

第四條 保育實習科ノ學科目ハ修身、教育、保育、理科、圖畫、手工、音樂、體操トス

第五條 各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

修身 生徒心得 道德要領

教育 教育學 兒童心理 教授法及管理法ノ大要

保育 育兒法 保育法 乳兒幼兒保護事業概要

理科 自然研究 植物栽培 動物飼育

圖畫 自在畫 考案畫

手工 紙細工 粘土細工 きびから細工 簡易ナル木工

音樂 單音唱歌 重音唱歌 樂器使用練習

秋季 皇靈祭 秋分日

神 嘗 祭 十月十七日

明 治 節 十一月三日

新 嘗 祭 十一月二十三日

開校記念日 十一月二十九日

冬季 休業 十二月二十九日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

紀 元 節 二月十一日

皇后陛下御誕辰 三月六日

春季 皇靈祭 春分日

第十條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第十一條 保育實習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ

一 身體健全品行方正ニシテ保姆タルニ適當ナリト認ムル者

二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但(一)又ハ(二)ノ學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於テ本校ノ入學期以前ニ卒業スヘント認メタル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得

(一) 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者

(二) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ卒業者ニ付一般ノ

規 則

五 一

專門學校入學ニ關シ修業年限四年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業者

(三) 前號ノ外專門學校入學者檢定規程ニ依リ一級ノ專門學校入學ニ關シ無試験檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者
(四) 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者

三 年齢十六年以上ニシテ夫ヲ有セサル者

第十二條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ推薦ヲ要ス出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別ニ定ムル様式ニ依リ入學志願者ノ入學願書、履歷書、學業成績調査人物考定書、身體檢査書及戶籍謄本並寫眞ヲ添付シ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第十三條 第十一條第二號ノ(三)又ハ(四)ニ該當スル入學志願者ハ直接本人ニ於テ別ニ定ムル様式ニ依リ入學願書、履歷書、身體檢査書及戶籍謄本並寫眞ヲ指定ノ期間内ニ差出スヘシ

第十四條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者ハ第十三條又ハ第十三條ニ掲記セル書類ノ外本屬長官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

ヲ行ヒ入學者ヲ選拔ス

選拔試験ノ科目及其ノ程度、期日、募集人員其ノ他必要ナル事項ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第十八條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依リ誓書ヲ差出スヘシ

第十九條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受テヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第二十條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居住セサルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ本校ノ要求スル場合ニ於テ保證人ノ義務ヲ代理スヘキモノトス
代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ

第二十一條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定ムル様式ニ依リ保證書ヲ差出スヘシ

第二十二條 己ムヲ得サル事故ニ依リ退學セムトスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ
但疾病ノタメニ退學セムトスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

規則

第十五條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入學ヲ許可セス

- 一 身體虛弱ナル者
- 二 精神機能ニ障礙有ル者
- 三 急治ノ見込ナキ重症トラホームヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得サル視力障害ヲ有スル者
- 四 高度ノ色神障礙ヲ有スル者
- 五 著シキ聽力障礙又ハ言語障礙ヲ有スル者
- 六 高度ノ脊柱彎曲著シキ畸形又ハ運動障礙ヲ有スル者
- 七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
- 八 癩ヲ患フル者
- 九 重症心臟疾患ヲ患フル者
- 〇 悪性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者

- 二 花柳病又ハ重症ヘルニアヲ患フル者
- 三 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者

第十六條 入學志願者ハ入學檢定料金參圓ヲ所定ノ期間内ニ納付スヘシ
既納ノ檢定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス

第十七條 入學志願者ニ對シ學科試験、身體檢査及人物考査

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當セリト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

- 一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者
- 二 學業進マスシテ成業ノ目途立タサル者
- 三 品行修ラサル者
- 四 本校教育ノ趣旨ニ適セサル者

第二十四條 授業料ハ一箇年金五拾五圓トス
前項ノ授業料ハ缺席ノタメニ之ヲ免除スルコトナシ

第二十五條 生徒ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ但毎月其ノ月分ヲ分納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

- 第一學期 四月十六日ヨリ同十八日マテ
- 第二學期 九月十七日ヨリ同十九日マテ
- 第三學期 一月十六日ヨリ同十八日マテ

毎月 其ノ月五日ヨリ同七日マテ
每學期分又ハ毎月分ノ授業料額ハ左ノ通之ヲ定ム

第一學期第二學期 各金貳拾圓
第三學期 金拾五圓
毎月 金五圓
第二十六條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス

授業料ノ滞納二箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第二十七條 所定ノ課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

卒業證書	族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス)
校印	何
年	月
日	日生
右者當校保育實習科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス	
年	月
日	
東京女子高等師範學校校長位勳學位爵何某	

附則
本規則ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

三 東京女子高等師範學校
附屬高等女學校規則

第一章 總則

第一條 附屬高等女學校ハ女子高等普通教育ノ方法ヲ研究シ本校生徒ヲシテ之ヲ練習セシムル所トス

第二條 附屬高等女學校ニ本科、專攻科ヲ置ク

第三條 附屬高等女學校ノ修業年限ハ本科ニ在リテハ五箇年專攻科ニ在リテハ三箇年トス

第四條 附屬高等女學校本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ國民學校初等科ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

附屬高等女學校專攻科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條 附屬高等女學校ノ生徒定員ハ本科ニ在リテハ凡五百名、專攻科ニ在リテハ凡五百名トス

第二章 學科課程

第六條 本科ノ學科目ハ修身、公民科、國語、外國語、(英語)歴史、地理、數學、理科、圖畫、家事、教育、裁縫、音樂、體操トス但第五學年ノ音樂ハ隨意科目トス

第七條 專攻科ヲ國語部及家事部ニ分ツ

國語部ノ學科目ハ修身、國語、漢文、心理及論理、教育及美學、英語、歴史、地理、法制及經濟、體操、習字トス但習字ハ隨意科目トス

家事部ノ學科目ハ修身、家事、理科、數學、裁縫及手藝、圖畫、心理及論理、教育及美學、國語、法制及經濟、體操トス

第八條 削除

第九條 本科ノ各學科目ノ教授事項及每週教授時數ハ左表ニ依ル但夏季休業ノ前後各二週間以内ハ十八時迄、第三學期中ハ二十八時迄每週教授時數ヲ減スルコトアルヘシ

學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	二 生徒心得、道徳要領	二 道徳要領	一 道徳要領	一 同上	一 同上
公民科				一 公民要領	一 同上
國語	六 講義、作文	六 同上	六 講義、作文	五 講義、作文	四 講義、作文
外國語(英語)	五 聽話、講義、習字	五 同上	四 聽話、講義、作文	四 同上	四 同上
歷史	三 日本史	三 同上	三 外國史	二 同上	二 日本及外國近世史
地理	三 日本地理	三 外國地理	三 同上	二 同上	二 地理概説
數學	三 算術	三 幾何	四 同上	四 同上	三 幾何、三角、代數、算術、初歩

規則

計	體操	音樂	裁縫	教育	家事	圖畫	理科
三	三 體操、遊戲、技藝	二 歌、單音、唱	三 類、普通、裁縫、方、方			一 寫生、畫	二 動物
三	同上	一 歌、單音、唱	三 同上			一 同上	二 生理、衛生
三	同上	一 同上	三 同上			一 同上	四 生理、衛生、化學
三	同上	一 同上	三 同上		二 住、衣、食	一 寫生、畫、幾何、畫	三 物理、化學
(三)三	同上	(二) 同上	四 同上	(二) 教育、保育、法	四 看、育、兒、家、事、實、習、經濟	一 同上	三 生理、物理、概論

五五

第五學年ノ外國語(英語)四ハ之ヲ二ニ減スルコトヲ得此ノ
 場合ニ於テハ教育(一)ヲ必修セシム
 第五學年ノ音樂(二)ハ之ヲ隨意科目トス
 第十條 專攻科各部ノ各學科目ノ教授事項及每週教授時數ハ
 左表ニ依ル

國語部

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	時數	教授事項	時數	教授事項	時數	教授事項	時數	教授事項	
修身	一	一修業論	一	一國民道德	一	一倫理			
國語	一二	講讀、作文、作歌、文法	一〇	講讀、作文、文學史、國語學	一〇	講讀、作文、作歌、國語教授法			
漢文	一二	講讀	四	同上	四	講讀、復文			
心理及教育學	二	心理	二	心理、論理			四教育學、美學		
英語	三	講讀、文法	三	同上	三	同上			
歷史	三	日本史	二	外國史	二	外國史			
地理	二	自然地理、人文地理	二	人文地理					
法制及經濟			二	經濟大意			二	法制大意	

家事部

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	時數	教授事項	時數	教授事項	時數	教授事項	時數	教授事項	
修身	一	一修業論	一	一國民道德	一	一倫理			
家事	五	衣、食	六	住、家庭經濟	七	家庭衛生、家庭			
理科	四	生理及衛生	六	生物及園藝	四	生物、物理			
數學	三	算學雜論							
裁縫及手藝	七	和服裁縫、洋服裁縫、手藝	七	同上	七	同上			
圖畫	二	考案畫	一	同上					
心理及教育學	二	心理	二	心理、論理			四教育學、美學		
英語			二	同上			二	同上	
國語	三	講讀、作文	二	同上			二	同上	
法制及經濟			二	經濟大意			二	法制大意	

體操	習字	計
二 體操、遊戯及競技	(一)	(二九)三八
二 同上	(一)	(二九)三八
二 同上	(一)	(二九)三八

體操	計
二 體操、遊戯及競技	二九
二 同上	二九
二 同上	二九

第十一條 削除

第三章 學年、學期及休業日

第十二條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル
 第十三條 學年ヲ分テテ三學期トス
 第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル
 第十四條 休業日ハ左ノ如シ
 春季 休業 本科ハ四月一日ヨリ四月七日ニ至リ專攻科ハ四月一日ヨリ四月十日ニ至ル
 日 曜 日 四月二十九日
 天皇陛下御誕生 六月二十五日
 夏季 休業 本科ハ七月二十一日ヨリ八月三十一日ニ至リ專攻科ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル
 秋季 皇靈祭 秋分日
 神嘗祭 十月十七日

規則

明治 節 十一月三日
 新嘗 節 十一月二十三日
 開校記念日 十一月二十九日
 冬季 休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
 紀元 節 二月十一日
 皇后陛下御誕生 三月六日
 春季 皇靈祭 春分日
 第十五條 第四章 入學、在學、休學、及退學
 第一節 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス
 第十六條 入學志願者ハ別ニ定ムル志願票ニ所要事項ヲ記入シ檢定料金五圓ヲ添ヘ指定ノ期間内ニ之ヲ差出スヘシ但本校附屬國民學校第一部卒業者ニシテ引續キ本科ニ入學セムトスル者ハ檢定料ヲ要セス
 既納ノ檢定料ハ何等ノ事情アルモ之ヲ返付セス
 第十七條 入學ヲ許可スヘキ者ハ入學志願者中學力及身體ノ検査ニ合格シタル者ニ就キ之ヲ選定ス
 第十八條 願ニ依リ退學シタル者一箇年以内ニ入學ヲ願出ツルトキハ同一學年以下ニ限り詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第十九條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期限迄ニ入學料金參圓ヲ納付スヘシ但本科卒業者ニシテ引續キ專攻科ニ入學スル者前條ニ依リ入學スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ保護者ヲ届出ツヘシ保護者ハ父兄之ニ當リ在學中學校ト協定シテ生徒ノ監督指導ニ任スヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第二十一條 保護者東京市又ハ其ノ附近ニ居住セザルトキハ別ニ代理者ヲ定メ届出ツヘシ

代理者ハ東京市又ハ其ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ保護者ノ責務ヲ遂行スルニ足ル者タルヲ要ス

第二十二條 保護者又ハ代理者ノ住所等ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク届出ツヘシ

第二十三條 保護者又ハ代理者死去若ハ他ノ事故ニ由リ其ノ義務ヲ盡ス能ハサルニ至ルトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ直ニ届出ツヘシ

第二十四條 疾病其ノ他ノ已ムヲ得サル事由ニ由リ缺席、缺課、遲參又ハ早退スルトキハ其ノ日時及事由ヲ記シ保護者又ハ代理者ヨリ届出ツヘシ

第二十五條 已ムヲ得サル事故ニ由リ二箇月以上課業ニ就ク能ハサル見込ノ者ニ對シテハ當該學年間ニ限り休學ヲ許可スルコトアルヘシ

休學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保護者ヨリ願出ツヘシ但疾病ノ爲ニ休學セムトスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十六條 已ムヲ得サル事故ニ由リ退學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保護者ヨリ願出ツヘシ但疾病ノ爲ニ退學セムトスルトキハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一箇年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナク引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 五 前各號ノ外本校教育ノ趣旨ニ適セスト認メタル者

第五章 成績考査、修了及卒業

第二十八條 各學期ノ終ニ於テ其ノ學期間ニ於ケル生徒ノ學業成績ヲ考査シ各學年ノ終ニ於テ其ノ各學期ノ學業成績ニ依リ其ノ學年ノ課程ヲ修了ヲ認定ス最終學年ノ課程ヲ終了シタル者ハ全課程ヲ卒ヘタルモノトス

第二十九條 全課程ヲ卒ヘタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書ノ様式ハ左ノ通之ヲ定ム

第一様式(本科)

卒業證書 族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス) 何 年 月 日 生

校印

右者當校附屬高等女學校本科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒業ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

東京女子高等師範學校長位勳學位何某

第二様式(專攻科)

卒業證書 族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス) 何 年 月 日 生

校印

右者當校附屬高等女學校專攻科何部ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ了ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

東京女子高等師範學校長位勳學位何某

第六章 授業料

第三十條 授業料ハ一學年ニ就キ本科ニ在リテハ金四拾九圓

規則

五拾錢、專攻科ニ在リテハ金五拾五圓トス

第三十一條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ但シ毎月其ノ月分ヲ分納スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

第一學期 四月十九日ヨリ同二十三日マテ

第二學期 九月十二日ヨリ同十六日マテ

第三學期 一月十九日ヨリ同二十三日マテ

四月及一月ハ其ノ月十九日ヨリ同二十三日マテ 其ノ他ノ月ハ其ノ月十二日ヨリ同十六日マテ但 專攻科ハ七月ニ在リテハ其ノ月五日ヨリ同七日マテ

每學期分又ハ毎月分ノ授業料額ハ左ノ通之ヲ定ム

學期、月	納額	
	本 科	專 攻 科
第一學期、第二學期	各金拾八圓	各金貳拾圓
第三學期	金拾參圓五拾錢	金拾五圓
每 月	金四圓五拾錢	金 五 圓

第三十二條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス

授業料ノ滞納ニ箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命

スルコトアルヘシ

第三十三條 授業料ハ缺席休學等ノ爲ニ之ヲ免除スルコトナシ

附則 本規則ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

四 東京女子高等師範學校附屬國民學校規則

(本規則中第三部ニ關スルモノハ試ニ施行シツ、アルモノナリ)

第一條 附屬國民學校ハ普通教育ノ方法ノ研究ニ資シ本校生徒ヲシテ教育ノ方法ヲ練習セシムル所トス

第二條 附屬國民學校ヲ第一部第二部第三部トス

第三條 第一部ハ單式學級ニ編成セル女兒ノ國民學校初等科ニシテ附屬高等女學校ニ連續スルモノトス

第四條 第二部ハ複式學級ニ編成セル女兒ノ國民學校初等科及高等科トス

第五條 第三部ハ單式學級ニ編成セル男兒・男兒女兒共學ノ國民學校初等科トス

第六條 附屬國民學校ノ教科及科目ハ左ノ如シ

初等科 國民科 修身、國語、國史、地理
理數科 算數、理科

高等科 體鍊科 體操、武道、男兒 柔道及劍道
藝能科 音樂、習字、圖畫、工作、裁縫(女)
國民科 修身、國語、國史、地理

理數科 算數、理科
體鍊科 體操、武道
藝能科 音樂、習字、圖畫、工作、家事、裁縫
實業科 商業、外國語(英語)

第七條 各部兒童ノ定員及學級ノ編成ハ左ノ如シ

但シ特別ノ事情アルトキハ本文ニ據ラサルコトアルヘシ

第一部ノ兒童定員ハ凡二百四十人トシ六學級ニ編成ス

第二部ノ兒童定員ハ凡八百八十人トシ四學級ニ編成ス

第三部ノ兒童定員ハ凡二百四十人トシ六學級ニ編成ス

第八條 學年ヲ分テテ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第九條 各部ノ課程ハ別表ニヨル但シ每週授業時數ハ夏季休業ノ前後各二十日以内ニ於テハ之ヲ十八時マテ減スル事アルヘシ

第十條 前條ニ規定スル課程表ニ依ル授業ヲ行ハサル日ハ左ノ如シ

一月一日及昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日タル祭日

祝日

日曜日

學年末休業 三月廿五日ヨリ三月三十一日マテ

春季休業 四月一日ヨリ四月七日マテ

皇后陛下御誕辰 三月六日

皇太后陛下御誕辰 六月二十五日

夏季休業 七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ

開校記念日 十一月二十九日

冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第十一條 教科用圖書ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 入學期ハ每學年ノ始トス但シ缺員アルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第十三條 入學ヲ願フ者ハ左式ノ履歷書ヲ差出スヘシ

履歷書 族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス) 何 某 年 月 日生 第何部何科何學年志願 本籍 道廳府縣何郡市何町何番地 何村何番地

規則

住所 東京府 何郡市何町何番地 出生地 道廳府縣何郡市何町何番地 保護者ノ職業及兒童トノ關係他人ノ家ニ寄寓スルトキハ其ノ家長ノ氏名職業ヲモ併記スヘシ 種痘 第一期完了年月日(第二期完了年月日)痘疹經過年月日 從前ノ教育 何年何月ヨリ何幼稚園ニ於テ保育ヲ受ケルハ何市何町村國民學校ニ於テ初等科第何學年マテ修了等 年月日 東京府 何郡市何町何番地 族稱(華族ニ限リ之ヲ記ス) 保護者 何 某印

第十四條 保護者ニシテ東京市若ハ附近ニ居住セサル場合ニ於テハ代理者ヲ定メテ届出ツヘシ保護者代理者ハ東京市若ハ其ノ附近ニ居住シ成年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ限ル

第十五條 授業料ハ兒童一人ニ就キ第一部ニ在リテハ一學年金參拾參圓 第二部ニ在リテハ初等科ニ於テ一學年金貳拾貳圓 高等科ニ於テ一學年金五圓五拾錢 第三部ニ在リテハ一學年金參拾參圓トス

第十六條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ學期分ノ授業料

於テハ代理者ヲ定メテ届出ツヘシ保護者代理者ハ東京市若ハ其ノ附近ニ居住シ成年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ限ル

第十五條 授業料ハ兒童一人ニ就キ第一部ニ在リテハ一學年金參拾參圓 第二部ニ在リテハ初等科ニ於テ一學年金貳拾貳圓 高等科ニ於テ一學年金五圓五拾錢 第三部ニ在リテハ一學年金參拾參圓トス

第十六條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ學期分ノ授業料

ヲ納付スヘシ但毎月其ノ月分ヲ分納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

第一學期 四月十日ヨリ同十四日マテ
 第二學期 九月五日ヨリ同九日マテ
 第三學期 一月十日ヨリ同十四日マテ

四月及一月ハ其ノ月十日ヨリ同十四日マテ
 其ノ他ノ月ハ其ノ月五日ヨリ同七日マテ

每學期又ハ毎月分ノ授業料額ハ左ノ通之ヲ定ム

學期	納額		
	第一部	第二部	第三部
第一學期	各金拾貳圓	各金八圓	各金貳圓
第二學期	各金九圓	各金六圓	各金壹圓五拾錢
第三學期	各金參圓	各金貳圓	各金五拾錢

第十七條 學年中途ニ於テ入學シタル兒童ノ授業料ハ其ノ入學シタル月分ヨリ之ヲ納付スヘシ

第十八條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亘ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス授業料ノ滯納ニ箇月ニ亘ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第十九條 授業料ハ缺席ノクメニ之ヲ免除スルコトナシ

第二十條 學年ノ終ニ於テハ其ノ學年間ノ成績ヲ考査シ各學年ノ課程ヲ修了若ハ全課程ヲ修了ヲ認定ス

第二十一條 各學年ノ課程ヲ修了シタル者ハ第一號書式ノ證書ヲ與ヘ全課程ヲ修了シタルモノニハ第二號書式ノ證書ヲ與フ

第一號書式

修業證書

校印

右ハ當校附屬國民學校第何部ニ於テ初等科第何學年ノ課程ヲ修了セシコトヲ證ス

年 月 日

東京女子高等師範學校

第二號書式

修了證書

校印

右ハ當校附屬國民學校第何部ニ於テ初等科ノ全課程ヲ修了セシコトヲ證ス

年 月 日

東京女子高等師範學校長位勳學位何某

第二十二條 兒童又ハ保護者ノ轉居シタル時ハ保護者ヨリ直ニ届出ツヘシ

第二十三條 病氣其ノ他ノ事故ニ由リ遅刻又ハ缺席スルトキハ其ノ旨保護者ヨリ届出ツヘシ

第二十四條 退學セムト欲スル者ハ理由ヲ具シテ其ノ旨保護者ヨリ申出ツヘシ

第二十五條 無届缺席一箇月ニ及フ者ハ除籍スルコトアルヘシ

第二十六條 當校教育ノ趣旨ニ適セスト認ムル者ニハ退學ヲ命ス

附則 昭和十六年四月一日改正

第二十七條 本則ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二部初等科第四學年以上ノ學級編成ニ付テハ昭和十九年三月マテ仍從前ノ例ニ依ル

教科	科目					
	修身	國語	國史	地理	算數	理科
第一學年	國民道徳	一〇			算數一般	自然ノ觀察
	讀方綴方	一				
	話方綴方					
	遊戯、體操					
	衛生、體操					
	歌唱、鑑賞、基礎練習					
第二學年	國民道徳	一〇			算數一般	自然ノ觀察
	讀方綴方	一				
	話方綴方					
	遊戯、體操					
	衛生、體操					
	歌唱、鑑賞、基礎練習					
第三學年	國民道徳	一〇			算數一般	自然ノ觀察
	讀方綴方	一				
	話方綴方					
	遊戯、體操					
	衛生、體操					
	歌唱、鑑賞、基礎練習					
第四學年	國民道徳	一〇			算數一般	自然ノ觀察
	讀方綴方	一				
	話方綴方					
	遊戯、體操					
	衛生、體操					
	歌唱、鑑賞、基礎練習					
第五學年	國民道徳	一〇			算數一般	自然ノ觀察
	讀方綴方	一				
	話方綴方					
	遊戯、體操					
	衛生、體操					
	歌唱、鑑賞、基礎練習					
第六學年	國民道徳	一〇			算數一般	自然ノ觀察
	讀方綴方	一				
	話方綴方					
	遊戯、體操					
	衛生、體操					
	歌唱、鑑賞、基礎練習					

規則

六三

六二

第二部初等科

一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

藝能科	裁縫	工作	圖畫	習字	教科目		時數
					第一學年	第二學年	
藝能科	裁縫	工作	圖畫	習字	三	三	二五
					三	三	二五
					三	三	二七
					三	三	三一
					三	三	三三
					三	三	三三

六四

第二部初等科

一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

體操科	武	算	理	地	國	國	修	教科目		時數
								第一學年	第二學年	
體操科	武	算	理	地	國	國	修	一〇	一〇	二五
								一〇	一〇	二五
								一〇	一〇	二七
								一〇	一〇	三一
								一〇	一〇	三三
								一〇	一〇	三三

第二部高等科

一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

藝能科	裁縫	工作	圖畫	習字	教科目		時數
					第一學年	第二學年	
藝能科	裁縫	工作	圖畫	習字	三	三	二五
					三	三	二五
					三	三	二七
					三	三	三一
					三	三	三三
					三	三	三三

第二部高等科

一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

國民科	國	國	地	商	外	算	理	教科目		時數
								第一學年	第二學年	
國民科	國	國	地	商	外	算	理	二	二	二五
								二	二	二五
								二	二	二七
								二	二	三一
								二	二	三三
								二	二	三三

第二部高等科

一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

藝能科	裁縫	家事	工作	圖畫	習字	音樂	體操科		時數
							第一學年	第二學年	
藝能科	裁縫	家事	工作	圖畫	習字	音樂	四	四	二五
							四	四	二五
							四	四	二七
							四	四	三一
							四	四	三三
							四	四	三三

規則

六五

科目	第一學年		第三學年		第三學年		第四學年		第五學年		第六學年	
	時數	内容	時數	内容	時數	内容	時數	内容	時數	内容	時數	内容
國民科	一〇	國民道德、讀方、書方、話方、綴方	一一	同	二	讀方、綴方、話方	八	同	七	同	七	同
地理							一	郷土ノ觀察	二	國史ノ大要	二	同
算數	五	算數一般、自然ノ觀察	五	同	五	同	二	理科一般	五	同	五	同
理科					一	同	二	同	二	同	二	同
體操	五	遊戯體操衛生、歌唱鑑賞基礎練習	六	同	六	體操、技藝、戲、鑑賞	二	同	六	武道ノ簡易基礎動作	六	同
音樂					二	同	二	同	二	同	二	同
習字	三	カナ、楷書、形象看取、表	三	同	三	同	二	同	三	カナ、楷書、行書	三	同
圖畫	三	同	三	同	三	同	二	同	二	同	二	同
工作	三	同	三	同	三	同	二	裁縫初步	二	同	二	同
裁縫(女)							二	同	二	同	二	同
每週授業總時數	二三		二五		二七		三一		三三		三三	

一時ノ授業時間ハ之ヲ四十分トス

五 東京女子高等師範學校 附屬幼稚園規則

- 第一條 東京女子高等師範學校附屬幼稚園ハ幼兒保育ノ方法ノ研究ニ資シ本校生徒ヲシテ幼兒保育ノ方法ヲ練習セシムル所トス
- 第二條 附屬幼稚園ヲ分チテ第一部、第二部トス
- 第三條 第一部ハ同年齡ノ幼兒ノミヲ以テ組ヲ編制シ第二部ハ年齢ノ異ル幼兒ヲ相混シテ組ヲ編制ス
- 第四條 附屬幼稚園ノ保育項目ハ遊戯、唱歌、觀察、談話、手技等トス
- 第五條 幼兒ノ年齢ハ第一部ニ在リテハ滿四歳ヨリ小學校ニ就學スルマテトシ第二部ニ在リテハ滿三歳ヨリ小學校ニ就學スルマテトス
- 第六條 幼兒ノ定員ハ第一部凡百二十名、第二部凡九十名トス
- 第七條 一箇年ヲ分チテ三期トス
 - 第一期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル
 - 第二期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル
 - 第三期 翌年一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル
- 第八條 保育時數ハ第一部ハ每週二十五時トシ第二部ハ每週

第二十八時トス但夏季休業前後各三週以内ハ第一部ニ在リテハ十八時マテ、第二部ニ在リテハ二十一時マテ減スルコトアルヘシ

- 第九條 休業日ハ左ノ如シ
 - 祝日、大祭日及日曜日
 - 春季 休業 四月一日ヨリ同七日ニ至ル
 - 皇后陛下御誕辰 三月六日
 - 皇太后陛下御誕辰 六月二十五日
 - 夏季 休業 七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル
 - 開校記念日 十一月二十九日
 - 冬季 休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル
- 第十條 入園ノ期ハ毎年四月トス但缺員アルトキハ臨時入園ヲ許スコトアルヘシ
- 第十一條 入學ヲ願フ者ハ左式ノ履歷書ヲ差出スヘシ

履歷書	幼兒	何	某
一 族稱 (華族ニ限リ之ヲ記ス)			
一 本籍 北海道、何府縣何市郡何町村何番地、何某幾男			
一 住所 東京府市何區何町村何番地何某内			
一 保護者ノ職業及幼兒トノ關係 何官、何商、何社ノ何役等			
一 他人ノ家ニ寄寓スルトキハ其ノ家長ノ職業ヲ併記スヘシ			

出生年月日	出生地
養育品	生母ノ乳、乳母ノ乳、牛乳、乳粉等
養育場所	自宅、乳母ノ家等
療養第一期間完了年月日	痘疹經過年月日
生來著シキ疾病ニ罹リシコトノ有無及病狀病名等	
兩親ノ年齢及健康	
兄弟姉妹ノ數及健康	
右之通ニ御座候	
年月日	住所
保護者何	某

第十二條 保護者ニシテ東京市若ハ其ノ附近ニ住居セサル場合ニ於テハ代理者ヲ定メテ届出ツヘシ
保護者代理者ハ東京市若ハ其ノ附近ニ住居シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ限ル

第十三條 保育料ハ一箇年ニ就キ金參拾參圓トス

第十四條 保護者ハ左記ノ期間内ニ於テ其ノ期分ノ保育料ヲ納付スヘシ但毎月其ノ月分ヲ分納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ八月分ヲ納付スルヲ要セス

第一期 四月十六日ヨリ同十八日マテ
第二期 九月十七日ヨリ同十八日マテ
第三期 一月十六日ヨリ同十八日マテ
毎月 其ノ月五日ヨリ同七日マテ

毎期分又ハ毎月分ノ保育料額ハ左ノ通之ヲ定ム
第一期及第二期 金拾貳圓
第三期 金九圓
毎月 金參圓

第十五條 一箇年ノ中途ニ於テ入園シタル幼児ノ保育料ハ其ノ入園シタル月分ヨリ之ヲ納付スヘシ
入園シタル月分ノ保育料ハ入園後七日以内ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第十六條 既納ノ保育料ハ之ヲ返付セス但臨時休業全月ニ亙ルトキハ其ノ月分ニ相當スル金額ヲ返付ス
保育料ノ滞納ニ箇月ニ亙ル者ニハ出席ヲ停メ又ハ退園ヲ命スルコトアルヘシ

第十七條 保育料ハ缺席ノタメニ之ヲ免除スルコトナシ

第十八條 幼児又ハ保護者ノ轉居シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第十九條 幼児缺席スルコト一週ヲ超ユルトキハ其ノ事由ヲ届出ツヘシ但幼児傳染病ニ罹リタルトキハ直ニ其ノ病狀ヲ届出ツヘシ

第二十條 退園セムト欲スルモノハ其ノ理由ヲ具シ保護者ヨリ其ノ旨申出ツヘシ

附 則

第二十一條 本則ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本則施行前ニ入學シタル幼児ノ保育料ハ従前ノ通トス

昭和四年三月十一日改正規則附則

第二十二條 本則ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和六年三月三十日改正規則附則

第二十三條 本則ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和六年十二月二十八日改正規則附則

第二十四條 本則ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本則施行前ニ入園シタル幼児ノ保育料ハ従前ノ通トス

六 東京女子高等師範學校
生徒奨勵費給與規程

第一條 本校生徒ニシテ學力優等品行方正ナル者又ハ多年教職ニ從事シタル者ノ子若ハ入學後非常ノ災害ニ遭遇シ家計上ニ著シキ變化ヲ來シ學資ニ困難ヲ生シタル者ニハ奨勵ノ爲月額金拾五圓以内ヲ支給スルコトアルヘシ但特別ノ事情アル者ニ對シテハ月額金貳拾五圓ヲ支給スルコトヲ得

第二條 奨勵費ハ其ノ月十五日以後ニ於テ支給命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限り月額ノ半額トス

第三條 奨勵費ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル場合

規 則

七 東京女子高等師範學校授業費償還ニ關スル事項

ニハ其ノ期間奨勵費ヲ支給セス但此ノ場合ニ於テハ日割計算トス

第四條 奨勵費ハ其ノ月二十三日（七月ニ在リテハ五日、休業日ナレハ繰下ク）ニ之ヲ支給ス但半途退學者、卒業者、死亡者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一 女子高等師範學校規程第八條同卒業者服務規則第五條ニ依リ償還セシムヘキ授業費

文科

研究科（文科ニ屬スルモノ） 月額金 五圓
專修科（文科ニ屬スルモノ） 年額金 六拾圓
同上卒業者

理科

研究科（理科並ニ家事科ニ屬スルモノ） 月額金 七圓
專修科（理科並ニ家事科ニ屬スルモノ） 年額金 八拾圓
同上卒業者

八 東京女子高等師範學校 生徒學費支給規程

- 第一條 本校本科生徒ニハ豫算ノ定ムル所ニ依リ學費トシテ月額金貳拾圓ヲ支給ス
- 第二條 學費支給ハ生徒ノ志望ニ依リ學業品行及家庭ノ事情等ヲ考量シ學校長之ヲ決定ス
- 第三條 學費支給辭退ノ申出アリタルトキ又ハ學校長ニ於テ必要ト認メタルトキ將來ニ向ツテ學費ノ支給ヲ取消シ又ハ一時其ノ支給ヲ停止スルコトアルヘシ
- 第四條 休學ヲ命セラレタル者ニハ其ノ期間學費ノ支給ヲ停止ス
- 第五條 學費ハ支給命令ノ月割ヲ以テ毎月二十二日（休業日ナレハ繰下クニ之ヲ支給ス但七月ニ在リテハ七日ニ之ヲ支給ス
- 第六條 半途退學休學又ハ學費支給ノ取消又ハ停止ノ命令ヲ受ケタル月ノ學費ハ日割計算ヲ以テ之ヲ支給ス

附則
本規程ハ昭和十六年四月分ヨリ之ヲ適用ス

九 外國人特別入學規程細則

- 第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ入學ヲ志望スル者アルトキハ設備上差支ナキ場合ニ在リテハ本校各科及附屬高等女學校專攻科聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二條 第一條ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ毎年三月末之ヲ定ム
- 第三條 入學志望者ニ對シテハ試驗ヲ以テ相當ノ學力ヲ認定スヘキモノトス
- 第四條 入學志願者ハ入學檢定料トシテ金參圓ヲ納付スヘシ但既納檢定料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス
- 第五條 聽講生ハ授業料トシテ本校各科附屬高等女學校專攻科各部共ニ一學年金四拾圓ヲ每學年四月十五日（休日ナラハ繰下ク）ニ納付スヘシ但明治四十四年文部省令第十六號ニ依リ入學シタル者ニハ授業料ヲ減額シ又ハ徵收セサルコトアルヘシ
- 第六條 半途退學其ノ他如何ナル事情アルモ既納ノ授業料ハ返還セサルモノトス但全學年間休學ヲ命シタル場合ニハ之ヲ徵收セス
- 第七條 聽講生在學中ハ特ニ定メラレタル本校教官ノ指揮監督ヲ受クヘキモノトス
- 第八條 聽講生ニシテ成規ノ課程ヲ修了シ成績佳良ト認メタ

ル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第九條 本校諸規則ニシテ本則ニ牴觸セサルモノハ聽講生ニ適用ス

附則

第十條 本則ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

十 聽講生編入規程

- 第一條 本校各學科聽講生ニシテ其ノ全課程ヲ履修シ既往各學年ノ成績優良ナル者ハ願ニ依リ第三學年又ハ第四學年ノ始ニ於テ之ヲ本科ニ編入スルコトアルヘシ
- 第二條 本校各學科聽講生ニシテ其ノ課程中ノ一科目又ハ數科目ヲ履修シ既往各學年ノ成績優良ナル者ハ願ニ依リ第三學年又ハ第四學年ノ始ニ於テ之ヲ選科生ニ編入スルコトアルヘシ
- 第三條 前二條ニ依リ本科又ハ選科生ニ編入シタル者ノ授業料ニ付テハ本校規則第六十七條及第六十八條ヲ準用又ハ適用ス但朝鮮人及臺灣人ニシテ本科ニ編入シタル者ノ授業料ハ此ノ限ニ在ラス

十一 外國政府委託留學生及教育見習生ニ關スル規則

- 第一條 外國政府ノ本校ニ委託シタル留學生又ハ教育見習生ニシテ本校及附屬校園ニ修業ヲ許可シタル場合ハ前者ヲ特別聽講生後者ヲ特別教育見習生ト稱ス
- 第二條 特別聽講生及特別教育見習生ニハ入學檢定料及授業料ノ徵收ヲ免除ス
- 第三條 特別聽講生及特別教育見習生在學中ハ特ニ定メタル本校教官ノ指導監督ヲ受クヘシ
- 第四條 特別聽講生及特別教育見習生ニシテ在學中ノ成績佳良ナル者ニ對シテハ詮衡ノ上其ノ履修シタル學科目又ハ事項ノ修習證書ヲ授與スルコトアルヘシ
- 第五條 本校諸規則及內規ニシテ本則ニ牴觸セサルモノハ之ヲ特別聽講生及特別教育見習生ニ準用ス

第六 細 則

一 東京女子高等師範學校規則施行細則

第一章 選修科目及隨意科目

- 第一條 規則第十四條乃至第十七條ノ各第二項ニ依リ生徒ヲシテ選修セシムヘキ科目ハ生徒ノ志望順位及當該科目ノ學業成績ト教授上ノ都合トヲ考量シテ之ヲ定ム
 - 第二條 第二學年生徒ハ其ノ選修スヘキ科目ノ志望順位ヲ定メ第三學期ノ指定期間内ニ教務課ニ届出ツヘシ
 - 第三條 隨意科目ノ學年ノ中途ニ於テ其ノ履修ヲ開始シ又ハ中止スルコトヲ得ス
 - 第三條ノ二 隨意科目ヲ履修シ又ハ其ノ履修ヲ中止セムトスル者ハ前學年第三學期ノ指定期間内ニ教務課ニ届出ツヘシ
- 第二章 式 日
- 第四條 紀元節、天長節、明治節、皇后陛下御誕辰皇太后陛下御誕辰及一月一日ニハ拜賀式ヲ行フ
 - 拜賀式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
 - 一 生徒着席
 - 二 職員着席

- 三 學校長着席
 - 四 敬禮
 - 五 御帳ヲ開ク
 - 六 御影ヲ奉拜ス
 - 七 唱歌(君が代)
 - 八 生徒總代祝賀
 - 九 教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス
 - 十 唱歌(勅語奉答)
 - 十一 學校長式辭
 - 十二 唱歌
 - 十三 御帳ヲ閉ツ
 - 十四 敬禮
 - 十五 學校長、職員、生徒順次退場
- 前項第十二號ノ唱歌ハ一月一日、紀元節、天長節、明治節ニ在リテハ其ノ歌、皇后陛下御誕辰及皇太后陛下御誕辰ニ在リテハ校歌「みがかずば」トス紀元節ニハ第九號「教育ニ關スル勅語」ノ次ニ「憲法發布勅語」ヲ加フ
- 第五條 開校記念日ニハ記念式ヲ行フ

記念式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム

- 一 着席
 - 二 敬禮
 - 三 唱歌(君が代)
 - 四 開校ノ日ニ於テ昭憲皇太后ヨリ賜リタル令旨及開校六十年記念日ニ於テ皇后陛下ヨリ賜リタル令旨ヲ奉讀ス
 - 五 學校長式辭
 - 六 生徒總代祝辭
 - 七 卒業者總代祝辭
 - 八 唱歌(校歌「みがかずば」)
 - 九 敬禮
 - 十 退場
- 第六條 生徒入學ノ日及卒業ノ日ニハ入學式及卒業式ヲ行フ
- 入學式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
- 一 生徒着席
 - 二 職員着席
 - 三 學校長着席
 - 四 敬禮
 - 五 入學ノ許可ヲ中渡ス
 - 六 入學生徒總代誓書ヲ朗讀ス
 - 七 入學生徒總代誓書ヲ呈出ス

細 則

- 八 學校長告辭
 - 九 敬禮
 - 十 學校長、職員、生徒順次退場
- 卒業式ノ次第ハ左ノ通之ヲ定ム
- 一 着席
 - 二 唱歌(君が代)
 - 三 卒業證書ヲ授與ス
 - 四 唱歌(おもへばはてなき)
 - 五 學校長告辭
 - 六 文部大臣祝辭
 - 七 卒業者總代謝辭
 - 八 唱歌(はてしなき)
 - 九 敬禮
 - 十 退場
- 第三章 入學及在學
- 第七條 規則第二十三條第二項ノ推薦書、入學願書、履歷書、學業成績調査及人物考定書並ニ身體検査書ノ様式ハ附錄第一號乃至第五號ノ通之ヲ定ム
 - 第八條 規則第二十九條ノ誓書ノ様式ハ附錄第六號ノ通之ヲ定ム
 - 第九條 規則第三十二條ノ保證書ノ様式ハ附錄第七號及第八

號ノ通之ヲ定ム

第十條 保證人又ハ代理保證人ノ住所、身上等ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク届出ツヘシ

第十一條 保證人又ハ代理保證人死去若ハ他ノ事故ニ由リ其ノ義務ヲ盡スコト能ハサルニ至ルトキハ他人ヲ以テ之ニ替

ヘ更ニ規則第三十四條ノ手續ヲナスヘシ

第四章 成績考査

第十二條 文科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
修身	一	一	一	一
教育	一	一	一	一
國語	二	二	四	二
漢文	一	一	一	一
歷史	二	二	二	二
地理	二	二	二	二
外國語	二	二	一	一
音樂	一	一	一	一

學科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
合計	一三	一三	一三	一三
體操	一	一	一	一

歷史及地理選修

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
修身	一	一	一	一
教育	一	一	一	一
國語	二	二	二	二
漢文	一	一	一	一
歷史	二	二	三	二
地理	二	二	二	二
外國語	二	二	一	一
音樂	一	一	一	一
體操	一	一	一	一
合計	一三	一三	一三	一三

第十三條 理科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
修身	一	一	一	一
教育	一	一	一	一
數學	三	三	四	二
物理學	二	二	三	四
化學	二	二	三	三
生物學通論	一	一	一	一
生理及衛生	一	一	一	一
礦物及地質	一	一	一	一
工作	一	一	一	一
外國語	二	二	一	一
音樂	一	一	一	一
體操	一	一	一	一
合計	一四	一四	一三	一三

物理及化學選修

學科目	學年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
修身	一	一	一	一
教育	一	一	一	一
數學	三	二	二	一
物理學	二	二	三	三
化學	三	二	三	三
生物學通論	一	一	一	一
生理及衛生	一	一	一	一
礦物及地質	一	一	一	一
工作	一	一	一	一
外國語	二	二	一	一
音樂	一	一	一	一
體操	一	一	一	一
合計	一五	一四	一五	一三

植物及動物選修

學科目	年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
合計	一六	一六	一五	一四
體操	一	一	一	一
音樂	一	一	一	一
外國語	二	二	一	一
礦物及地質	一	一	一	二
生理及衛生	一	一	一	三
動物	二	二	三	三
植物	二	二	四	三
化學	二	二	一	一
物理	一	一	一	一
數學	三	二	一	一
教育	一	一	一	二
修身	一	一	一	一

第十四條 家事科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

家事選修

學科目	年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
合計	一三	一三	一三	一二
體操	一	一	一	一
音樂	一	一	一	一
外國語	二	二	一	一
手藝	一	一	一	一
圖畫	一	一	一	一
理科	二	二	二	二
裁縫	二	二	二	二
家事	一	三	四	五
教育	一	一	一	二
修身	一	一	一	一

裁縫選修

學科目	年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
合計	一三	一三	一三	一二
體操	一	一	一	一
音樂	一	一	一	一
外國語	二	二	一	一
手藝	一	一	一	一
圖畫	一	一	一	一
理科	二	二	二	二
裁縫	二	二	四	四
家事	一	二	二	三
教育	一	一	一	二
修身	一	一	一	一

第十五條 體育科ノ評點科目數ハ左表ニ依ル

學科目	年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
體育概論	一	一	一	一
教育	一	一	一	二
修身	一	一	一	一

細則

學科目	年			
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年 (第一學期及第二學期)
合計	一三	一三	一三	一二
外國語	一	一	一	一
美學	一	一	一	一
國語	一	一	一	一
和聲學	一	(一)	(一、五)	(一)
音樂史	一	(〇、五)	(一)	(一)
器樂	一	(〇、五)	(一)	(一)
聲學	二	(〇、五)	(〇、五)	(〇、五)
音樂理論	一	(一)	(一)	(一)
樂學	一	(一)	(一)	(一)
育兒及看護	一	(一)	(〇、五)	(一)
生物學通論	一	(一)	(〇、五)	(一)
運動醫學及生理衛生	一	(一)	(一)	(一)
競技及武道	一	一	一	(一)
體操及遊戲	二	一	一	(一)

第十六條 教官ハ規則第四十條ニ依リ每學期末ニ於テ其ノ擔任ニ屬スル評點科目ニ就キ各生徒ノ學期成績評點ヲ定ムヘ

前項ノ評點ハ所定ノ評點表ニ之ヲ記入シ試験ノ問題ト共ニ指定ノ期日迄ニ教務課ニ差出スヘシ

第十七條 一評點科目ヲ數人ニテ擔當スルトキハ當該學科目主任ハ各人ノ擔當スルモノニ就キ評點ノ割合ヲ定メ學校長ノ承認ヲ受クヘシ

第十八條 一學科目ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツ場合ニ於テ教授事項ニ區分ヲ立テ難キトキハ其ノ學科目ノ成績評點ヲ以テ各評點科目ノ成績評點ト見做ス

第十九條 實習及實驗實習ニ關スル分科目並ニ左ノ學科目又ハ分科目ノ成績評點ハ平素ノ課業ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ但隨時一様ノ演習ヲ課スルコトヲ得

文科 國語中講讀、習字、作文及作歌 漢文
外國語 音樂 體操(體育概論ヲ除ク)
理科 外國語 音樂 體操(體育概論ヲ除ク)

家事科 裁縫 圖畫 手藝 外國語 音樂 體操(體育概論ヲ除ク)
體育科 體操(體育概論ヲ除ク) 及遊戲 競技及武道 聲樂 器樂 國語 外國語

第二十條 前條外ノ學科目及分科目ノ成績評點ハ試驗及平素ノ課業ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ムヘシ

試驗ハ每學期ノ終ニ於テ期ヲ定メ之ヲ行フ

第二十一條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ其評點科目ノ試驗ニ缺席シタル者ニシテ當該學期ニ於ケル其ノ科目ノ出席總時數教授總時數ノ二分ノ一以上ナル者ニ對シテハ認定試驗評點ヲ付與ス

前項ノ認定試驗評點ハ他ノ二學期(二學期ニテ完了スル科目ニ在リテハ他ノ一學期)ノ試驗評點ヲ勘案シテ定メタルモノノ十分ノ八トス

第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ認定試驗評點ヲ付與セス
一 試驗ニ缺席シタル理由正當ナラスト認メタル者
二 當該學年ニ於テ其評點科目ノ試驗ニ缺席スルコト二回以上ニ及ブ者

第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ追試驗ヲ許可スルコトアルヘシ但第三號ニ該當スル者ニ對シテハ一學年一回ニ限ル

一 第二十條第一項ニ該當スルモ他ノ學期ニ其ノ評點科目ナキカクメ同條第二項ニ依リ認定試驗評點ヲ付與スルト能ハサル者
二 父母、祖父母、兄弟、姉妹ノ喪ニ丁リ其ノ他非常ノ事情起リタルタメ其ノ評點科目ノ試驗ニ缺席シタル者

第一期 一月八日ヨリ二月十一日マテ
第二期 二月十二日ヨリ三月十七日マテ

第二十八條 各學科ノ教生ヲ分チテ二組トシ各組交番ハ附屬高等女學校及國民學校ニ於ケル教育又ハ幼稚園ニ於ケル保育ニ從事セシム

第二十九條 教育實習トシテ行フヘキ事項ハ概ネ左ノ如シ
一 教授訓練及保育ノ方法ヲ實習セシムルコト
二 附屬高等女學校、國民學校及幼稚園ニ於ケル教育保育ノ要旨及諸規程ヲ會得セシムルコト

三 附屬高等女學校國民學校及幼稚園ニ於ケル事務ヲ見學補助セシムルコト
四 他ノ學校及幼稚園ヲ見學セシムルコト

第三十條 教育實習ハ附屬高等女學校、國民學校及幼稚園ノ教官之ヲ指導ス
第三十一條 本校ノ教官ハ教育實習期間時々附屬高等女學校國民學校及幼稚園ニ出頭シ教生ノ指導ニ協力スヘシ

第三十二條 附屬高等女學校、國民學校及幼稚園ハ教生ノ指導ニ關シ時々打合ヲナシ相互ノ連絡ヲ圖ルヘシ
第六章 研究科及選科生

第三十三條 規則第五十一條及第六十四條ノ入學願書、履歷書及身體檢查書ノ様式ハ第七條ノ當該様式ニ準ス

三 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ其評點科目ノ試驗ニ缺席シタル者ニシテ當該學期ニ於ケル其ノ科目ノ出席總時數教授總時數ノ二分ノ一ニ滿タサル者
前項第一號及第三號ニ該當スル者ノ試驗評點ハ追試驗評點ノ十分ノ八トス

第二十三條ノ二 追試驗ハ次學期ノ始ニ於テ期ヲ定メ之ヲ行フ

第二十四條 學年成績ノ平均評點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ學年ノ課程ヲ終了シタル者トス
一 評點科目ノ評點六十未滿ノモノナキ者
二 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ二科目以内アルモ其ノ評點五十以上ナル者

三 評點科目ノ評點六十未滿ノモノ三科目アルモ其ノ評點何レモ五十五以上ナル者又ハ一八五十以上ニシテ他ノ二八五十五以上ナル者

第二十五條 當該學年ニ於ケル缺席日數、缺課回數ノ夥多ナル者ハ前條ニ拘ラス之ヲ原學年ニ止ムルコトアルヘシ

第二十六條 各學年ノ各學科目ノ平均評點六十未滿ノ者ニ對シテハ規則第四十四條第二項ヲ準用ス

第五章 教育實習
第二十七條 教育實習ノ期間ヲ分チテ左ノ二期トス

本則ハ昭和十三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス
附則
附錄
(第一號)

入學願書	氏名(振假名ヲ付スコト)	年 月 日生
本籍		
現住所		
受信ノ場所		
志望學科	第一志望 科科 第二志望 科科	
學費	第一志望 受驗地 第二志望	
私儀	女子師範學校、師範學校女子部、高等女學校教員志望ニ付 御選拔被成下度別紙所定ノ書類並ニ檢定料相添ヘ此段相願候也	
年 月 日	右	何 某
東京女子高等師範學校長	何 某殿	

(第二號)
推薦書

何 某 ハ當校(修業年限)ヲ何年何月卒業ノ者(目下當校第何學年在學明年三月末迄ニ卒業スヘシト認メタル者)ニシテ將來教員タルニ適當ノ者ト認メ候間別紙所定ノ書類相添ヘ此段推薦候也

年 月 日

何々學校長 何 某

東京女子高等師範學校長 何 某殿

(第三號)
學業成績調査人物考定書

人物考定	學業成績		備考
	第 一 學 年	第 二 學 年	
	學 科	學 科	
	身 體	身 體	
	英 語	英 語	
	地 理	地 理	
	史 學	史 學	
	算 術	算 術	
	物 理	物 理	
	化 學	化 學	
	工 學	工 學	
	音 樂	音 樂	
	書 法	書 法	
	日 本 史	日 本 史	
	外 國 史	外 國 史	
	倫 理	倫 理	
	心 理 學	心 理 學	
	實 驗 學	實 驗 學	
	實 業 學	實 業 學	
	體 育	體 育	
	勞 働	勞 働	
	全 體	全 體	

右證明ス

年 月 日

何々學校長 何 某

(記載上ノ注意)
一 學業成績欄ニハ入學志願者ノ最近ニケ年ノ學業成績等ヲ記載アリタシ
二 各學年ノ出席歩合九〇%ニ滿タザル者ハ其缺席ノ事由ヲ人物考定欄ニ附記セラレタシ

(第四號)
履 歷 書

本籍 何 某

現住所 年 月 日生

學 業

何學校何科第何學年ニ入學 年 月 日

卒業 年 月 日

何所ニテ何教員免許狀受領 年 月 日

何學校ニテ試驗檢定合格證書受領 年 月 日

業 務

細 則

(第五號)
身體檢査書

氏 名	身 體 檢 査 書
身 長	年 月 日生
胸 廓	

昭和 年 月 日 検査 住所 學校醫又ハ醫師(氏名印)	備考	牙齒	齒齦	皮膚	脊柱	脊形	榮養	比坐高	比胸圍	比體重	坐高	胸圍	體重
		未處置	處置	膚	疾病	態							
		判定	病及異狀	其ノ他ノ齒疾	鼻及明頭	耳疾	耳聽力	眼疾	色神	異常右	加折左	視力右	視力左

(第六號)

誓書

私儀今般御校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校ノ規則命令ヲ格守可仕
ハ勿論卒業ノ上ハ女子高等師範學校卒業者服務規則ヲ遵奉シ専心教
育ニ從事可仕此段宣誓仕候也

年 月 日
東京女子高等師範學校何科生徒
何 某

東京女子高等師範學校長何某殿

(第七號)

保證書

右者今般御校ニ入學許可相成候ニ付テハ御校ノ規則命令ヲ格守可爲
致ハ勿論本人ノ身上ニ關スル一切ノ事件ハ掛者ニ於テ引受ケ可申此
段保證仕候也

年 月 日
本籍、族稱、業務
現住所
本人トノ續柄
何 某
東京女子高等師範學校何科生徒

東京女子高等師範學校長何某殿

(第八號)

代理保證書

印紙

右者今般御校ニ入學許可相成候處保證人何某儀御校所在地ヲ距ルコ
ト遠キ土地ニ居住致居候間御校ノ要求アル場合ハ掛者ニ於テ其ノ義
務ヲ代理可仕此段保證候也

本籍、族稱、業務

現住所

本人トノ續柄

年 月 日

東京女子高等師範學校長何某殿

代理保證人 何 某

二 寄宿舎規程

第一條 寄宿舎ハ生徒ヲ寄宿セシメ本校ノ教育ト相俟テ學業
ヲ自習シ德行ヲ磨礪シ特ニ和衷協同ノ精神ヲ涵養シ兼テ事
務ヲ練習セシムル所トス

第二條 生徒ハ總ヘテ寄宿舎ニ寄宿セシム但寄宿舎ニ收容ス
ヘキ者ノ數其ノ定數ニ超過スルトキハ若干名ニ限リ通學ヲ
命スルコトアルヘシ

細則

- 第三條 前條但書ニ依リ通學ヲ命スル場合ニハ第三學年以上ノ生徒中通學ヲ希望スル者ニ就キ選定スルヲ常例トス
- 第四條 寄宿舎生徒ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ外泊、歸郷又ハ旅行スルコトヲ得ス
- 第五條 寄宿舎生徒ニシテ疾病ニ罹リタル者アルトキハ其ノ種類症狀ニ依リ外泊、通學又ハ移轉療養ヲ命スルコトアルヘシ
- 第六條 夏季休業中ハ寄宿舎ヲ閉鎖ス
- 第七條 寄宿舎生徒室ノ人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム
- 第八條 寄宿舎ノ日課時限ハ學校長ノ認可ヲ經テ生徒主事之ヲ定ム
- 第九條 寄宿舎生徒ハ規約ヲ定メ學校長ノ認可ヲ經テ之ヲ實行スヘシ規約ヲ以テ定ムヘキ事項左ノ如シ
 - 一 舍内ノ秩序整頓及風儀ニ關スルコト
 - 二 舍内ノ清潔及衛生ニ關スルコト
 - 三 炊事マ務ニ關スルコト
 - 四 其ノ他必要ナル事項
- 第十條 寄宿舎ニ左ノ役員ヲ選ク
 - 一 寮總代 各寮二名
 - 一 寮總代 各寮一名
 - 一 委員 若干名

寮總代ハ其ノ寮ノ常務ヲ取扱ヒ規則規約ノ實行ヲ督勵ス
寮總代ハ其ノ寮ノ常務ヲ取扱ヒ寮内ノ整理ニ任ス
委員ハ其ノ分擔事務ヲ取扱フ

第十一條 寮總代ハ第三學年生徒中ヨリ學校長之ヲ任命ス
寮總代ハ第一學期、第二學期ニ在リテハ第四學年生徒之ニ
當リ、第三學期ニ在リテハ第三學年生徒中ヨリ、委員ハ第
一、二、三學年生徒中ヨリ學校長之ヲ任命ス役員ノ任命期
ハ寮總代並委員ハ第三學期ノ始トシ寮總代ハ每學期始トス
役員ノ任期ハ寮總代及委員ニ在リテハ一箇年、寮總代ニ在
リテハ一學期トス

第十二條 役員ハ生徒主事ノ指揮監督ヲ受ク
第十三條 寄宿舎ニ週番ヲ置ク

週番ハ生徒主事ノ指揮ニ從ヒ寄宿舎事務ヲ練習ス
第十四條 週番ハ第四學年及第三學年生徒二名輪番ヲ以テ之
ニ當リ毎週日曜日交替ス

三 生徒心得細則

第一章 一般生徒心得

一 受業及教室事務

第一條 生徒ハ始業ノ號鈴ヲ聞クトキハ直ニ定席ニ着キ教官

ノ入室ヲ待ツヘシ
教官入室スルトキハ起立シテ敬禮ヲ行フヘシ退室スルトキ
亦同シ

第二條 授業時間中ハ勿論休憩時間中ト雖靜肅ヲ旨トスヘシ
第二條ノ二 自修、實驗又ハ實習時間中ハ電氣給水瓦斯放熱
ノ節約竝ニ器具機械ノ保存整頓ニ留意スヘシ

第二條ノ三 生徒ハ校舍校庭ノ清潔整理ニ從事スヘシ
第三條 第二學年以上ノ各學級ニ學級總代ヲ置ク學級總代ハ
生徒主事及學級主任ノ指揮ヲ受ケ當該學級ノ紀律ヲ保持シ
當該學級生徒ニ學校ノ示達ヲ傳ヘ其ノ他諸般ノ要務ニ任ス
第三條ノ二 學級總代ハ學校長之ヲ任命シ其ノ任期ヲ一學期
トス

第四條 各學級ニ學級當番ヲ置ク

學級當番ハ左ノ事務ヲ擔當ス

一 教室ノ清潔整頓及暖房換氣ノ責ニ任スルコト
二 毎時限ノ始ニ於テ其ノ學級ノ生徒ノ出席簿ヲ擔當ノ教
官ニ提出シ放課後ニ於テ之ヲ生徒課ノ所定場所ニ納置ス
ルコト

三 毎日其ノ學級日誌ヲ記載シ放課後ニ於テ生徒課ノ所定
ノ場所ニ納置スルコト

四 授業ニ所要ノ物品ヲ準備スルコト

五 其ノ他學級ニ關スル諸般ノ事務

第四條ノ二 學級當番ハ當該學級生徒輪番ヲ以テ之ニ當リ第
一學年ニ在リテハ二名、第二學年以上ニ在リテハ一名トス
學級當番ハ隔週月曜日交替ス

第四條ノ三 各級ニ整理委員ヲ置ク

整理委員ハ生徒主事ノ指揮ヲ受ケ第二條ノ三ノ實行ノ統制
ニ任ス

第四條ノ四 整理委員ハ各學級又ハ各組ノ生徒ニ就キ二名ト
シ學校長之ヲ任命シ其ノ任期ヲ一學期トス

第五條 正課外ニ於テ實驗實習ノタメ教室ヲ使用セムトスル
トキハ擔當教官ノ承認ヲ經テ事務當直ニ申出テ使用終リタ
ルトキハ其ノ檢閲ヲ受クヘシ

第六條 教室其ノ他ノ床壁備品ヲ毀損又ハ汚染スヘカラス若
シ之ヲ毀損又ハ汚染シタルトキハ學級當番ヲ經テ直ニ教務
課ニ申出ツヘシ

二 缺席、缺課及遲刻

第七條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ由リ課業ニ缺席、缺
課又ハ遲刻スルトキハ其ノ日時及事由ヲ詳記シ生徒主事ノ
檢印ヲ經テ三日以内ニ生徒課ニ差出スヘシ

第八條 疾病ノタメ課業ニ缺席スルコト一週日以上ニ及フト
キハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保證人又ハ代理保證人ノ運署ヲ以

細則

テ届出ツヘシ但寄宿舎ニ在舍スル者ニ在リテハ此限ニ在
ス

第八條ノ二 父母、祖父母、兄弟、姉妹ノ喪ニ丁リ課業ニ缺
席缺課シタル場合ニ於テハ之ヲ他ノ事故ニ由ル缺席缺課ト
區別シ左ノ各號ノ期間内ニ限り缺席日數、缺課時數ニ算入
セス

一 父母ノ喪ニ丁レル者ニ在リテハ七日以内
二 祖父母、兄弟姉妹ノ喪ニ丁レル者ニ在リテハ五日以内

三 集會及旅行

第九條 集會ヲ開カムトスルトキハ其ノ代表者ヲ定メ其ノ目
的、日時、場所、會費等ヲ具シ生徒課ヲ經テ生徒主事ノ許
可ヲ受クヘシ

第十條 集會ハ成ルヘク校内ニ於テ之ヲ開クヘシ

教室ヲ使用セムトスル場合ニハ豫メ教務課ノ承認ヲ經テ前
條ノ手續ヲナスヘシ

第十條ノ二 常時ノ集會ヲ設ケムトスルトキハ規約ヲ具シ願
出ツヘシ

第十條ノ三 前條ノ集會ヲ解散シタルトキハ直ニ届出ツヘシ
第十條ノ四 雜誌、冊子其ノ他印刷物ヲ頒布セムトスルトキ
ハ原稿ヲ具シ願出テ指定教官ノ檢閲ヲ受クヘシ

第十一條 休業日ニ於テ旅行ヲナサムトスルトキハ其ノ代表

者ヲ定メ其ノ目的、日時、場所費用等ヲ具シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

四 服裝及徽章

第十二條 服裝ハ質素實用ヲ旨トスヘシ附屬品、持物等亦同シ

第十三條 衣服ノ地質ハ左ノ通トシ色合、縞柄模様等ハ目立タサルモノヲ用フヘシ

一 和服

(一) 衣 木綿織、麻織、絹織(銘仙ノ程度)、毛織ノ類

(二) 袴 サージノ類

(三) 帶 モスリンノ程度(寄宿舎ニ於テハ帶ヲ使用スルモ妨ナシ)

二 洋服

木綿織、麻織、絹織(富士絹ノ程度)、毛織ノ類洋服ノ型ハ所定ノ標準服ニ據ルヘシ

第十四條 四大節及指定ノ式日ニハ式服ヲ用フヘシ

式服ハ白襟黒紋付(木綿、紬ノ類)及袴トス

第十五條 生徒ハ靴(ハイヒールヲ除ク)ヲ穿ツヘシ但校内ニ在リテハ上靴ヲ用フルモノトス

第十五條ノ二 生徒ハ所定ノ徽章ヲ佩用スヘシ其ノ位置ハ和服ニ在リテハ袴紐ノ左寄、洋服ニ在リテハ衣ノ左胸部下寄

トス

第十六條 體操ノ授業ヲ受クル際ニハ體操服ヲ着用スヘシ體操服ノ地質、制式等ハ別ニ之ヲ定ム

五 掲示

第十六條ノ二 本校ノ示達ハ所定ノ掲示場ニ就キ承知スヘシ

掲示後三日ヲ經クルモノハ一般ニ知了シタルモノト看做ス第十六條ノ三 掲示ヲナサムトスル者ハ生徒主事ノ檢印ヲ受クヘシ

第二章 寄宿舎生徒心得

一 外出、外泊及歸省

第十七條 已ムヲ得サル事情アリテ所定ノ時間外ニ外出セムトスル者ハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ生シ歸舎時限又ハ豫定時限ニ歸舎スルコト能ハサルトキハ直ニ其ノ事由ヲ申出テ生徒主事ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條 休日(式日ヲ除ク)ノ前夜自宅、近親者又ハ代孕保證人ノ宅ニ時々外泊ヲナサムトスルトキハ豫メ宿泊場所、戸主、職業及自己トノ續柄等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願ヒ

出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ但時々外泊八月二回以内ニ限ル
第二十條 已ムヲ得サル事情ニ由リ臨時外泊セムトスルトキ

ハ豫メ宿泊場所、宿主ノ氏名年齢、職業、自己トノ續柄及外泊ヲ要スル事情ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十一條 外出中俄ニ已ムヲ得サル事情ヲ生シ豫メ前條ノ手續ヲ履ムコト能ハサルトキハ直ニ其ノ手續ヲ履ミ生徒主事ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十二條 父母其ノ他近親ノ病氣ヲ看護シ又ハ喪ニ服セムカタメ外泊又ハ歸郷セムトスルトキハ豫定期間及事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ歸校延期ヲ要スル場合亦同シ

前項本文ノ場合ニ於テ事急ヲ要スルトキハ一時電報又ハ書面ヲ以テ保證人ノ連署ニ代フルコトヲ得

第二十三條 春季、夏季及冬季休業中ノ進退ニ就テハ左ノ各號ニ依ル

一 歸郷セムトスルトキハ歸郷先及期間ヲ具シ届出ツヘシ

二 歸郷ノ途次宿泊又ハ旅行セムトスルトキハ豫メ宿泊場所、月日又ハ期間、宿主ノ氏名、年齢、職業、自己トノ續柄及宿泊又ハ旅行ヲ要スル事情等ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

三 休業中歸郷セシテ近親者、代理保證人等ノ宅ニ宿泊シ又ハ旅行セムトスルトキハ前號ニ準ス

細則

四 歸郷先又ハ宿泊先ニ到着シタルトキハ直ニ保證人又ハ宿主ヨリ生徒主事宛安着届ヲ差出スヘシ

五 特別ノ事由アリテ夏季休業中歸郷ヲ延期セムトスルトキハ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出テ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

六 歸校ノ際ハ保證人ヨリノ歸校届ヲ持參スヘシ

七 歸校ノ途次宿泊又ハ旅行シタルトキハ保證人ヨリノ宿泊届又ハ旅行届及宿主ヨリノ歸校届ヲ持參スヘシ

八 歸郷、宿泊又ハ旅行シタル者始業ノ前日迄ニ歸校スル能ハサルトキハ豫メ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ届出ツヘシ

二 郵便物

第二十四條 寄宿舎ニ到着セル信書ハ來信函ニ挿入シ置クヘキニ付各自ニ於テ便宜之ヲ受領スヘシ但書留ノモノハ其ノ都度掲示板ニ掲示スヘキニ付當直教官ニ就キ之ヲ受領スヘシ

第二十五條 郵便爲替ヲ以テ送金ヲ受ケムトスルトキハ拂渡郵便局(大塚郵便局又ハ小石川郵便局)及受取人ヲ指定シテ送付スヘキヤウ豫メ學費支出者ニ通知シ置クヘシ

第二十六條 前條ノ郵便局ニ就キ爲替金ヲ受領セムトスルトキハ爲替證書ニ生徒主事ノ證印ヲ受クヘシ

第二十七條 外來者トノ面會ハ應接室ニ於テナスヘシ
面會時間ハ放課後ヨリ午後六時三十分トス

四 疾病

第二十八條 疾病ニ罹リタルトキハ直ニ生徒主事ニ申出ツヘシ但當該室總代ニ於テ代理スルコトヲ得

第二十九條 疾病ニ罹リタルトキハ所定時間ニ於テ校醫ノ診察ヲ受クヘシ但不時發病セルトキハ所定時間外ト雖當直教官ヲ經テ其ノ來診ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 校醫ニ於テ必要ト認ムルトキハ患者ヲシテ休養室ニ於テ療養セシム

休養室ニ入りタル患者ハ療養ニ關シ校醫ノ指揮ニ從フヘシ

第三十一條 校外ノ診療ヲ受ケムトスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第三章 通學生徒心得

一 宿 所

第三十二條 通學生徒ハ每學年ノ始ニ於テ所定ノ用紙ニ宿所ニ關スル事項ヲ記入シ生徒課ニ差出スヘシ

第三十三條 通學生徒宿所ヲ變更シタルトキハ三日以内ニ更ニ前條ノ手續ヲナスヘシ

第三十四條 通學生徒ノ宿所ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシム

變更セシム

第三十五條 通學生徒入舍セムトスルトキハ入舍ヲ要スルニ至レル事情ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ

二 歸郷及旅行

第三十六條 通學生徒課業ヲ缺キテ歸郷又ハ旅行セムトスルトキハ豫定期間及事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ歸京延期ヲ要スル場合亦同シ

第三十七條 通學生徒春季、夏季及冬季休業中歸郷又ハ旅行セムトスルトキハ保證人又ハ代理保證人ノ連署ヲ以テ願ヒ出ツヘシ

三 郵便物

第三十八條 本校ニ到達セル信書ハ來信函ニ挿入シ置クヘキニ付各自ニ於テ便宜之ヲ受領スヘシ但書留ノモノハ其ノ都度揭示板ニ揭示スヘキニ付生徒課ニ就キ之ヲ受領スヘシ

四 傳染病

第三十九條 通學生徒ニシテ左ノ各號ノ傳染病ニ罹リタル者ハ速ニ届出テ治療スルニ至ル迄昇校ヲ差控フヘシ治療シタル後昇校セムトスルトキハ醫師ノ全治證明書ヲ差出スヘシ
一 痘瘡、實布埜利亞、猩紅熱、發疹瘰癧、ペスト、赤痢、虎列刺、腸瘻扶斯、バラチフス、流行性腦脊髄膜炎
二 百日咳、麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、風疹、水痘

第四十條 通學生徒ニシテ左ノ各號ノ傳染病ニ罹リタル者ハ昇校ヲ差控フヘシ但第一號中ノ肺、喉頭以外ノ結核又ハ第二號ノ傳染病ニ罹レル者ニシテ醫師ニ於テ適當ト認ムル豫防處置ヲナシタル者又ハ病況ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ハ該醫師ノ證明書ヲ差出シタル上昇校スルコトヲ得

一 肺、喉頭其ノ他ノ機關ノ開放結核、癩

二 トラホーム其ノ他ノ傳染性眼炎、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚病

第四十一條 通學生徒ニシテ第四十條ニ掲ケル傳染病患者アル家ニ居住スル者又ハ該病ニ感染ノ疑アル者ハ昇校ヲ差控フヘシ但醫師ニ於テ豫防處置施行ノ情況及其ノ他ノ事情ニ依リ傳染ノ虞ナシト認メタル者ハ該醫師ノ證明書ヲ差出シタル上昇校スルコトヲ得

第四十二條 校長ニ具申スヘシ

第三條 教官ハ每學期末ニ於テ前條ノ教授要目ニ基キ其ノ學期間ニ於ケル教授ノ進程ヲ記載シ學科目主任及學科主任ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第四條 教官ハ教授調育其ノ他ノ事項ニ就キ意見アルトキハ之ヲ學校長ニ具申スヘシ

第五條 報酬ヲ受ケテ他ノ職務ニ従事セムトスル者ハ官吏ニ在リテハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受ケ囑託員ニ在リテハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但本務ノ他ニ在ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 第八條乃至第二十二條ノ規程ハ之ヲ教官ノ服務ニ適用ス

第七條 書記及職員ハ學校長及幹事ノ指揮ヲ受ケ分課ノ事務ニ従事スヘシ

職員ハ前項ノ外特別教室ニ勤務セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ當該教官ノ指揮ヲ受ケテ勤務スヘシ

第八條 事務繁劇ナルトキ至急處理ヲ要スルモノアルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖執務スヘシ

第九條 疾病其ノ他ノ事故ニ由リ遲刻又ハ缺勤セムトスルトキハ當日執務時限前ニ事由ヲ具シ届出ツヘシ

四 職員服務規程

第一章 教官ノ服務

第一條 教官ハ其ノ擔任スル範圍内ニ於テ生徒教育ノ責ニ任ス

第二條 教官ハ每學年末ニ於テ其ノ擔任スル學科目ニ就キ次學年度ノ教授要目ヲ調製シ學科目主任及學科主任ヲ經テ學

細 則

疾病ニ由リ出勤スルコト一週日ニ至ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出テ爾後二週日ニ至ル毎ニ同様届出ツヘシ

第十條 職務時間中發病等ノタメ退出セムトスルトキハ上官ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 女子ノ職員ハ分娩豫定日前二週日以内分娩後六週日以内休養スルコトヲ得

前項分娩豫定日ハ醫師ノ診斷書ニ依ル但特別ノ事情アル場合ニ在リテハ産婆ノ證明書ヲ以テ醫師ノ診斷書ニ代フルコトヲ得

第十二條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ要スル者ハ前日中ニ届出ツヘシ

第十三條 親族ノ喪ニ丁リ服忌ヲ受クルトキハ其ノ親族關係ヲ記シ届出ツヘシ

第十四條 病氣療養、父母ノ看病又ハ墓參ノタメ請假セムルトキハ日限及行先地ノ宿所ヲ具シ願出ツヘシ延期ヲ要スルトキハ其ノ事由ヲ具シ願出ツヘシ

第十五條 陸軍召集令又ハ海軍召集令ニ依リ召集又ハ簡閱點呼ニ應スルトキハ日限及應召地部隊名又ハ艦艇名ヲ具シ届出ツヘシ

第十六條 賜暇中旅行セムトスルトキハ日限及旅行先地ヲ具シ届出ツヘシ

第十七條 出張ノ命ヲ受ケタル者ハ出發及歸校ノ際其ノ旨ヲ届出テ且歸校後一週日以内ニ復命書ヲ差出スヘシ但簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第十八條 新任者ハ五日以内ニ住所届及履歷書ヲ差出スヘシ

第十九條 住所ヲ移轉シ又ハ氏名族籍ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

第二十條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツヘシ

第二十一條 轉任、免官、休職等ノ際又ハ分掌事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ

第二十二條 非常事故アルトキハ速ニ登校シ上官ノ指揮ヲ受ケヘシ事急ヲ要スルトキハ當直者及登校者ニ於テ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第二十三條 學校醫ハ學校長及生徒課幹事ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル事務ニ従事ス

第二十四條 學校醫ハ毎月二回以上出校シ全校ニ亙リ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ

第二十五條 學校醫ハ日曜日及土曜日ヲ除キ毎日定時寄宿舎醫局ニ出頭シ疾病ニ罹レル生徒アラハ診療スヘシ

第二十六條 學校醫ハ學生、生徒、兒童身體検査規定ニ依リ生徒ノ身體ヲ検査シ、身體検査票ヲ調製スヘシ

第二十七條 學校醫ハ本校及本校附屬校園ニ入學ヲ志望スル者ノ身體ヲ検査シ其ノ結果ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二十八條 學校醫ハ第二十四條及第二十五條ノ場合ノ外學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭職務スヘシ

第二十九條 學校醫ハ學校内、學校所在地及其ノ近傍ニ傳染病ノ發生シタルトキハ其ノ情況ニ依リ十分ナル清潔方法ヲ施行シ全校若ハ其ノ一部ノ閉鎖ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ學校長ニ申告スヘシ

第三十條 學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニ就キ學校長ニ申告スヘシ

第三十一條 學校醫ハ其ノ職務ノ狀況及調査又ハ申告シタル事項等ニ就キ其ノ大要ヲ記載シ其ノ都度之ヲ學校長ニ提出スヘシ

第四章 當直ノ服務

第三十二條 當直勤務ハ事務當直及寄宿舎當直トス

第三十三條 男子ノ書記又分課事務ニ従事スル男子ノ雇員ハ輪番ヲ以テ事務當直ニ服スヘシ但丁年未滿ノ者ハ此ノ限ニ在ラス生徒課勤務ノ女子教官ハ輪番ヲ以テ寄宿舎當直ニ服スヘシ但學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタル者ハ此ノ

限ニ在ラス

第三十四條 當直時間ハ平日ニ在リテハ職務時間ノ終ヨリ翌日ノ職務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限迄トシ休日ニ在リテハ職務時間ノ始ニ相當スル時限ヨリ翌日ノ職務時間ノ始又ハ之ニ相當スル時限迄トス

第三十五條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ當直ヲ免ス

一 出張中、出張ノ前日、出張先ヨリ歸校ノ翌日

二 賜暇中

三 忌引中

四 疾病其ノ他ノ事故ニ依ル缺勤中

五 新任者着任ノ日ヨリ七日間

六 以上ノ外學校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ

第三十六條 事務當直者ノ任務ハ概ネ左ノ如シ

一 校舎各室ノ鎖鑰ヲ管守スルコト

二 校舎内外ノ取締ヲナスコト

三 接受シタル物件ヲ處理スルコト

四 火災ノ虞アル場所及備品ニ對シテ注意スルコト

第三十七條 寄宿舎當直ハ寄宿舎ノ管理及取締ニ任シ舎内一切ノ事務ヲ處理スヘシ

第三十八條 當直者ハ勤務中學校又ハ寄宿舎ヲ離ルルコトヲ

得ス

第三十九條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ五ニ助力ヲ求ムルコトヲ得

第四十條 當直中非常事故アルトキハ直ニ學校長及庶務課幹事ニ報告シ事急ナルトキハ臨機ノ處置ヲ爲スヘシ

第四十一條 當直ノ服務ニ關スル細目ハ事務當直ニ在リテハ庶務課幹事、寄宿舎當直ニ在リテハ生徒課幹事之ヲ定ムヘシ

附則

第四十二條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

五 校務分掌規程

第一章 教育事務

第一條 教授ニ關スル事務ハ各教官之ヲ分擔ス

第二條 訓育ニ關スル事務ハ全教官之ヲ擔任シ生徒主事之ヲ主掌ス

生徒主事ハ其ノ事務ヲ寄宿舎生徒ニ關スル事項ト通學生徒ニ關スル事項トニ分チ之ヲ分擔スルコトヲ得

第三條 教育事務整理ノ責ニ任セシムカタメ學科科主任、學級主任及學科主任ヲ置ク

九二

第四條 學科主任主任ハ學科目毎ニ各一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス

一 教授ノ連絡統一ニ關スルコト

二 教授ノ分擔ニ關スルコト

三 教授要目及教授進程報告ノ整理ニ關スルコト

四 教科用圖書ノ豫選ニ關スルコト

五 教授上必要ナル參考用圖書、器具、機械標本、藥品等ノ調査ニ關スルコト

第六條 其ノ他當該學科ニ關スル事項

第五條 學級主任ハ學級毎ニ各一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス

一 生徒ノ統率及風紀ニ關スルコト

二 生徒ノ性行、學業及健康ニ關スルコト

三 校規命令ノ實行ニ關スルコト

四 生徒當番ニ關スルコト

第六條 其ノ他當該學級ニ關スル事項

學科主任主任ハ文科、理科、家事科、體育科毎ニ各一人トシ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス

學科主任主任ハ當該學科ニ就キ學科科主任及學級主任ノ擔任ス

ル事務並ニ卒業生ニ關スル事項ヲ掌理ス

學科主任主任ハ其ノ掌理スル事務ニ關シ關係教官ノ協議會ヲ開クコトヲ得

第七條 保育實習科ハ主任ノ關係ニ於テ之ヲ學級ト看做ス

第二章 分課事務

第八條 本校ニ庶務課、教務課、圖書課、生徒課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第九條 各課ニ幹事ヲ置キ所屬職員ヲ率キ分掌事務整理ノ責ニ任セシム

幹事ハ職員中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第十條 各課所屬ノ職員ハ幹事ノ指揮ヲ受ケ事務ニ従事ス

第十一條 庶務課ニ庶務掛及會計掛ヲ置ク

庶務掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 御眞影、勅語及令旨ノ保管ニ關スルコト
- 二 學校長ノ官印及校印ノ監守ニ關スルコト
- 三 校旗ノ保管ニ關スルコト
- 四 職員ノ進退及身分ニ關スルコト
- 五 職員ノ服務ニ關スルコト
- 六 公文書ノ處理ニ關スルコト
- 七 統計、報告、一覽等ニ關スルコト
- 八 校報ニ關スルコト

細則

九 諸規則ノ制定改廢ニ關スルコト

一〇 日誌及諸記録ニ關スルコト

一一 儀式ニ關スルコト

一二 評議員會ニ關スルコト

一三 寄贈ノ金品等ニ關スルコト

一四 本校ノ當直ニ關スルコト

一五 教員免許狀ニ關スルコト

一六 面會人ノ取扱ニ關スルコト

一七 乘車船割引證交付ニ關スルコト

一八 他ノ課掛ニ屬セサル一切ノコト

會計掛ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 歳入歳出豫算及決算ニ關スルコト
- 二 資金ニ關スルコト
- 三 金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
- 四 物品ノ購入及不用品處分ニ關スルコト
- 五 圖書以外ノ物品ノ出納及保管ニ關スルコト
- 六 土地建物ニ關スルコト
- 七 道路庭園ニ關スルコト
- 八 營繕ニ關スルコト
- 九 電話、電燈、瓦斯、給水、及燈房ニ關スルコト
- 一〇 備入ノ進退及取締ニ關スルコト

九三

- 二 警備取締ニ關スルコト
 - 三 洒掃ニ關スルコト
 - 三 其ノ他會計ニ關スル一切ノコト
- 第十二條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 學科課程ニ關スルコト
 - 二 教授要目及教授進程報告ニ關スルコト
 - 三 教科用圖書ニ關スルコト
 - 四 教官ノ分擔及日課ノ配當ニ關スルコト
 - 五 授業及休業ニ關スルコト
 - 六 生徒ノ募集及入學ニ關スルコト
 - 七 選拔試験ニ關スルコト
 - 八 成績考査、進級及卒業ニ關スルコト
 - 九 成績證明ニ關スルコト
 - 一〇 教授上ノ設備ニ關スルコト
 - 一一 教官會議ニ關スルコト
 - 一二 修學旅行ニ關スルコト
 - 一三 卒業生ニ關スルコト
 - 一四 參觀人ノ取扱ニ關スルコト
 - 一五 教室、教官室ニ關スルコト
 - 一六 其ノ他教務ニ關スル一切ノコト

- 一 圖書ノ出納保存及整理ニ關スルコト
 - 二 圖書印ノ監守ニ關スルコト
 - 三 圖書ノ貸付閱覽ニ關スルコト
 - 四 圖書目錄編纂ニ關スルコト
 - 五 書庫閱覽室ニ關スルコト
 - 六 其ノ他圖書ニ關スル一切ノコト
- 第十四條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 生徒ノ取締ニ關スルコト
 - 二 生徒ノ訓誨及賞罰ニ關スルコト
 - 三 生徒ノ當番ニ關スルコト
 - 四 生徒ノ學籍ニ關スルコト
 - 五 誓書、保證書ノ整理、保管ニ關スルコト
 - 六 生徒ノ出席等ニ關スルコト
 - 七 退學、休學其ノ他生徒ノ事故ニ關スルコト
 - 八 在學及品行證明ニ關スルコト
 - 九 家庭及保證人トノ連絡ニ關スルコト
 - 一〇 生徒ノ願、伺、届ニ關スルコト
 - 一一 生徒ノ郵便物ニ關スルコト
 - 一二 生徒ノ集會ニ關スルコト
 - 一三 運動競技ニ關スルコト
 - 一四 學校衛生ニ關スルコト

- 一五 身體検査ニ關スルコト
- 一六 寄宿舎ノ清潔整頓ニ關スルコト
- 一七 寄宿舎ノ警備取締ニ關スルコト
- 一八 寄宿舎ノ當直ニ關スルコト
- 一九 入舎、退舎、外泊、旅行其ノ他寄宿舎生徒ノ異動ニ關スルコト
- 二〇 寄宿舎生徒ノ舎室配當ニ關スルコト
- 二一 寄宿舎ノ炊事監督ニ關スルコト
- 二二 寄宿舎生徒ノ舎費食費等ノ收支ニ關スルコト
- 二三 寄宿舎ノ傭人監督ニ關スルコト
- 二四 寄宿舎ニ於ケル面會人、參觀人ノ取扱ニ關スルコト
- 二五 特別入學生徒ニ關スルコト
- 二六 其ノ他生徒ノ訓育及寄宿舎ニ關スル一切ノ事項
- 二七 其ノ課ノ分掌事務ニシテ他ノ課ニ關聯スルモノハ合議スヘシ

- 第一條 東京女子高等師範學校圖書課ハ本校ノ圖書ヲ收藏シ職員及生徒ノ閱覽參考ニ供スルヲ目的トス
- 第二條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク但時宜ニ依リ臨時之ヲ閉スルコトアルヘシ閱覽室ニ於ケル閱覽時限ハ別ニ之ヲ定ム
- 第三條 閱覽室ニ入り圖書ヲ借覽スルヲ得ル者左ノ如シ
 - 一 本校及附屬校職員
 - 二 本校生徒
 - 三 附屬高等女學校第五學年及專攻科生徒
 - 四 閱覽票ヲ所有スル者
- 第四條 左ニ掲クル者ニハ其ノ請求ニ依ル閱覽票ヲ交付ス
 - 一 本校卒業生
 - 二 附屬高等女學校卒業生
 - 三 特ニ校長ノ許可ヲ得タル者
- 第五條 職員ハ掛員ノ承認ヲ得テ自ラ書庫及閱覽室ニ入り圖書ヲ檢索シ之ヲ借覽スルコトヲ得其ノ他ノ者ニ在リテハ圖書ヲ借覽セムトスル時ハ必ス掛員ニ申出テ其ノ貸出ヲ受クヘシ
- 第六條 圖書ヲ借覽セムトスル者ハ規定ノ用紙ニ書名及冊數年月日等ヲ記入シ署名ノ上掛員ニ差出シ貸出ヲ受クヘシ借覽ノ圖書ハ閱覽了ラハ直ニ返納スヘシ

六 圖書課規程

附則

第十七條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 借覽ノ圖書ハ閱覽室外ニ帶出ヲ許サス
 第八條 職員以外ノ者ニ在リテ同時ニ借覽シ得ヘキ圖書ハ一人ニ付十冊ヲ限トス
 第九條 圖書筆墨紙類ヲ除クノ外物品ヲ閱覽室内ニ携帶スヘカラス
 閱覽室ニ於テハ常ニ靜肅ヲ保チ喫煙、音讀、雜誌等他人ノ妨害トナルヘキ舉動ヲナスヘカラス
 第十條 各學科主任並ニ附屬校園主事ハ教授上及參考上必要ナル圖書ヲ借受シ之ヲ各教室若ハ各特別教室等ニ備付ケ其ノ學科目又ハ其ノ校園教官ノ共用ニ供スルコトヲ得各事務主任ハ事務上必要ナル圖書ヲ借受シ之ヲ各事務室ニ備付ケ其ノ掛員ノ共用ニ供スルコトヲ得
 前二項ニ依ル圖書ノ借受ニハ別ニ部數ノ制限ヲ設ケス圖書課備置ノ共用圖書貸出簿ニ書名、冊數、年月日等ヲ記入シ捺印ノ上其ノ貸出ヲ受クヘシ
 第十一條 教官ハ一人三十冊其ノ他ノ職員ハ一人十五冊ヲ限リ圖書ヲ借受スルコトヲ得
 第十二條 貴重ナル圖書及教官ノ請求ニ依リ圖書室ニ常備シ置クヲ要スル圖書ハ借受スルコトヲ得但特ニ校長ノ許可ヲ得タルモノハ一週間ヲ限リ借受スルコトヲ得
 第十三條 生徒ハ受持教官ノ指定ニ係ル教科用圖書ニ限り之

ヲ借受スルコトヲ得但本校夏季休業中一人十冊ヲ限リ特ニ一般圖書ノ借受ヲ許スコトアルヘシ
 第十四條 本校生徒ニシテ日曜日、祝祭日及閱覽室閉鎖後ニ圖書ヲ借受セムトスル者ニハ之ヲ貸出スルコトアルヘシ但同時ニ借受シ得ヘキ圖書ノ冊數ハ五冊ヲ限トス
 前項貸出時限ハ別ニ之ヲ定ム
 第十五條 本校生徒ニシテ教生タル者ハ其ノ期間教育實習上必要ナル圖書一人五冊五日ヲ限リ借受スルコトヲ得
 第十六條 新ニ購入シ又ハ寄贈ヲ受ケタル圖書ハ一ヶ月ヲ經ルニアラサレハ借受スルコトヲ得但本校又ハ附屬校園教官ノ共用ニ供スル爲購入シ又ハ寄贈ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス
 第十七條 圖書ヲ借受セムトスル者ハ圖書課ニ就キ規定ノ用紙ヲ受取り之ニ書名、冊數、年月日等ヲ記入シ署名捺印ノ上掛員ニ差出シ其ノ貸出ヲ受クヘシ
 第十八條 第十條ニ依リ備付ケタル共用圖書ハ借受者其ノ保存ニ任シ目錄ヲ調製シ其ノ借受借覽ニ關シテハ別ニ規則ヲ定ムルモノトス
 第十九條 凡テ借受ノ圖書ハ六月十二月指定ノ期日ニ於テ悉皆返納スヘシ但時宜ニ依リ臨時之ヲ返納セシムルコトアルヘシ

七 附屬學校幼稚園主事等職務規程

主事

指揮ヲ校長ニ承ケ校園ニ於ケル事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督シ教生ノ教育實習ヲ指導シ生徒、兒童、幼兒ノ教育ヲ擔任ス
 上所屬職員ヲシテ事務ヲ代理セシムルコトヲ得
 左ノ諸件ハ主事ニ於テ適宜處分スルコトヲ得但一、二、三ニ就テハ處分後報告スヘシ
 一 附屬校園ノ事務ヲ處理シ教育ノ方法ヲ改良セム爲細則ヲ設クルコト
 二 所屬職員ニ分擔ヲ命スルコト
 三 生徒兒童ノ及第落第ヲ判定スルコト
 四 參觀ヲ許否スルコト
 五 通常ノ事項ニ關シ生徒兒童幼兒ノ保護者若ハ其ノ代理者ヲ呼出シ又ハ之ト文書ヲ往復スルコト

事務掛

指揮ヲ主事ニ承ケ附屬校園内ノ整理、器具標本簿冊ノ整頓物品ノ受渡圖書ノ保管、外來人ノ應接、文書報告、校園印章ノ保管等ノ事ヲ掌ル

第十條ニ屬スル圖書ハ其ノ所屬部局ニ付テ之ヲ調査スルモノトス
 第二十條 凡テ借受ノ圖書ハ之ヲ他人ニ轉貸スルヲ許サス
 第二十一條 借受借覽ノ圖書ヲ汚染毀損シ又ハ紛失シタルトキハ之ヲ償還若ハ修理セシムルコトアルヘシ

附則

東京女子臨時教員養成所職員及生徒ハ本規程ニ依リ本校職員及生徒ニ準シテ圖書借受及借覽ヲナスコトヲ得
 (參考) 圖書閱覽票様式

表

第 號	自昭和 年 月 日	校 印
有效期間(至昭和 年 月 日)		
圖書 閱覽 票		
(閱覽票ヲ得ヘキ資格)	何 某	
職業	住 所	

表

一 此ノ票ヲ交附セラレタル者ハ凡テ圖書閱覽ニ關スル規則ヲ遵守スヘシ
一 圖書ヲ閱覽セムトスルトキハ此ノ票ヲ掛員ニ示スヘシ
一 此ノ票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス又遺失シタルトキハ速ニ届出ツヘシ
一 此ノ票ハ有效期間ヲ過キタルトキハ速ニ返納スヘシ

規 則

八 會議規程

- 第一條 會議ヲ分テ評議員會及教官會トス
- 第二條 評議員會ハ學校長ノ諮問ニ應ジ校務ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス
- 第三條 評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス評議員ハ左ノ職員ニ就キ學校長之ヲ命ス
 - 一 各課幹事及寄宿舎主任生徒主事及附屬學校幼稚園主事
 - 二 教授、生徒主事ヲ本官トスル者ノ五選シタル者若干名
 必要アルトキハ臨時評議員外ノ職員ヲシテ會議ニ加ハラシムルコトアルヘシ
- 第四條 前條第二項第二號ニ依ル評議員ノ任期ハ當該學年間トス
- 第五條 教官會ハ學校長ノ諮問ニ應ジ學科課程、成績考査其ノ他學校長ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ審議ス
- 第六條 教官會ハ左ノ五種トシ當該教官ヲ以テ之ヲ組織ス
 - 一 學科主任會
 - 二 學科目主任會
 - 三 學級主任會
 - 四 教授會
 - 五 教官總會

- 前項第一號乃至第四號ノ各教官會ニ於テ必要アルトキハ當該教官外ノ教官ヲシテ會議ニ加ハラシムルコトアルヘシ
- 第七條 評議員及各教官會ノ當該教官ハ其ノ會議ニ附議スヘキ議案ヲ提出スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ三名以上ノ贊成ヲ得會議ノ三日以前ニ於テ學校長ニ提出スルヲ要ス
- 第八條 評議員會及教官會ノ議長ハ學校長之ニ當ル
- 第九條 評議員會及教官會ニ理事ヲ置ク
 - 評議員會理事ハ庶務課幹事、教官會理事ハ教務課幹事之ニ當リ學校長ノ指揮ヲ受ケ其ノ會ノ庶務ヲ處理ス
- 第十條 評議員會及教官會ニ書記ヲ置ク
 - 評議員會書記ハ庶務課庶務掛主任書記、教官會書記ハ教務課主任書記之ニ當リ上司ノ指揮ヲ受ケ其ノ會ノ庶務ニ從事ス

附則

第十一條 本規程ハ昭和二年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

九 文書處理規程

- 第一條 公文書ハ附屬校園ニ於テ直接處理スルモノ及本規程
- 第四條ニ依ルモノノ外庶務課庶務掛ニ於テ收受シ左ノ各號ニ依リ取扱フヘシ

- 一 親展文書ハ月日、受信名及發信名ヲ親展文書送付簿ニ登記シ封緘ノ儘之ヲ宛名ニ配付スヘシ
- 二 前號外ノ文書ハ之ヲ開封ノ文書收受簿ニ登記シ其ノ件名番號及年月日ヲ記入シタル後直ニ主掌分課掛ニ配付シ其ノ證印ヲ徵スヘシ
- 三 二分課掛以上ノ關聯スル文書ハ關係ノ重キニ從ヒ之ヲ配付スヘシ
- 第二條 親展文書ノ回付ヲ受ケタルトキハ前條第二號ニ準シ之ヲ取扱フヘシ
- 第三條 配付ヲ受ケタル文書ニシテ他ノ分課掛ノ主掌ニ屬スルモノアルトキハ之ヲ庶務課庶務掛ニ還付スヘシ
- 第四條 左ノ文書ハ庶務課庶務掛ヲ經由セス主掌分課掛ニ於テ直ニ接受スヘシ
 - 一 教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類
 - 二 生徒ヨリ差出ス願届書類
 - 三 入學志願者及入學候補者ニ關スル書類
 - 四 其ノ他學校長ノ指定シタル書類
- 第五條 配付ヲ受ケ又ハ接受シタル文書ハ速ニ之ヲ調査シ處分案ヲ提出スヘシ
 - 事件ノ種類ニ依リ直ニ處分案ヲ提出スル能ハス又ハ處分ヲ要セスト認ムルトキハ學校長ニ供關シ指揮ヲ受クヘシ

細則

- 第六條 處分案ニシテ他ノ分課掛ニ關係アルモノハ合議スヘシ
- 第七條 決裁済ノ文書ハ主掌分課掛ニ於テ決裁年月日ヲ記入シ速ニ處理ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第八條 發送ヲ要スル文書ハ庶務課庶務掛ニ回付スヘシ執務時間外ニ發送ヲ要スル文書アルトキハ事務當直ニ回付スヘシ
- 第九條 庶務課庶務掛ニ於テハ發送文書及原議ニ番號ヲ付シ文書發送簿ニ登記シ原議ハ之ヲ主掌分課掛ニ還付スヘシ
- 第十條 庶務課庶務掛又ハ事務當直ニ於テ直接文書ヲ發送スルトキハ月日、受信名、發信名及番號ヲ文書送付簿ニ記載シ送達ノ上送先ノ證印ヲ徵スヘシ
- 第十一條 庶務課庶務掛又ハ事務當直ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ月日、受信名、發信名及料金ヲ郵便切手受拂簿ニ登記シ取扱者檢印スヘシ
- 第十二條 學校長ノ官印又ハ校印ヲ使用セムトスルトキハ監守者ノ承認ヲ受クヘシ
- 第十三條 事件ノ完結シタル文書ハ主掌分課掛ニ於テ編纂保存スヘシ
- 第十四條 文書ハ之ヲ分類シ左ノ各號ニ依リ編纂スヘシ
 - 一 事件ノ完結シタル順序ニ依リ曆年別(會計ニ關スルモ

ノハ會計年度別ニ綴込ムヘシ但紙數ノ多寡ニ應シ便宜

一年分ヲ分綴シ又ハ數年分ヲ合綴スルコトヲ得

二 保存期限十年以上ノモノハ卷首ニ目錄ヲ附シ件名及丁數ヲ掲記スヘシ

三 圖書其ノ他合綴シ難キモノハ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ保存スヘシ

第十五條 文書ノ保存期間ハ之ヲ無期、十年、五年及一年ノ四種ニ分ツ

第十六條 無期保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

御眞影拜戴、勅語謄本下附及御下賜品等ニ關スル書類 行啓ニ關スル書類 訓令、告示、告諭及通牒書類 職員進退及叙位叙勳等ニ關スル書類 職員履歷書 儀式ニ關スル書類 規則細則ノ制定改廢ニ關スル書類 卒業證書原簿 教員免許狀ニ關スル書類 命令簿 學校一覽 校報 諸統計並報告書類 寄付ニ關スル書類 文書收受簿 文書發送簿 官廳往復重要書類 歳入徵收簿 支出簿 支出内課簿 經費推算簿 支拂元受高差引簿 概算整理簿 現金出納簿 保證金出納簿 資金ニ關スル重要書類 科學研究獎勵費ニ關スル書類 歳入歳出概算書 物品出納計算書 收入金現出納計算書 委任經理現金出納計算書 歳入歳出外現金 出納計算書 會計檢査院審理答辯書寫 常備員命令簿 學業成績簿 成績調査表 入學者寫眞 入學者及特別入學者關係書類 評議員會及教官會記錄 學期別課程表 研究科生徒研究報告書 生徒學

籍簿 生徒處分ニ關スル書類 休退學何簿 寄宿舎重要書類

第十七條 十年保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

文部省在外研究員關係書類 職員勤務調査表 職員出張復命書類 職員本務以外應酬書類 會計關係計算報告書類 歳入歳出豫算施行ニ關スル書類 競争入札ニ關スル書類 郵便切手受拂簿 消耗品受拂簿 俸給支出原簿 備人給料支出原簿 諸契約書 見積書 歳入徵收報告簿 物品請求書類 高等師範學校等ニ關スル訓 入學者選拔試驗關係書類 教科書選定表 教授要目 教授進程報告 日課表 試驗問題 入學者選拔試驗問題 選修科目選擇屆 見學旅行關係書類 生徒身體檢査統計表 生徒誓書及保證書 生徒ノ思想性行ニ關スル書類 生徒學資金關係書類

第十八條 五年保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

宿直日誌 文書送付簿 職員願何屆書類 職員生徒身分證明原簿 乘車船賃引證交付原簿 通知何簿 揭示何簿 支拂豫算科目流用何簿 經費推算簿 經費分割簿 豫算分割何簿 常備員出勤簿 小切手支拂番號原簿 俸給其ノ他交付簿 臨時備上人夫出面帳 入學者類者名簿 入學者選拔試驗成績表 入學願書(入學者ノ分) 入學者選拔試驗答案 講習會關係書類 成績證明書類 評點科目割合表 教官受持時數調 卒業生配當ニ關スル書類 教官配當ニ關スル書類 教官生徒圖書借覽書類 生徒戶籍謄本 生徒履歷書 生徒勤惰報告 生徒出席簿 生徒宿所屆 入舎及退舎ニ關スル書類 生徒並保證人印鑑簿 保證人變更屆 寄宿舎役員任

命認可關係書類 在學證明書交付簿 集合願經通學願ニ關スル書類 生徒ノ外出、外泊、歸省ニ關スル書類

第十九條 一年保存ニ屬スヘキ文書ハ凡ソ左ノ如シ

書留郵便受簿 常備員願屆書類 入學願書及寫眞(不合格者ノ分) 入學出願書類(不合格者ノ分) 參觀人ニ關スル書類 生徒書留郵便物受渡簿 生徒缺席屆

第二十條 文書ノ保存期間ハ事件ノ完結シタル翌年ヨリ之ヲ

起算ス但會計ニ屬スルモノハ翌年會計年度ヨリ之ヲ起算ス

第二十一條 保存期間ノ經過シタル文書ハ之ヲ庶務課會計掛

ニ引繼クヘシ

庶務課會計掛ニ於テ前條ノ文書ヲ受繼キタルトキハ經伺ノ

上相當ノ措置ヲナスヘシ

十 物品會計規程細則

第一章 總 則

第一條 本校ニ屬スル物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並文

部省直轄各部物品會計規程ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘ

シ

第二條 物品ハ之ヲ分チテ備品消耗品ノ二種トス

第二章 保管及出納

細 則

第三條 物品ノ出納ハ總テ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏

之ヲ執行ス

第四條 各部局ニ於テ所要ノ物品ハ請求書ニ品目數量、需要

ノ事由ヲ記載シ會計掛ニ請求スヘシ但註文上圖案ヲ要スル

モノハ之ヲ添付スヘシ

第五條 會計掛ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキ其ノ物品ノ

在庫品ナルトキハ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ

交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ學校長ノ許可ヲ受ケ購入ノ

上支給ノ手續ヲナスヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ一箇年ノ所要ヲ豫定シ學校長ノ許

可ヲ得テ一回若ハ數回ニ取纏メ會計掛ニ於テ購入ノ手續ヲ

ナスヘシ

第七條 生産品又ハ寄贈品ニ係ル物品ハ會計掛ニ於テ其ノ品

目、數量及價格ヲ記シ藏置若ハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第八條 物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品ハ直ニ物品出納

簿ニ登記スヘシ

物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品ヲ支給セムトスルトキ

ハ備品ニ在リテハ現品ニ番號ヲ付シ備品支給簿ノ登記ヲ了

シタル後之ヲ交付スヘシ

圖書機械標本ハ各物品監守者ニ於テ各自一定ノ番號ヲ附記

スヘシ

第九條 物品ノ監守及取扱ニ關スル責ニ任セシムル爲各部局ニ物品監守者及物品取扱主任各一名ヲ置ク

第十條 物品監守者ハ備品監守簿ヲ、物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備ヘ物品ノ手給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ支給簿又ハ請求書ニ受領ノ印ヲ押シ授受ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 物品監守者若ハ物品取扱主任更迭シタルトキハ前任者後任者ニ於テ物品監守簿消耗品受拂簿ト現品トヲ對照シ其ノ引繼ヲ了シタル事由及年月日ヲ帳簿餘白ニ記入シ相互記名捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ了シタルトキハ前任者連署ノ上學校長ニ届出ツヘシ

第十二條 甲備品監守者ノ監守スル物品ニシテ不用ニ歸シタルモ乙備品監守者ニ於テ必要ナルモノアルトキハ甲乙監守者ヨリ其ノ旨物品會計官吏ニ通告シ現品ノ受渡ヲナスヘシ

第十三條 物品監守者ハ監守セル物品ニシテ自然毀損ニシタル爲修理ヲ要スルモノアルトキハ現品ヲ添ヘ會計掛ニ請求スヘシ

會計掛ハ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲナシ出來ノ上ハ物品監守者ニ交付スヘシ

第十四條 物品監守者ニ於テ自然毀損シ若ハ不用ニ屬シタル物品ハ直ニ之ヲ會計掛ニ返付シ監守簿ニ其ノ事由及年月日

ヲ記入シ物品會計官吏ノ受領ノ證印ヲ受クヘシ

第十五條 物品會計官吏ニ於テ前項物品ノ返付ヲ受ケ將來所要ノ目的ナシト認メタルモノハ其ノ處分案ヲ付シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十六條 物品會計官吏ハ毎年一回以上各物品監守者及物品取扱主任ノ物品ヲ査閱シ備品監守簿消耗品受拂簿ノ調査ヲナシ其ノ狀況ヲ學校長ニ申報スヘシ

第十七條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り學校長ニ申報スヘシ

第十八條 物品監守者ハ時々監守物品ヲ帳簿ト對照シ點檢スヘシ若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經由シテ學校長ニ申報スヘシ

第十九條 物品ヲ亡失シ或ハ毀損シタル者アルトキハ學校長ハ其ノ事實ヲ審査シ其ノ監督ヲ怠リ或ハ故意怠慢ニ出テタルモノト認ムルトキハ文部省直轄各部物品會計規程第十二條若ハ第十三條ニ依リ處分スヘシ

第三章 帳簿

第二十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 普通備品出納簿

一 圖書出納簿

一 機械標本類出納簿

一 普通備品支給簿

一 機械標本類支給簿

第二十一條 物品監守者ハ物品ノ監守、物品取扱主任ハ消耗品ノ受拂ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一 備品監守簿

一 消耗品受拂簿

一 郵便切手類受拂簿

第二十二條 諸帳簿等ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ(別紙様式略ス)

第二十七條 物品検査上在庫物品ニ付テハ物品會計官吏、監守及取扱物品ニ付テハ物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テ其ノ保管監守取扱ニ係ル現品及帳簿等ヲ取揃ヘ立會ノ上之カ検査ヲ受ケ檢閲委員ヨリ質問アリタルトキハ之ニ答辯スヘシ

第二十八條 物品檢閲委員檢閲ヲ終了シタルトキハ檢閲ノ顛末ヲ具シ意見ヲ付シテ學校長ニ申報スヘシ

十一 非常心得

第二十三條 學校長ハ毎年物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ學校職員中ヨリ任命シ物品ヲ檢閲セシム

第二十四條 物品檢閲ハ毎年時期ヲ定メ之ヲ行フ

第二十五條 物品檢閲ノ時日ハ檢閲委員長ヨリ豫メ物品會計官吏及物品監守者又ハ物品取扱主任ニ通知スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員ハ現在物品ト帳簿ト對照シ物品ノ保管、出納、使用消費ノ適否及物品缺損ノ有無等ニ關スル實況ヲ檢閲スヘシ

第一條 非常事變アルトキハ報鐘ヲ連打シテ之ヲ報ス

第二條 非常事變ノ節職員ハ晝夜ヲ論セス直ニ出校シ上官ノ指揮ニ從フヘシ

第三條 非常事變ノ節ノ立退場ハ運動場及正門附近トス

第四條 非常ヲ認知シタル者ハ直ニ報鐘ヲ連打スヘシ

第五條 報鐘ヲ聞キタルトキ或ハ非常ヲ認知シタルトキ生徒兒童幼兒ハ左ノ指揮ヲ受ケテ急速最近ノ立退場ニ整列スヘシ

一 寄宿舎ニ在リテハ生徒主事及寮總代、室總代若ハ其ノ代理者

二 教室内ニ在リテハ受持教員

第六條 生徒児童幼兒立退場ニ集リタルトキハ上官ノ指揮ヲ受ケテ進退スヘシ

第七條 大地震等ノ場合ニ在リテハ非常報鐘ノ有無ニ拘ラス教員、生徒主事、寮總代、室總代若ハ其ノ代理者ハ便宜速ニ立退カシムヘシ
但教員ノ指揮ヲ受クル暇ナキトキハ生徒ハ便宜ノ處置ヲ採ルヘシ

第八條 火災ノ節ハ最モ先ニ左ノ物品ノ持退ヲ終ヘテ他ノ物品ニ及フヘシ

- 一 庶務課庶務掛緊要書類
- 一 庶務課會計掛緊要書類
- 一 教務課緊要書類
- 一 圖書課緊要書類
- 一 生徒課緊要書類
- 一 寄宿舎緊要書類
- 一 警務課緊要書類

一 附屬學校幼稚園緊要書類

第九條 各部所管ノ緊要書類物品等ニハ常ニ非常持退品ノ文字ヲ標記シ置キ至急持退ニ便スヘシ

第十條 執務時間外ニ於テ火災アルトキハ宿直員ハ電話ヲ以テ直ニ校長ニ急報スヘシ

第十一條 火災ノ節職員ハ小使人足等ヲ指揮シテ消防ニ盡力スヘシ

第十二條 非常ノ節指揮者ハ校内便宜ノ場所ニ其ノ居ヲ定メ夜間ハ高張提灯ヲ掲ケテ目標トスヘシ

第十三條 庶務課庶務掛ハ諸官省學校又ハ其ノ他ヨリ駈付ヲ受ケタルトキ之カ應接ノ任ニ當ルヘキモノトス

第十四條 非常立退ノ方法ハ時々練習スヘシ

第十五條 附屬校園並ニ寄宿舎ニ於テハ非常心得ニ基キ更ニ實施ノ方法ヲ定ムヘシ

第七 獎 學 資 金

一 獎學寄附金管理規程

第一條 獎學寄附金ニシテ文部大臣ヨリ交付セラレタル現金ハ株式會社三井銀行當座預金トシ又有價證券ハ日本銀行ニ保管ヲ託スルモノトス但預入人ハ學校長ノ名義トス

第二條 獎學寄附金ノ銀行預金通帳及有價證券ノ日本銀行保管證書ハ當校備付ノ金櫃ニ藏置シ會計主任之ヲ保管ス

第三條 有價證券ノ利子ハ第一條ノ預金トス

第四條 預金ノ支出ヲ要スルトキハ當該銀行ヨリ預金ヲ引出シ現金ヲ以テ其ノ受取人ニ交付ス

二 獎 學 資 金

明治四十五年六月三日昭憲皇太后本校へ行啓アラセラレ職員生徒ニ金五百圓ヲ賜フ本校カ陛下ノ行啓ヲ辱ウシタルコト實ニ十一回ニシテ其ノ都度ニ於ケル御下賜ノ金品ハ職員生徒ノ協議ヲ經テ或ハ本校及附屬校園ニ分配シ有益ナル機械器具ニ

獎學資金

替ヘ又ハ校歌タル陛下ノ御詠ヲ謹寫セシメ之ヲ分チ戴キテ以テ永ク記念シ奉リタル事アリ故ニ今回亦一般ニ諮リ將ニ先例ニ倣ハントセシニ何ソ圖ラン其ノ年七月三十日明治天皇俄ニ御登退アラセラレ昭憲皇太后ノ本校行啓ハ其ノ時ヲ以テ最終ノ御事トナレルニ依リ前記御下賜金處理ノ方法ヲ更メ後之ヲ恩賜獎學資金トシテ永久ニ記念シ奉リ其ノ利子ヲ以テ獎學ノ資ニ充テムトシ其ノ手續ヲ了シタリ而シテ右ノ外有志ノ寄附ニ係ル獎學寄附金アリ

昭和十六年十二月末日現在高左ノ如シ
金一萬三千六百八十八圓五十五錢

内譯

- 金六百三十圓一錢 (五百圓) 恩賜獎學資金
- 金九百九十四圓二十二錢 (百圓) 黑田獎學寄附金
- 金九十七圓二錢 (五十圓) 山本獎學寄附金
- 金千八百八十二圓八十五錢 (有價證券額) 今村獎學寄附金
- 金二百四十五圓七十二錢 (同百圓) 第五回理科卒業生記念獎學寄附金

金二百七十圓九十八錢 杉本獎學寄附金
 金二千五百五十七圓九十錢 (同二千圓)
 金二千二百四十一圓三十六錢 杉村記念獎學寄附金
 開校五十年記念恩賜獎學資金
 金二千二百三十六圓三十七錢 (同千圓)
 喜多見獎學寄附金
 金三千二十三圓三十二錢 (有價證券額) 簡野獎學資金
 金三千八百八十錢 (有價證券額) 坂本獎學資金

二 本校生徒中品行方正ニシテ學業優等ノ者ニ學資ノ補給
 フ爲スコト
 第三條 前條第二號ニ依ル學資ノ補給ハ之ヲ一時ニ爲シ或ハ
 期間ヲ定メテ毎月之ヲ爲ス但期間ヲ定メテ學資ノ補給ヲ爲
 スモノニ對シ其ノ月十六日以後ニ於テ補給ノ命令ヲ發シク
 ル場合ハ其ノ月ニ限リ月額ノ半額トス
 第四條 毎月ノ學資補給ハ其ノ月二十三日(七月ニ在リテハ
 五日、休業日ナレハ繰下ク)ニ之ヲ爲ス但半途退學者、卒
 業者、死亡者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス
 第五條 學資ノ補給ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル
 場合ハ其ノ翌月ヨリ休學期間補給ヲ停止ス

三 獎學資金ニ關スル規程

第一條 經理委任ニ屬スル獎學資金ヨリ生スル利子ハ本規程
 ニ依リ使用スルモノトス但寄附者ヨリ用途ヲ指定シタルモ
 ノハ此ノ限ニ在ラス
 第二條 獎學資金ヨリ生スル利子ハ適宜左ノ各號ノ使途ニ充
 ツルモノトス
 一 本校及附屬校園ニ於テ運動其ノ他特ニ獎勵ヲ要スル事
 項ニ關スル施設ヲ爲スコト

第八 職員

(昭和十七年二月末調)

校長	下村 壽一	數學	岩間 綠
教授	乙部 孝八	家事	西野 木
國語	保井 孝三	體操	佐々木 秀
物理	倉橋 常三	歴史	由井 智
植物	佐伯 常三	動物	内藤 智
教育、保育	堀田 七藏	英語	久米 芳
理科、教育	菅原 七藏	漢文	津田 祐
化學	菅原 七藏	植物	大槻 祐
教育、家事	成田 七藏	化學	石井 祐
裁縫、教育	木村 七藏	國語	林 祐
英語	中澤 七藏	動物	菊池 祐
數學、教育	山崎 七藏	國語	山形 祐
法制及經濟	飯本 七藏	國語	金子 祐
地理	信之 七藏	音樂	小松 祐
		英語	會根 祐

107

修身 數學 體操 音樂 家事 歷史 裁縫 音樂 修身、教育 音樂 國藝 歷史 體操 英語 體操 化學 裁縫

助教授

石川 黒川 戸倉 平井 瀧井 瀧井 豊田 石田 木間 宅澤 倉田 奥田 豊田 大岩 高井 江崎 佐藤 林武 阿武 藤井 壽美 石田 延二 剛三 昇金 浩シ ねシ 巖子 武

講師

湯淺 年子 稻村 了イ 目次 了イ 及川 了イ 池田 了イ 堀田 了イ 保科 孝一 吉田 熊次 岡平 友ノ 松村 百代 上村 俊郎 松尾 正次 木田 謙藏 細田 健藏 市浦 謙藏 中村 文彦 藤田 良雄 有田 巖

授業擔當

運術醫學 生理及衛生 數學 食物及茶 養料理法 音樂 鑛物及地質 家事理科 弓道 音樂 生理及衛生 教育 教育 生理衛生 物理 國語 養老、育兒、看護

職務囑託

山内 禎一 齋藤 文男 萩原 兼四 中村 幸治 佐々木 林治郎 横田 ふみ 遠見 豊子 山岸 忠夫 近藤 耕藏 本多 利時 加古 三枝 若林 勤博 周郷 一博 大杉 謹一 吉田 信昇 田中 善夫 田中 善雄 莊田 安太郎 佐々木 哲丸

生徒主事

坊城 智藏 伊藤 富美 淺川 茂子 山田 春貞 米澤 壽季 島田 富美子 中村 喜美子 藤村 喜美子 山中 西貞子 山田 貞子 村田 貞子 望月 和子 園部 和子 山田 和子 高島 松二宏 藤野 宏

寄宿舎主任

文部省督學官

西野 みよし 前田 〇志 江本 ヨシ

寄宿舎勤務

生徒主事補

教授	中村	コシ
助教諭	石田	ツル
	久保	ツル
生徒主事	西野	ミヨシ
生徒主事	前田	ノシ
生徒主事	江本	ヨシ
生徒主事	中村	ヨシ
生徒主事補	石田	ツル
生徒主事補	久保	ツル
助教諭	小松	光枝
調導	中里	はま
調導	大橋	富貴
保母	古澤	静子
嘱託	中川	静子
履	星野	菊子
履	富坂	みよ子

評議員

教授	尾上	八郎
----	----	----

文科主任
理科主任
家事科主任
體育科主任
修身

學科目主任

教授	石川	謙
----	----	---

學科主任

教授	倉橋	惣三
教授	堀	七藏
教授	黒田	チカ
教授	中澤	伊與吉
教授	飯本	信之
教授	岩間	緑之
教授	西野	ミヨシ
教授	佐々木	智秀
教授	内藤	又三
教授	久米	芳雄
教授	津田	芳雄
教授	林	太郎
事務官	岡本	三郎

教育 國語 漢文 歴史 地理 英語 數學 物理 化學 植物 動物 家事 裁縫 圖畫 手藝 音樂 體操

學級主任

教授	倉橋	惣三
教授	尾上	八郎
教授	網藤	智次
教授	内藤	信之
教授	飯本	信之
教授	津田	芳雄
教授	岩間	緑之
教授	乙部	孝吉
教授	黒田	チカ
教授	保井	コノ
教授	久米	又三
教授	西野	ミヨシ
教授	成田	順三
教授	山形	寛代
講師	上村	百代
講師	小松	耕輔
教授	佐々木	耕輔

職員

教授	石川	謙
教授	網藤	智次
教授	飯本	信之

幹事

主任、勤務
勤務(兼)
勤務(兼)

庶務課

事務官	岡本	三郎
書記	細井	三郎
書記	野島	三郎
書記	橋田	弘久

庶務課庶務掛

教授	内藤	智秀
教授	大槻	虎男
教授	黒田	成勝
教授	保井	コノ
教授	黒田	チカ
教授	乙部	孝吉
教授	菊池	健三
教授	林	太郎
教授	瀧浦	太三
教授	成田	順三
教授	戸倉	ハル
教授	平井	美奈
教授	小松	耕輔
教授	佐々木	耕輔
教授	倉橋	惣三

地理 英語 裁縫、家事 修身、論理、教育 數學 家事 助教諭 國語 國語 家事 國語、修身 國語、公民科、教育 理科 數學 國語、歷史 體操 理科 家事、裁縫 裁縫、家事 理科、數學

調導	山本	小島	山崎	倉澤	木村	大岩	村重	菊池	阿部	木村	小牧	名和	柴山	高取	久保	清水	高橋	井合	木村
	七	七	清	秋			嘉	フ	廣	正	弘	秀	千鶴	靜	芳	光	キ	ヨ	
	イ	子	子	子	子	子	子	ノ	ノ	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子

英語 國語 國語 裁縫 歷史、地理 家事 國語 體操 理科、數學 體操 體操 手藝

授業擔當 講師

一二四	平山	中里	大橋	小松	井澤	香西	志村	古澤	永井	北原	川村	平野	神田	調導	市橋	保々喜	伊田	永田	黒田
	百合	はま	富貴	光	勝美	房美	房美	匡子	匡子	美子	美子	政次	つね		なみ	美子	良亮	寛次	郎
	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子		子	子	子	子	子

國語 理科 家事 心理、美學 法制 家事 歷史 理科 漢文 理科 漢文 修身 家事 經濟 歷史 修身 家事 手藝 家事

職員

教授	尾上	保井	倉橋	菅原	山崎	西野	內藤	久米	網米	菊池	金子	石川	瀧浦	豐田	岡本	高井	阿武	岡本	松平	上村	近藤
	八	コ	三	二	し	三	秀	三	次	三	郎	謙	だ	武	司	浩	美	三	友	百	耕
	郎	ノ	三	造	二	し	三	秀	三	郎	謙	三	郎	武	司	浩	美	三	友	百	耕

家事 家事 國語 修身 教育 事務室勤務 國民科、體操科 國民科、體操科 國民科 國民科 國民科、理數科 國民科、理數科

附屬國民學校 (擔任學級ハ略稱ニ依ル初ハ初等科) (高ハ高等科ヲ示シ數字ハ學年ヲ示ス)

訓導	山本	村重	寺朝	齋藤	第一初五擔任	第二初五、六擔任	第三初五擔任	國民科、理數科
主事	七	七	七	七				
教授	堀	堀	堀	堀				

一一五

市浦 中村 莊田 大杉 吉田 講師 市浦 中村 莊田 大杉 吉田 講師 市浦 中村 莊田 大杉 吉田 講師

宮原禮子	毛利子	大塚百葉	奧畑テル	及川美代子	金子サコ	川幡清子	倉若玲子	須藤政江子	高槻總子	秦田鶴子	日千和子	藤野常子	牧野サミ	松江フミ	松岡フミ	毛利英子	山内キク	山田公子	國語選修
和歌山	東京第三	大塚須賀	東京第五	東京第一	東京第四	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	文科第三學年
飯坂美子	今本ふみ	小川千枝	佐藤貞子	佐藤貞子	坂口博子	瀧澤ウツ	常光誠	中村光誠	本間光誠	若本節子	伊藤嘉子	池田嘉子	受井喜代子	菊池淑子	杉山和子	鈴木幸子	田中薫子	東京第一	國語選修
高岡	賞錢第一	東京第七	盛岡	盛岡	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	文科第三學年
中嶋文子	新津さき	古津さき	眞鍋久子	松本笑子	守内キミ	米倉志津子	太田信子	加納たみ	風見秋子	木村静枝	菅原けい	成賞キミ	廣瀬なるみ	藤崎豊子	山口智恵子	井上タミ	井上久子	東京第一	物理及化學選修
浦和	目黒	明石	廣島	愛知	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	東京第六	文科第三學年

古賀紀久江	佐藤繁子	壽原タミ	高橋和子	中川貞和	丹羽峰子	長谷川靖子	天野千鶴子	榎田淑子	辛石泰子	佐野初枝	櫻井ゆき	須藤ウタ	副島萬里子	館野文枝	阿部セツ	井上明子	伊藤つぎ	家事選修	家事科第四學年	
宮津	惠泉女學園	京城第一	盛岡	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	東京第一	家事科第四學年	
因幡久子	大泉テイ	吳坂聖子	小林ハル	小林ハル	佐々木芳野	白石芳野	鈴木貞子	竹中雪子	友井ゆり	友井ゆり	鳥山幸子	永倉節子	萩原重子	東原重子	廣川八重子	堀越幸子	松田みね	村本アキ	吉岡純子	
山城中	福島	京城	飯野	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	京城	
米倉ミサヲ	青柳萬里子	安藤京子	赤尾極子	井上敏子	池田キヲ	岩崎幸子	遠藤幸子	具塚富子	川地孝子	菊地孝子	上里孝子	血井孝子	中井孝子	長尾孝子	橋本孝子	福來孝子	前田孝子	増田孝子	松田孝子	宮原孝子
青山學院	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五	東京第五

丸田典子 見留子 道井子 水野子 八木子 吉岡子 吉岡子 渡邊子 阿部マサエ 秋野玲子 上田みどり 榎本千恵子 大屋千恵子 岡村菊乃 加藤清江 木原多恵子 菊池美子 酒井三四子 田中弘

理科第一學年
數學及物理選修

臺北第二 第一東京 富山 本校附屬 九島 和歌山 清水谷 熊谷 今治 今治 横須賀 本校附屬 新湯三條 東京第七 忍徳 愛知 廣島 岩手 横濱第一 金澤第一

高須美賀子 近藤和子 露木香子 西岡澄子 西岡澄子 深尾淳子 藤原彰子 藤原三子 星野芳子 御法泰子 水野治子 武藤慶子 山下二枝 赤岡歌子 生松照代 氏家良子 梅澤彌生 小田垣美代子 太田美奈子 加藤美智子 笠原ハマ

物理及化學選修

札幌第一 高知第一 東京第六 東京第二 高知第二 東洋 長岡 東京第五 實業 静岡 三輪 岡崎 札幌 鹿沼 札幌

木暮子 樹下子 杉村子 多田子 高橋子 竹前子 藤内子 堀内子 宮部子 八木子 矢野子 湯村子 内田子 加藤子 幾世子 柴山子 鈴木子 大戸子 高田子 中村子 中村文子

植物及動物選修

實踐 櫻原 榎島 本校附屬 大邱公立 立教 京都第一 本都附屬 東京第一 山陽 釜山公立 函館 靜岡 五所川原 福島 三輪 青森

中村眞佐子 橋本千恵子 坂崎安子 山崎光江子 吉村桃江子 頼尊昌子 有賀壽子 井浦ミサ子 池上洋子 岩村律子 大須賀八千代 菅本比佐 岸本睦子 駒田淑子 佐々木淑子 殘松チエ子 澁谷光子 進藤和子 鈴木喜久子 田代喜美子 高和智子 生

家事科第一學年(一ノ組)

浦和 京城第二 同 埼玉久喜 埼玉市立 神奈川女師 福 新津 櫻 埼玉 静岡 津山 直島 青島 山本 松戸 會津 太田 徒

陣内律子 東間將子 西村春子 長谷川代子 原島輝子 藤本貞子 藤本貞子 九井美子 南口敬子 山口敬子 井上宏子 伊藤文子 今井和子 泉重子 加納萬里子 菊池愛子 駒木よし子 近藤よし子 齋藤由子 澁澤みち子 下城文枝

家事科第一學年(二ノ組)

熊本第二 村上子 米見子 廣見子 實業 大阪女師 岡山女師 甲府 長野 旅順 長岡 瀬戸 札幌 十文字 東京第三 東京第八 水戸第二 愛知第一 千代田 上野 伊勢崎

杉木章子 鈴木良子 高橋妙子 辰口綾子 辻井十鈴子 中村千代子 延川みよ子 橋詰ふく子 深瀬米子 藤江恭子 船山京子 丸山京子 矢野中子 山田浄子 石川ハナ子 白井美代子 岡崎修子 金藤道子 金本南子 川延英子 河井英子

體育科第一學年

夕陽 三島 宮城第三 本校附屬 第一神戶 長野 小島 川崎 臺北第一 福島女師 長野 宮城第一 東京第一 東京第三 神奈川女師 東京第一 金澤第二 柏崎 平塚 富田林

小島良子	高松山	井原貞美	本校 附屬
齊藤ハル	群山公立	石原貞子	山口 光子
柴田美子	沖繩第一	今井幹子	山口 光子
菅又光子	宇都宮第二	上澤多惠子	山口 光子
杉田幸子	調布	大島たき子	山口 光子
田村京子	神戶野田	太田峰子	山口 光子
塚本泉子	日本橋	河村靈子	山口 光子
中西み子	高尾	桑原萬里子	山口 光子
野中美緒子	佐野	酒井尙子	山口 光子
長谷川淳子	磐城	志治梅子	山口 光子
森崎美子	夕陽	柴田俊子	山口 光子
八木喜美子	夕陽	進藤光子	山口 光子
原田隆子	本校	代橋紀子	山口 光子
子書子	本校	中井英子	山口 光子
勝貞子	本校	中島智子	山口 光子
小嶋ヒロ子	本校	蓮沼國子	山口 光子
林雅子	本校	藤山運子	山口 光子
赤松歌子	本校	宮本淑子	山口 光子

(一) 生徒児童幼見數

本校	附屬學校幼稚園	合計
生徒選科生 聽講生 特別計	高等女學校 國民學校幼稚園 兒童幼見計	
五七九	一八七	七六六

(二) 本校生徒數

學科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	合計
文科	三二	三二	二八	二六	一二
理科	五九	三三	三〇	二八	一四五
家事科	五〇	四九	五四	四八	一八二
體育科	二一	二一	二四	一七	八三
研究科	四	一	一	一	五
保育實習科	二四	一	一	一	二六
合計	一二四	一〇六	一〇七	九三	四二〇

(三) 附屬高等女學校生徒數

學科	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	合計
本國語部	一〇〇	一〇〇	一〇〇	九九	九八	四九七
政事部	二七	二二	二二	一	一	七二
合計	一二七	一二二	一二二	一〇〇	九八	六四〇

(四) 附屬國民學校兒童數

學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	合計
初等科 男	一	一	一	一	一	一	六
初等科 女	二六	二〇	一	一	一	一	四九
高等科 男	一	一	一	一	一	一	六
高等科 女	四四	四三	四三	四八	四二	四四	二六四
合計	二七	二二	二二	一	一	一	七二

備考 △印ハ選科生、*印ハ聽講生□ハ特別聽講生ヲ示ス

科別	學校		部		計
	第一	第二	第一	第二	
學科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
文科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
理科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
家事科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
體育科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
實習科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
聽講生	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
合計	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年

四 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別

科別	學校		部		計
	第一	第二	第一	第二	
學科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
文科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
理科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
家事科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
合計	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年

三 本校生徒年齡別

部	計		部	計	
	女	男		女	男
初等科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
合計	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年

(昭和十六年十二月現在)

科別	學校		部		計
	第一	第二	第一	第二	
學科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
文科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
理科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
體育科	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
合計	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年

部	計		部	計	
	女	男		女	男
第一	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
第二	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年
合計	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年	昭和三十五年	昭和三十四年

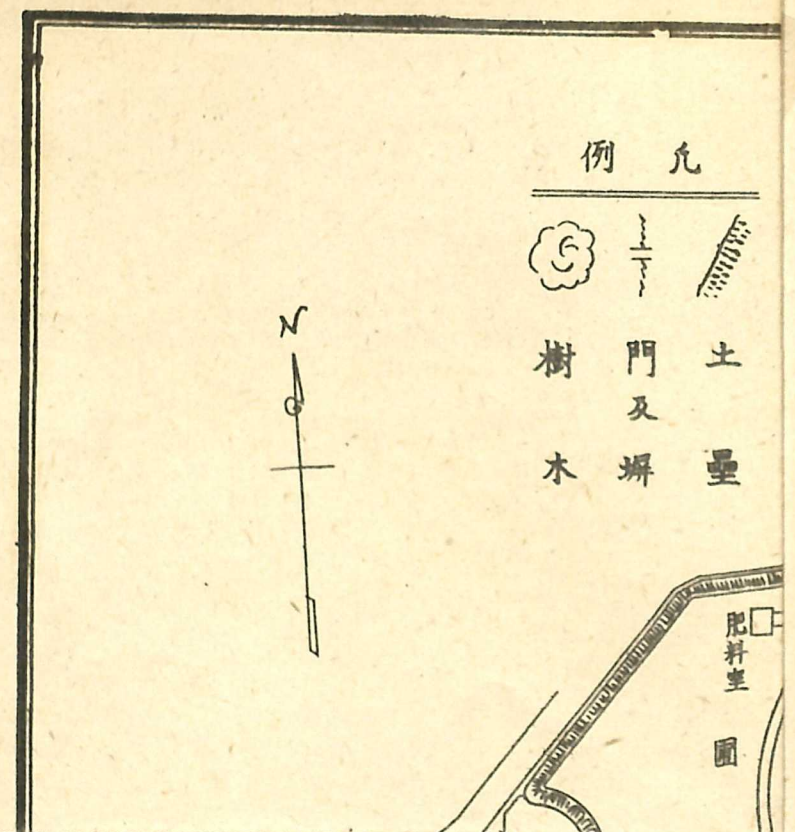
(五) 附屬幼稚園兒數

第十 卒業者

本校卒業者數 (卒業者ハ總計五千四百六人ニシテ其ノ年次學科別左ノ如シ)

年次	學科	小學師範科	高等師範科	文部	理科	技藝科	家事科	體育科	研究科	選科	專修科	國語	地理	國語	數學	物理	化學	圖畫	簿記	實習	講義	計	
明治十二年																							三
明治十三年																							三
明治十四年																							三
明治十五年																							三
明治十六年																							三
明治十七年																							三
明治十八年																							三
明治十九年																							三
明治二十年																							三
明治二十一年																							三
明治二十二年																							三
明治二十三年																							三
明治二十四年																							三
明治二十五年																							三
明治二十六年																							三
明治二十七年																							三
明治二十八年																							三
明治二十九年																							三
明治三十年																							三
明治三十二年																							三
明治三十四年																							三
明治三十六年																							三
明治三十八年																							三
明治三十九年																							三
明治四十年																							三
明治四十一年																							三
明治四十二年																							三
明治四十四年																							三
明治四十五年																							三
大正二年																							三
大正三年																							三
大正四年																							三
大正五年																							三
大正六年																							三
大正七年																							三
大正八年																							三
計																							三

年次	學科	小學師範科	高等師範科	文部	理科	技藝科	家事科	體育科	研究科	選科	專修科	國語	地理	國語	數學	物理	化學	圖畫	簿記	實習	講義	計	
明治二十八年																							三
明治二十九年																							三
明治三十年																							三
明治三十二年																							三
明治三十四年																							三
明治三十六年																							三
明治三十八年																							三
明治三十九年																							三
明治四十年																							三
明治四十一年																							三
明治四十二年																							三
明治四十四年																							三
明治四十五年																							三
大正二年																							三
大正三年																							三
大正四年																							三
大正五年																							三
大正六年																							三
大正七年																							三
大正八年																							三
計																							三



名	所	室	室	室	標本室	教官室	教室
記號	15	16	17	18	19	20	21
室名	教官閱覽室	幹事室	支那室	生徒閱覽室	事務室	藏書室	書庫

合計	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	昭和十一年	昭和十年	昭和九年	昭和八年	昭和七年	昭和六年	昭和五年	昭和四年	昭和三年	昭和二年	大正十五年	大正十四年	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正九年	
二六七																							
二五二〇六	六	元	美	量	量	元	量	量	量	量	量	量	量	量	量	元	量	量	量	量	量	量	量
四八八	五	量	量	量	量	量	元	量	量	量	量	量	量	量	量	元	量	量	量	量	量	量	量
四二六三																							
六七																							
三〇八	九	四	四	四	四	四	元	四	四	四	四	四	四	四	四	元	四	四	四	四	四	四	四
一三〇																							
五七五	七																						
一〇二	五	三	六	五	三	一	二	二	三	三													
一八七	二	一																					
一六																							
七五																							
八																							
八八																							
三																							
五九																							
四																							
五七七	六	三	四	四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	元	三	三	三	三	三	三	三
四四																							
五四	六	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	元	二	二	二	二	二	二	二
五四	六	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	元	二	二	二	二	二	二	二

第十一 敷地及建物

(昭和十七年二月調)

一 敷地

小石川區大塚町三十五番地ノ十三號十四號同區東青柳町二十八番地ノ一號ニ於テ新敷地二萬八千五百四十四坪三合二勺
東京府北多摩郡東村山村大字野口字萩山二千六百九十七番ノ三ニ於テ農場一千坪

二 建物

本校本館(鐵筋混凝土造三階) 二千五百七坪五合四勺六才(延坪)
講堂(鐵筋混凝土造) 四百六十坪二勺二才(延坪)
本校分館(木造二階建) 三百八十五坪(延坪)
雨天體操場及附屬建物(木造平家建) 二百八十坪
生徒控所(木造平家建) 五十九坪三合七勺五才

敷地及建物

集會所(木造平家建) 六十五坪

圖書閱覽室(木造平家建) 百五坪

溫室(鐵骨硝子張造平家建) 十五坪四勺三才

園丁室及物置、肥料室(木造平家建) 二十三坪

藥品庫(鐵筋混凝土造平家建) 二坪一合七勺八才

弓道場(木造平家建) 二十五坪七合五勺

書庫(鐵筋混凝土造三階建) 八十九坪八合四勺一才

便所及渡廊下物置(木造平家建) 百八十二坪二合一勺一才

寄宿舎及附屬建物(木造二階建及平家建)

一三三

千三百七十四坪六合六寸(延坪)
 寄宿舍附屬建物(鐵筋混凝土造平家建)
 百五十四坪
 寄宿舍附屬建物(木造平家建)
 三百一坪五合
 第二寄宿舍及附屬建物(木造二階建及一部平家建)
 三百坪
 第二寄宿舍附屬建物(木造平家建)
 七十三坪
 志賀高原體育運動場宿舍(木造二階建)
 九十一坪七合三勺(延坪)
 附屬高等女學校(鐵筋混凝土造三階建)
 千四百十四坪一合五勺
 附屬高等女學校雨天體操場(木造平家建)
 二百五十五坪五合八勺九寸
 附屬高等女學校渡廊下及物置(木造平家建)
 二十七坪九合三勺二寸
 附屬高等女學校弓道場(木造平家建)
 二十五坪五合
 厚生勤勞作業場休場及留守番住宅(木造平家建)
 三十六坪

生徒私有品置場
 四十八坪
 便所
 六坪
 附屬國民學校(鐵筋混凝土造二階建)
 千四十八坪二勺四寸
 附屬國民學校雨天體操場(木造平家建)
 百九坪七合七勺一寸
 附屬國民學校渡廊下及物置(木造平家建)
 二十坪五合八勺一寸
 厚生勤勞作業場兒童控場(木造平家建)
 八十二坪五合
 洗場其他
 十坪
 便所
 八坪
 渡廊下
 一坪五合
 附屬幼稚園(鐵筋混凝土造平家建)
 三百八十一坪九合九勺七寸
 附屬幼稚園物置及便所(木造平家建)

十坪

附屬幼稚園幼兒保育品材置場(木造平家建)
 十五坪
 生徒兒童用具納置所(木造平家建)
 五坪二合五勺
 門衛所(木造平家建)
 二十六坪一合六勺六寸
 配電室(鐵筋混凝土造平家建)
 六十二坪五合八寸
 機關室(鐵筋混凝土造平家建)
 七十一坪七合三勺七寸

三 建物略圖別圖

一 東京女子高等師範學校略圖

一 東京女子高等師範女學校如蘭報國會規則

第一章 名稱及目的

第一條 本會ハ東京女子高等師範學校如蘭報國會ト稱ス
第二條 本會ハ教學ノ本旨ニ則リ全校一致心身ノ修練ヲ行ヒ兼テ淳美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

第二章 組織

第三條 本會ハ東京女子高等師範學校ノ職員及生徒ヲ以テ之ヲ組織ス東京特設中等教員養成所ノ職員生徒ハ之ヲ東京女子高等師範學校ノ職員生徒ト看做ス
第四條 本會ニ左ノ五部ヲ置ク

- 一 總務部
- 二 鍛鍊部
- 三 國防部
- 四 文化部
- 五 生活部

第五條 總務部ハ企畫、指導、經理ニ當リ且他ノ部ニ屬セザル事務ヲ掌ル
鍛鍊部ニ弓道、薙刀、水泳、スキー、陸上競技、庭球、卓球、籠球、排球、旅行、志賀高原體鍊ノ十一班ヲ置キ全會員ハ弓道班乃至排球班中何レカ一ノ班員タルヘキモノトス但シ二以上ノ班員タルコトヲ妨ケス
國防部ニ付テハ東京女子高等師範學校特設防護團規程中職員生徒ニ關スル規定ヲ準用ス
文化部ニ學藝、書道、繪畫、謠曲、茶道、華道、音樂ノ七班ヲ置ク
生活部ニ風紀衛生購賣ノ三班ヲ置ク

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長	一名
副會長	一名
部長	六名
理事	六名
班長	各班ニ付一名
事務委員	四名
幹事	總務部幹事十名 各班幹事 四十二名
委員	若干名

第七條 會長ハ學校長之ニ當ル
副會長以下ノ役員ハ會長之ヲ任命ス 副會長、部長、理事

第三章 役員

第五條 會長ニ於テ會務運營上適當ト認ムルトキハ生徒委員會ヲ召集シ必要ナル事項ヲ協議セシム

班長、事務委員ハ職員ヲ以テ之ニ充テ幹事及委員ハ生徒ヲ以テ之ニ充ツ
第八條 役員ノ任務ハ左ノ如シ
會長ハ本會ヲ總理ス
副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ事務ヲ代理ス
部長ハ會長ノ指揮ヲ受ケ其ノ部ヲ統括シ部務ヲ掌理ス
班長ハ部長ヲ輔佐シ班務ヲ掌ル
理事ハ總務部ニ所屬シ部長ヲ輔佐シ部務ニ參畫ス
事務委員ハ總務部ニ所屬シ本會ノ庶務及會計ニ關スル常務ニ從事ス

幹事ハ總務部又ハ班ニ屬シ部長又ハ班長ノ指揮ヲ受ケ其ノ部又ハ班ノ常務ニ從事ス
委員ハ幹事ヲ輔ケテ其ノ班ノ常務ヲ取扱フ
第九條 幹事及委員ノ任期ハ四月ヨリ翌年三月迄トシ毎年四月中ニ之ヲ改任ス
但シ第一學年ノ生徒ニ付テハ毎年九月中ニ於テ之ヲ任命ス

第十條 教職員タル役員ヲ以テ役員會ヲ組織ス
役員會ハ會長之ヲ召集シ其ノ諮問ニ應ジ規則ノ改廢豫算決算其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項ヲ審議ス
第十一條 幹事及委員タル生徒ヲ以テ生徒役員會ヲ組織ス

第四章 會議

第十條 教職員タル役員ヲ以テ役員會ヲ組織ス
役員會ハ會長之ヲ召集シ其ノ諮問ニ應ジ規則ノ改廢豫算決算其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項ヲ審議ス
第十一條 幹事及委員タル生徒ヲ以テ生徒役員會ヲ組織ス

會長ニ於テ會務運營上適當ト認ムルトキハ生徒委員會ヲ召集シ必要ナル事項ヲ協議セシム

第五章 會計

第十二條 職員會員ハ手當月額三十圓以下ノ囑託員及月俸三十圓以下ノ雇員ヲ除キ會費トシテ每學年月俸百分ノ五（第一學期百分ノ二第二學期百分ノ二第三學期百分ノ二）ニ相當スル金額ヲ負擔ス
生徒會員ハ會費トシテ每學年金六圓六拾錢ヲ毎月分納ス但シ八月ヲ除ク生徒會員ハ入會ノ際入會金一圓ヲ納付スルモノトス
既納ノ會費及入會金ハ何ラノ事情アリトモ之ヲ返付セス
第十三條 本會ニ金品ノ寄附ヲ申出ツル者アルトキハ會長其ノ受否ヲ決定ス
第十四條 收入金ハ信用アル銀行ノ預金トシテ之ヲ保管ス
第十五條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
第十六條 本會ハ第十二條ノ會費第十三條ノ寄附金及第十四條ノ預金ヨリ生スル利子ヲ以テ收入トシ一切ノ經費ヲ支出トス
第十七條 總務部長ハ每年度ノ始ニ於テ其ノ年度ノ收入及支出豫算概算書ヲ編成ス

第十八條 避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フタメ又ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルタメニ豫備費ヲ設ク

豫備費ハ收入豫算金額ノ百分ノ五以上十以内トス

第十九條 物件ヲ購入又ハ營繕セムトスルトキハ各班幹事ハ所定ノ請求簿ニ品目、數量、價格、供給者又ハ請負者其ノ他ノ所事項ヲ記入シ當該班長ノ檢印ヲ經テ事務委員(會計擔當者)ニ差出スモノトス

事務委員ハ前項ノ請求簿ヲ接受スルトキハ直ニ購入又ハ營繕ノ手續ヲナシ請求簿ニ價格、豫算殘額等ヲ記入シタル上之ヲ物件ト共ニ請求者ニ交付又ハ引渡スモノトス

第二十條 豫備費ヲ以テ補充スヘキ費途及豫備費ヲ以テ支辨スヘキ費途ノ金額ハ總務部長ノ意見ヲ聞キ會長之ヲ決定ス

第二十一條 總務部長ハ毎年度ノ始メニ於テ前年度ノ總決算報告書ヲ調製ス

第二十二條 各年度ノ收入ニ剩餘ヲ生シタルトキハ之ヲ翌年度ノ收入ニ繰入ル

第二十三條 會長ハ各年度末ニ於テ事務委員中特ニ勤勞アル者ニ對シ若干金額ノ報酬ヲナスコトヲ得

二 東京女子高等師範學校報國隊規則

一、東京女子高等師範學校如蘭報國會及附屬高等女學校報國

會ヲ統一強化シ有事即應ノ體制ヲ確立スル爲本報國隊ヲ設ク

二、本報國隊ハ東京女子高等師範學校報國隊ト稱ス

三、本報國隊ハ如蘭報國會及附屬高等女學校報國會ニ員タル教職員及生徒全員ヲ以テ之ヲ組織ス

四、本報國隊ハ本隊、特技隊、特別警備隊トス

本隊ハ如蘭報國會及附屬高等女學校報國會全員ヲ以テ組織ス

特技隊ハ特殊ノ技能ヲ有スル者ヲ以テ組織シ救急隊及養護隊トス

特別警備隊ハ非常變災時ニ於ケル特別警備等ノ任ニ當ル者ヲ以テ組織ス

五、本報國隊長ハ如蘭報國會々長之ニ當リ全員ヲ統督ス

六、本報國隊ニ本部ヲ設ケ部員若干名ヲ置ク部員ハ教職員中ヨリ隊長之ヲ命ス

七、各隊ニ若干ノ大隊ヲ置キ大隊ハ之ヲ中隊ニ中隊ハ之ヲ小隊ニ小隊ハ之ヲ分隊ニ分ツ

大隊、中隊、小隊、分隊ニ各長ヲ置ク

大隊長、中隊長、小隊長ハ教職員中ヨリ分隊長ハ生徒中ヨリ隊長之ヲ命ス

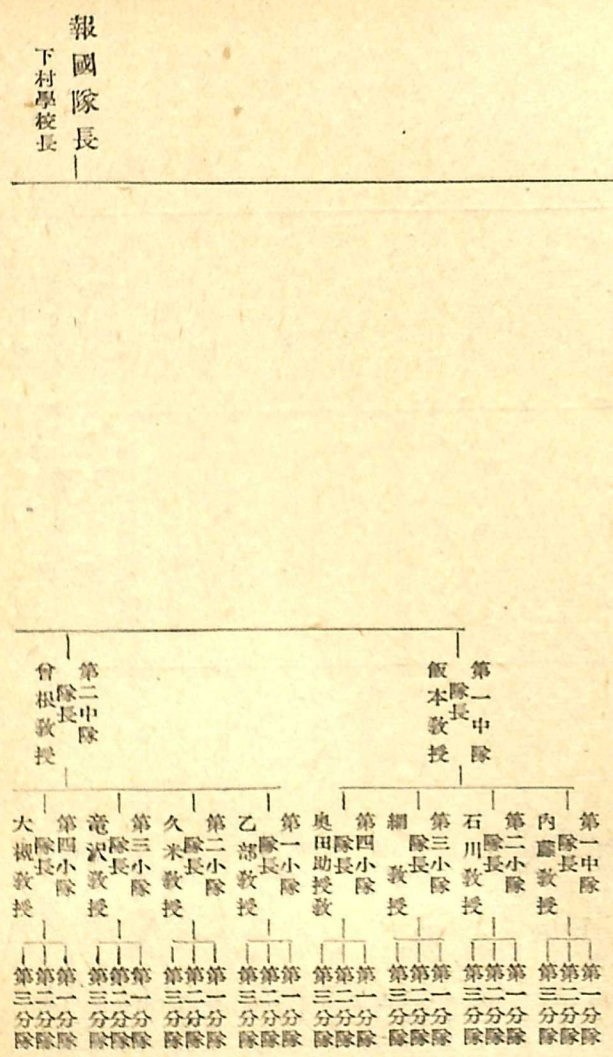
八、各大隊、中隊、小隊ニ大隊附、中隊附、小隊附ヲ置ク事

十、本報國隊編成表ハ別表ノ通トス

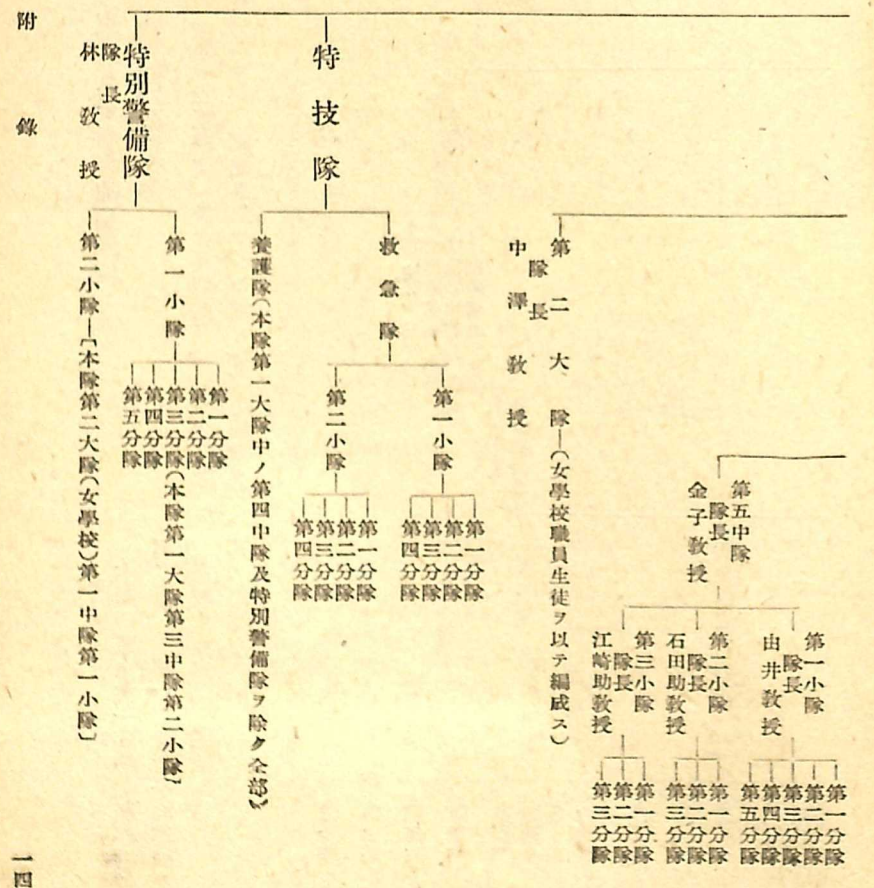
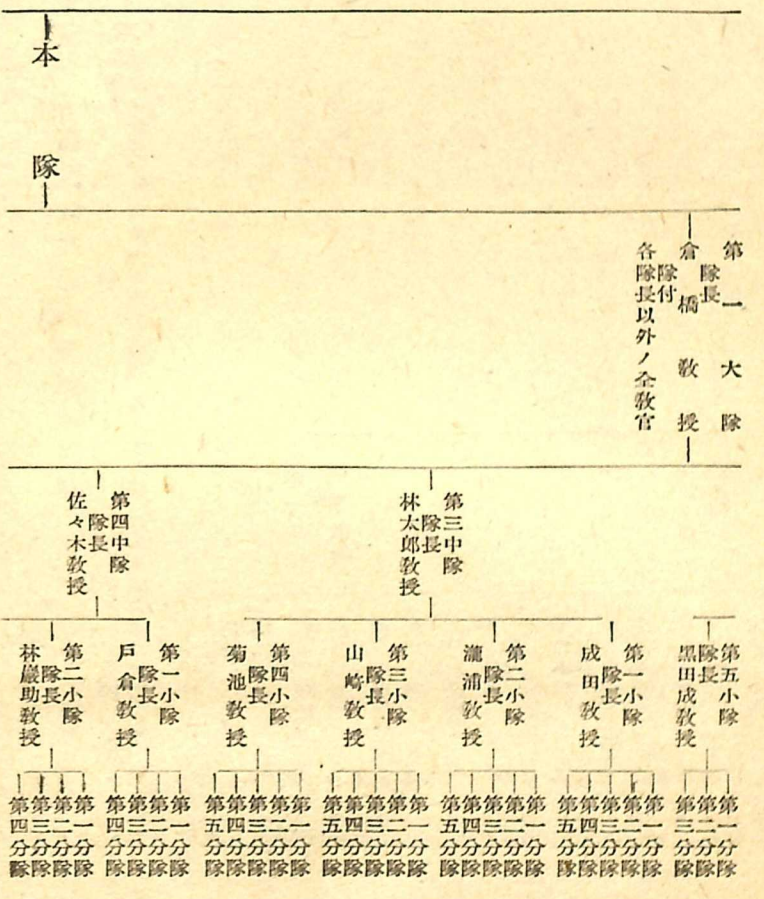
九、ヲ得教職員又ハ生徒中ヨリ隊長之ヲ命ス

東東女子高等師範學校報國隊組織

本部 津田教授、岩間教授、西野教授、佐々木教授、江木生徒主事、林助教、岡本事務官、中澤附屬高女主事、山形教諭



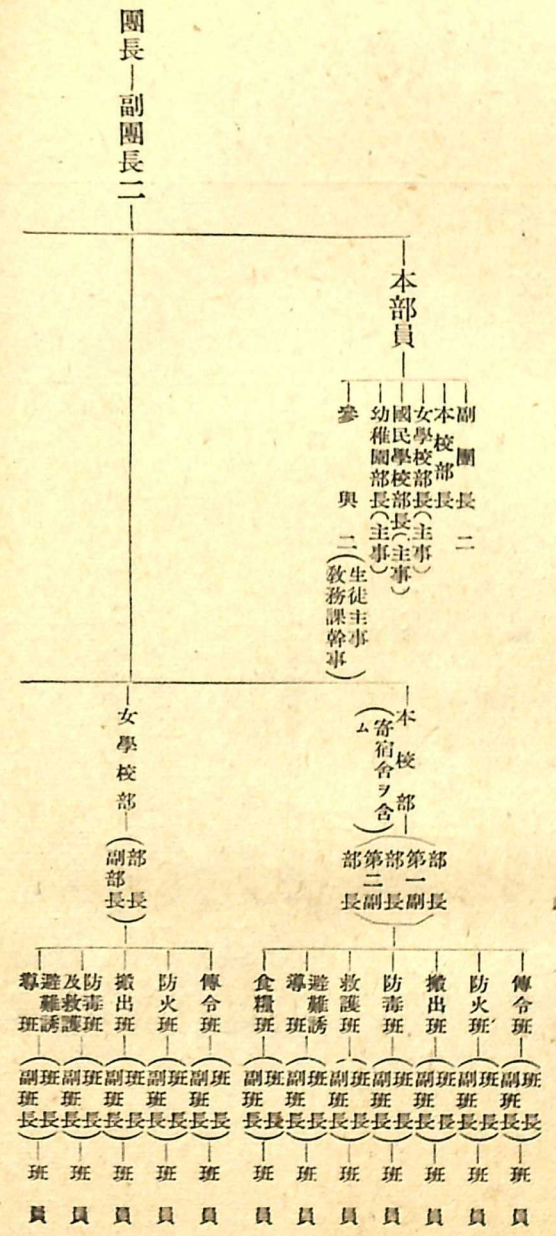
附 錄



三 東京女子高等師範學校
特設防護團規程

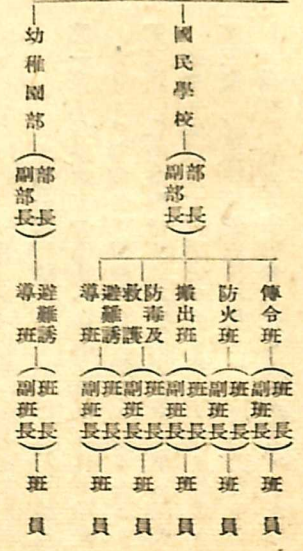
第一條 東京女子高等師範學校ニ於ケル防空及非常變災ニ處
スル防護ノ實施竝ニ其ノ訓練ヲ爲サンカ爲メ特設防護團ヲ

設ク
本團ハ東京女子高等師範學校特設防護團ト稱ス
第二條 本團ハ東京女子高等師範學校職員生徒及附屬高等女
學校生徒ヲ以テ編成ス
其ノ組織左ノ如シ



第三條 各役員ノ任務左ノ如シ

團長ハ學校校長之ニ當リ本團ヲ指揮統監ス
副團長ハ團長ヲ輔佐シ團長事故アルトキハ先任ノ副團長之
ヲ代理ス
本部員ハ團長ノ諮問ニ應シ又ハ意見ヲ具申シ本團ノ任務遂
行ニ關スル企畫經理其ノ他一切ノ事務ヲ掌ル
各部長ハ團長ノ命ヲ受ケ班長ヲ指揮ス副部長ハ部長ヲ輔佐
シ又ハ其ノ代理ヲナス
班長ハ部長ノ指示ヲ受ケ班員ヲ指揮ス副班長ハ班長ヲ輔佐
シ又ハ其ノ代理ヲナス
第四條 本部附各係ノ任務左ノ如シ
御眞影 勅語 令旨奉安係ハ空襲、非常變災等ニ際シ遲滯
ナク



傳令班

命令ノ傳達
通報ノ連絡

防火班

火災防止及警戒

搬出班

重要物品ノ搬出

防毒班

投彈ノ種類檢知

瓦斯彈搜查並ニ檢知

落彈地域ノ檢知、標示、警戒

消毒及除毒

防毒設備ニ關スル事項

救護班

患者ノ運搬

救急及治療ニ關スル事項

防毒及救護班

防毒班及救護班ノ任務ニ同シ

避難誘導班

避難者ノ誘導整理

避難所内ニ於ケル一切ノ指導監督

食糧班

食糧ノ調理
炊出及配給

第六條 各部各係、各班ハ互ニ連絡協同シ防護ノ完備ヲ期スルモノトス

第七條 警報ハ原則トシテ電鈴ヲ以テシ其ノ種別ヲ左ノ如ク如ム

空襲警報

其ノ他ノ非常變災

警報

以上ノ解除

四 東京女子高等師範學校寄宿

舍生徒規約

第一章 總規

第一條 私達寄宿舍生徒ハ自治ノ精神ニ基キ學校ノ規則命令ヲ守ツテ寄宿舍ヲ校風發揚ノ源泉ト致シマセウ

第二條 私達寄宿舍生徒ハ寮内ノ秩序ヲ整ヘ風儀ヲ正シ且ツ衛生ニ留意シテ寄宿舍ヲ清イ氣持ノ好イ領域ト致シマセウ

第三條 私達寄宿舍生徒ハ寮ヲ一ツノ自治體トシテ相結ビ互ニ融和輯睦シテ寄宿舍ヲ安ラカナ潤ヒノアル生活境ト致シ

マセウ

第二章 役員

第四條 寄宿舍ニ左ノ役員ヲ置ク

一 寄宿舍全體ニ關スルモノ

(一) 寮總代

(二) 炊事部委員

(三) 文庫部委員

(四) 購買部委員

二 各寮ニ關スルモノ

(五) 寮總代

(六) 會計部委員

(七) 運動部委員

(八) 娛樂部委員

(九) 園藝部委員

(十) 整理部委員

第五條 寮總代ノ任務ハ左ノ通之ヲ定メル

一 生徒主事ノ指揮ニ從ツテ其ノ寮ノ常務ヲ取扱ヒ規約第一章ノ趣旨ヲ達成スル上ニ其ノ寮ニ於ケル責任ヲ負フコト

二 各寮ニ於テ臨時修養會ヲ催ス事ヲ得ルコト其ノ際若シ講師ヲ招ク場合ニハ生徒主事ノ承認ヲ受ケルコト

三 本規約第三章ノ施行ノ件ニ當ルコト

四 寮共有ノ備品ヲ保管スルコト

五 全寮生ヲ代表スルコト

六 毎月一回以上寮總代會議ヲ開催スルコト

七 其ノ寮ニ於テ新ナ試ミヲシヨウトスルトキニハ生徒主事ノ承認ヲ受ケルコト

八 毎學期一回寮總代會ヲ開イテ各寮ノ連絡ヲ取ルコト但必要ト認メル場合ニハ臨時ニ開クコトヲ得ルコト

九 寮内ニ事故カ起キタ時ニハ直ニ之ヲ生徒主事ニ報告スルコト

十 寮ノ火ノ元取締ニ就イテ責任ヲ負フコト

第六條 炊事部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

一 食事及食堂ニ關スル一切ノ事務ニ當ルコト

二 各寮ノ會計部委員カラ差出シタ食費ヲ纏メテ銀行預金トスルコト但預金通帳ノ名義及保管ハ生徒主事ニ委囑スルコト

三 月末ニ於テ炊事諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ承認ヲ經テ之ヲ舍生ニ報告スルコト

四 所屬備入ノ指導監督ニ當ルコト

五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ三名ツツヲ互選スル

第七條 文庫部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

- 一 文庫ノ整理圖書ノ整理保存ニ當ルコト
- 二 舍生ノ意見ヲ徴シテ生徒主事ノ指導ノ下ニ圖書ヲ購入スルコト
- 三 毎月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ文庫部費ヲ受ケ取リ經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ文庫ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
- 四 第二學期ノ終ニ各科三年生カラ一名ツツヲ互選スルコト

第八條 購買部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

- 一 舍生ノ要求ニ應ジシ生徒主事ノ承認ヲ經テ物品ヲ購入シ之ヲ舍生ニ販賣スルコト
- 二 月末ニ於テ購買ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
- 三 購買部ノ純益ハ役員會議ニ依リ生徒主事ノ承認ヲ得テ費途ヲ定メルコト
- 四 所屬備人ノ指導監督ニ當ルコト
- 五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ一名ツツヲ互選スルコト

第九條 室總代ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

- 一 寮總代ノ指示ニ從ツテ其ノ室ノ常務ヲ取扱ヒ寮總代ヲ助ケテ規約第一章ノ趣旨ヲ達成スル上ニ其ノ室ニ於ケル責任ヲ負フコト
 - 二 室内ノ備品ヲ保管スルコト
 - 三 其ノ室友ヲ代表スルコト
 - 四 毎月始室友ノ食費及舍費ヲ集メテ會計部委員ニ差出スルコト
 - 五 室友中ニ病者又ハ事故アル者ヲ生シク時ニハ直ニ之ヲ生徒主事ニ報告スルコト
 - 六 室ノ火ノ元戸締ニ就イテ責任ヲ負フコト
- 第十條 會計部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
- 一 各寮各室總代カラ差出シク食費及舍費ヲ纏メ食費ハ之ヲ炊事部委員ニ差出シ舍費ハ之ヲ銀行預金トスルコト但預金通帳ノ名義保管ハ生徒主事ニ委囑スルコト
 - 二 食費及舍費ハ左ノ通トスルコト
 - 食費 一日五十錢ノ割
 - 舍費 一箇月平均壹圓七拾錢但シ七、八ノ二箇月ハ徵集セス
 - 三 舍費ノ費目ハ左ノ通トスルコト

1 圖書部費

- 2 運動部費
- 3 娛樂部費
- 4 園藝部費
- 5 整理部費
- 6 炊事部以外ノ石炭及木炭費
- 7 備人給料
- 8 雜費

四 舍費ニ就イテハ每學期ノ始ニ收支ノ豫算ヲ編成スルコト但圖書部費、運動部費、娛樂部費、園藝部費、整理部費ニ就イテハ先ツ當該部ノ委員ニ於テ其ノ原案ヲ作製スルコト

收支豫算ハ役員會ニ於テ之ヲ決議シ生徒主事ノ承認ヲ受ケルコト

五 毎月末ニ於テ舍費ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ承認ヲ經テ之ヲ舍生ニ報告スルコト

六 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ三名ツツヲ互選スルコト

第十一條 運動部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

- 一 寮生ノ健康ノ向上ニ務メルコト
- 二 寮生ノ希望ヲ徵シ寮總代ト協議ノ上生徒主事ノ承認ヲ

受ケテ各寮適宜ニ次ノヤウナ會ヲ催スコトヲ得ルコト

- 1 運動競技會
 - 2 遠足會
- 右ハ寄宿舍全體又ハ幾寮カ聯合シテ開クコトヲ得ルコト
- 三 其ノ寮ノ運動器具ノ整理保管ニ當ルコト
 - 四 寮生ノ希望ヲ徵シ生徒主事ノ承認ヲ經テ運動器具ヲ購入スルコト
 - 五 毎月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ運動部費ヲ受ケ取リ經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ運動部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
 - 六 第二學期ノ終ニ各寮ノ二、三年生カラ一名ツツヲ互選スルコト

第十二條 娛樂部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル

- 一 特ニ本規約第一章第三條ノ趣旨ヲ達成スルコトニ努メルコト
- 二 寮總代ト協議ノ上生徒主事ノ承認ヲ受ケテ各寮適宜ニ次ノヤウナ會ヲ催スコトヲ得ルコト
 - 1 茶話會
 - 2 音樂會
 - 3 茶ノ湯、生花其ノ他ノ會

- 右ハ寄宿舎全體又ハ幾寮カ連合シテ開クコトヲ得ルコト
- 三 其ノ寮ノ娛樂器具ノ整理保管ニ當ルコト
- 四 寮生ノ希望ヲ徴シ生徒主事ノ承認ヲ經テ娛樂器具ヲ購入スルコト
- 五 毎月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ娛樂部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ娛樂部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
- 六 第二學期ノ終ニ各寮ノ二、三年生カラ一名ツツヲ互選スルコト
- 第十三條 園藝部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
 - 一 各寮所屬ノ庭園ヲ常ニ美シク清ク保ツコトニ就イテ責任ヲ負フコト
 - 二 各寮ノ庭園ニ附屬スル器具及園藝材料ヲ保管スルコト
 - 三 季節ニ應ジテ適當ノ園藝材料ヲ購入シ之ヲ始末スルコト
 - 四 毎月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ園藝部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ園藝部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト

- 五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ一名ツツ二年生カラ二名ツツヲ互選スルコト
- 第十四條 整理部委員ノ任務等ハ左ノ通之ヲ定メル
 - 一 各寮及其ノ寮ノ掃除分擔箇所ノ整理整頓ニ就イテ一切ノ責任ヲ負フコト
 - 二 各寮ヲ清潔ニスル爲左ノ通掃除ヲ行フ
 - イ 毎朝 普通掃除
 - ロ 毎週土曜日朝 大掃除
 - ハ 毎月一回月中旬ノ日曜日朝 特別大掃除
 - 三 毎月中旬ニ於テ會計部カラ其ノ月分ノ整理部費ヲ受ケ取り經理ノ任ニ當リ月末ニ於テ整理部ニ關スル諸帳簿ヲ精査シ一箇月ノ決算表ヲ作ツテ生徒主事ニ提出シ其ノ査閱ヲ經テ舍生ニ報告スルコト
 - 四 各寮ノ掃除器具ノ請求及保管ノ任ニ當ルコト
 - 五 第二學期ノ終ニ各寮ノ三年生カラ二名ツツヲ互選スルコト

第三章 制裁

- 第十五條 寮生中規約ヲ犯シ風儀ヲ紊リ其ノ他寮生ノ本分ニ背ク者カアルトキニハ事情ヲ知ツテキル室友又ハ寮友カ之ニ忠告ヲ加ヘ尙改メヌ時ニハ室長會議ヲ開イテ適當ナ制裁ヲ加ヘ極力其ノ矯正ヲ圖ルコト

附 規

- 第十六條 本規約ノ訂正、削除、追加等ノ必要ヲ生シタ場合ニハ役員會ノ決議ニ依リ生徒主事ヲ經テ學校長ノ承認ヲ受ケルコト

東京女子臨時教員養成所一覽

東京女子臨時教員養成所一覽

自昭和十六年
至昭和十七年

目次

第一 沿革略	一	三 事務分掌規程	二二
第二 學年曆	二	四 文書處理規程	二三
第三 關係法令	三	五 物品會計規程細則	二三
一 臨時教員養成所官制	三	六 非常心得	二三
二 臨時教員養成所規程	四	第六 職員	二三
三 臨時教員養成所卒業者服務規則	四	第七 生徒	二五
四 臨時教員養成所學科名稱等	五	一 生徒氏名	二五
五 臨時教員養成所管理者職務規程	五	二 生徒數	二六
第四 規則	六	三 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別	二六
一 東京女子臨時教員養成所規則	六	四 生徒年齡別	二六
二 東京女子臨時教員養成所生徒學費支給規則	一〇	第八 敷地及建物	二七
第五 細則	二		
一 生徒心得細則	二		
二 職員服務規程	三		

東京女子臨時教員養成所一覽

第一 沿革 略

昭和十六年 三月六日文部省令第三號ヲ以テ臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘラレ同日付文部省告示第九十三號ヲ以テ東京女子高等師範學校内ニ東京女子臨時教員養成所ヲ設ケ家事體操科ヲ置キ同年四月ヨリ開所ス臨時教員養成所官制ニ基キ東京女子高等師範學校長下村壽一之ヲ管理ス是レ本所ノ起源ナリ

昭和十六年 四月十六日許可ヲ得テ本所規程ヲ定ム○四月十

一日阿部好子外二十九名ニ對シ入學許可式ヲ舉行ス○十一月二十一日文部省令第八十四號ヲ以テ臨時教員養成所規程中改正ヲ加ヘ第十一條ノ二ヲ削ル

昭和十七年 二月十二日文部省告示第五十三號ニヨリ本所ニ理科ヲ増置セラル○二月十六日文部省令第六號ヲ以テ臨時教員養成所規程中ニ改正ヲ加ヘ各學年ノ修業年限ハ三年トナル

第二 學年 曆

東京女子高等師範學校學年曆ヲ適用又ハ準用ス

第三 關係法令

一 臨時教員養成所官制

(明治三十五年三月二十七日勅令第百一號、明治三十六年第二百三十二號ヨリ昭和四年第四十二號マデ屢次改正)

- 第一條 臨時教員養成所ハ師範學校、中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
- 第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學、高等師範學校及直轄諸學校内ニ之ヲ置ク
- 第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長高等師範學校長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ管理セシム
- 第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得
- 第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

關係法令

附則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 臨時教員養成所規程

(明治三十五年三月二十九日文部省令第百八號、明治三十九年第三號ヨリ昭和十七年第六號マデ屢次改正)

- 第一條 臨時教員養成所ニハ國語漢文科、英語科、數學科、博物科、物理化學科、家事裁縫科、家事體操科、理科家事科、歷史地理科、理科、音樂科、體操科ノ一學科若ハ數學科ヲ置ク
- 第二條 前條各學科ノ修業年限ハ三年トス
- 第三條 國語漢文科ノ學科目ハ修身、教育、國語漢文、言語學、歷史、地理、英語(隨意科目)體操(隨意科目)トス
- 第四條 英語科ノ學科目ハ修身、教育、英語、國語及漢文、言語學、體操(隨意科目)トス
- 第五條 數學科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、簿記、英語、體操(隨意科目)トス

第六條 博物科ノ學科目ハ修身、教育、動物、植物、生理及

衛生、礦物及地質、英語、體操(隨意科目)トス

第七條 物理化學科ノ學科目ハ修身、教育、物理化學、數學

圖畫及手工、英語、體操(隨意科目)トス

第七條ノ二 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫

國語、應用理科、手藝、圖畫、體操トス

第七條ノ三 家事體操科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、

理科、國語、音樂トス

第七條ノ四 理科家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、

數學、體操、英語(隨意科目)トス

第七條ノ五 歴史地理科ノ學科目ハ修身、教育、歴史、地理

法制及經濟、英語、體操(隨意科目)トス

第七條ノ六 理科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、動物

植物、生理及衛生、礦物及地質、體操、英語(隨意科目)ト

第七條ノ七 音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌、器樂(オ

ルガン又ハピアノ)國語、音樂通論、和聲論、音樂史、英

第七條ノ八 體操科ノ學科目ハ修身、教育、體操、柔道又ハ

劍道、生理及衛生、英語(隨意科目)トス

第八條 各學科ノ修業年限及各學科目ノ每週教授時數ハ管理

者之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受

ケ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年

ハ分テテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日

マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ

第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

休業日ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ

第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業、女子ニ在

リテハ修業年限四箇年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リテ之

ヲ行フ但シ中學校、高等女學校及師範學校ノ卒業生ニ限リ

時宜ニヨリ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニ

ハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ管

理者ノ見込ニ因リ某學科目ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得

第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業

證書ヲ授與スヘシ

管理者ハ前項ノ卒業生ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣

ニ申請スヘシ

第十四條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及品行不良

ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但シ

已ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此

ノ限ニ在ラス

第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒

ヲ加フルコトヲ得

第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徴收セス

第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徴收スルコ

トヲ得

第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學費ヲ補

給スルコトアルヘシ

第二十條 削除

第二十一條 左ノ各號ニ該當スル者ハ在學中補給シタル學費

ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ其ノ

一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第十四條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者

二 第十五條但書ニ依リ退學シタル者

附則

本令ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際第十一條ノ二ノ規定ニ依リ現ニ其ノ教育ヲ委託

セラレタル家事科生徒ハ之ヲ家事裁縫科ノ生徒ト看做ス

三 臨時教員養成所卒業生服務規則

女子高等師範學校卒業生服務規則(大正十年四月二十六日)參照

四 臨時教員養成所學科名稱

名稱

東京女子臨時教員養成所

(東京女子高等師範學校内)

學科

家事體操科 理科

五 臨時教員養成所管理者職務規程

(明治三十五年四月一日)

臨時教員養成所管理者職務規程ハ當該學校長ノ職務規程ヲ准

用ス

第四規則

一 東京女子臨時教員養成所規則

- 第一條 本所ニ家事體操科及理科ヲ置ク
- 第二條 家事體操科、理科ノ修業年限ハ三箇年トス
- 第三條 生徒定員ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 家事體操科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、理科、音樂、國語、英語トス
- 理科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、動物、植物、園藝、生理及衛生、地學、數學。體操、音樂、英語トス
- 第五條 家事體操科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數及程度ハ左表ニ依ル

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	二倫理概説、禮法	二東洋倫理	二國家學、國民道德
教育	二心理學	二教育學	二教授法學校管理法

計	家事			體操			理科			音樂			國語			英語		
	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三	一	二	三
三	五	二	三	九	九	九	九	三	三	三	三	三	一	一	一	一	一	一

備考 教育實習ハ第三學年ニ於テ之ヲ行ハシム
第六條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數及程度ハ左表ニ依ル

學科目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
動物	四一般動物學	三同上	二同上
植物	四外部形態、分類一般、實驗	三組織及細胞實驗	二遺傳及生理、實驗
生理及衛生	二生理學大意	二生理學大意	二衛生學大意
地學	二地質學大意	二地質學大意	一資源論
數學	四代數、幾何、三角法	三應用數學	一應用數學
體操	三體操、教練、遊藝、競技	三同上	三同上

計	音樂			國語			英語		
	一	二	三	一	二	三	一	二	三
三	一	二	三	一	二	三	一	二	三

備考 教育實習ハ第三學年ニ於テ之ヲ行ハシム
第三學年ニ於ケル物理(五)化學(五)動物(四)植物(四)生理及衛生(二)トハ選修科目ニシテ其ノ一ヲ履修セシム
第七條 學年學期及休業日ハ東京女子高等師範學校規則第一章第三節ノ各條ニ依ル
第八條 本所ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルヘシ
一 身體健全品行方正ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者
二 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但シ(一)又ハ(二)ノ學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ニ於テ本所ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得
(一)女子師範學校又ハ高等女學校卒業者
(二)專門學校入學者檢定規程ニ依リ卒業者ニ付一般ノ專門學校入學ニ關シ修業年限四箇年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ文部大臣ノ指

定ヲ受ケタル學校ノ卒業者

(三)右ノ外專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試験檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

(四)專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者

(五)國民學校本科正教員免許狀ヲ有スル者

第九條 前條第二號ノ(一)又ハ(二)ニ該當スル入學志願者ハ出身學校又ハ當該學校長ノ推薦ヲ要ス

出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願者ヲ推薦スルトキハ推薦書ニ別ニ定ムル様式ニ依ル入學願書、履歷書、學業成績調査、人物考定書、戶籍謄本及寫眞ヲ添付シ指定ノ期間及ニ差出スヘシ

第十條 第八條(三)、(四)又ハ(五)ニ該當スル入學志願書ハ直接本人ニ於テ別ニ定ムル様式ニ依ル入學願書、履歷書、戶籍謄本、寫眞及(三)ニ該當スル者ハ合格證明書、(四)ニ該當スル者ハ合格證明書(五)ニ該當スル者ハ免許狀寫ヲ指定期間内ニ差出スヘシ

第十一條 入學志願者ニシテ現ニ官公ノ職務ニ在ル者又ハ服務義務ヲ有スル者並ニ在學中ノ者ニシテ卒業後服務義務ヲ有スル者ハ第九條又ハ第十條ニ掲記セル書類ノ外本屬長官

ノ承諾書ヲ添付スルヲ要ス
第十二條 入學志願者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ入學ヲ許可セス
一 身體虛弱ナルモノ
二 精神機能ニ障碍アル者
三 急治ノ見込ナキ重症トシテホムヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ〇、五以上ニ矯正シ得サル視力障碍ヲ有スル者
四 高度ノ色神障碍ヲ有スル者
五 著シキ聽力障碍又ハ言語障碍ヲ有スル者
六 高度ノ背柱彎曲、著シキ畸形又ハ運動障碍ヲ有スル者
七 肺其ノ他ノ機關ニ結核性疾患アル者
八 癩ヲ患フル者
九 重症心臓疾患ヲ患フル者
一〇 悪性腫瘍、腎臟疾患、糖尿病又ハ重症貧血ニ罹リ急治ノ見込ナキ者
一一 花柳病又ハ重疾ヘルニアヲ患フル者
一二 其ノ他修學上ニ妨アル持久性疾患又ハ異常アル者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾患アル者
第十三條 入學志願者ニ對シ選拔試験ヲ行ヒ入學候補者ヲ選拔ス
選拔試験ト科目及其ノ程度、期日、場所、募集人員其ノ他

必要ナル事項ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第十四條 入學候補者ニ對シ身體檢査及口頭試問ヲ行ヒ入學者ヲ選拔ス

第十五條 入學者ハ別ニ定ムル様式ニ依ル誓書ヲ差出スヘシ

第十六條 入學者ハ保證人ヲ届出ツヘシ

保證人ハ父兄之ニ當リ生徒ノ身上ニ關スル一切ノ事件ヲ引受クヘキモノトス但本文ニ該當スル者ナキトキハ他ノ尊屬又ハ後見人ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第十七條 保證人東京市内又ハ其ノ附近ニ居住セザルトキハ別ニ代理保證人ヲ定ムヘシ

代理保證人ハ東京市内又ハ其ノ附近ニ居住スル丁年以上ノ親族又ハ獨立ノ生計ヲ營ム者ニシテ本所ノ要求スル場合ニ於テ保證人ノ義務ヲ代理スヘキモノトス

代理保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ

第十八條 保證人又ハ代理保證人ハ別ニ定ムル様式ニ依ル保證書ヲ差出スヘシ

第十九條 生徒ニハ人員ヲ限リ學費トシテ一箇年貳百四拾圓ヲ給與ス

第二十條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但管理

者ニ於テ特別ノ理由アリト認メタル者ハ此ノ限リニ在ラ

ル

規

則

九

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當セリト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者

二 學業進マズシテ成業ノ目途立タサル者

三 品行修ラサル者

四 本所教育ノ趣旨ニ適セサル者

第二十二條 在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ許可セラレタル者ハ授業費及補給セラレタル學費ヲ償還スヘシ但文部大臣ヨリ其ノ全部又ハ一部ヲ免除セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 生徒ハ管理者ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ノ志願ヲナスコトヲ得ス

第二十四條 學業成績ハ評點ヲ以テ之ヲ表示ス

第二十五條 各學科目ハ之ヲ一ノ評點科目トス但每週教授時數ヲ顧慮シ之ヲ二以上ノ評點科目ニ分ツコトアルヘシ

各評點科目ノ評點ハ一〇ヲ以テ最高トス

第二十六條 學期成績評點ハ各評點科目ニ就キ平素ノ學業ノ成績又ハ試験及平素ノ學業ノ成績ヲ考查シ且勤惰ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第二十七條 學年成績評點ハ各評點科目ニ就キ各學期成績評

點

九

點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

第二十八條 卒業成績評點ハ各學年ノ平均成績評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

第二十九條 各學年ノ課程ノ修了ハ各學年成績評點全課程ノ卒業ハ卒業成績評點ニ依リ之ヲ認定ス

第三十條 全課程ヲ卒業シタル者ニ對シテハ卒業證書ヲ授與ス卒業證書ノ様式ハ左ノ通ニテ定ム

卒業證書	何	某
所印	年	月
右者本所何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ	年	月
證ス	日	日生
東京女子臨時教員養成所管理者		
東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某印		
番		
號		

第三十一條 一箇年以上ノ課程ヲ履修セル生徒ニハ其ノ學業成績ヲ願慮シ所定ノ學科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアルヘシ
前項ニ該當スル者ニ授與スヘキ卒業證書ノ様式ハ左ノ通之

ヲ定ム

卒業證書	何	某
所印	年	月
右者本所何科何又ハ何ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ因テ	年	月
茲ニ之ヲ證ス	日	日生
東京女子臨時教員養成所管理者		
東京女子高等師範學校長位勳學位爵何某印		
番		
號		

第三十二條 本規則ハ昭和十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 東京女子臨時教員養成所生徒
學資支給規則

第一條 本所生徒ニハ人員ヲ限リ給費生ヲ命シ之ニ學資トシテ一箇年金貳百四拾圓ヲ支給ス

第二條 學資ハ給費生ヲ命シタル月ヨリ毎月分割支給ス但月

ノ十五日以後ニ於テ給費命令ヲ發シタル場合ハ其ノ月ニ限り給費ハ半額トス特別ノ事由アル場合ニハ經伺ノ上給費命令ノ時日ニ係ラス其ノ年額ノ全部又ハ一部ヲ支給スルコトアルヘシ

第三條 學資ハ其ノ月二十二日(休業日ナレハ繰下ク)ニ之ヲ支給ス但七月ニ在リテハ七日ニ之ヲ支給ス

第四條 學資ノ支給ヲ受クル生徒ニシテ休學ヲ命セラレタル者ニハ其ノ期間學資ノ支給ヲ中止ス但其ノ月ニ於ケル學資ノ支給ハ日割計算トス

半途退學者ノ學資支給ニ就テハ前項但書ニ依ル

第五細則

一 生徒心得細則

東京女子高等師範學校生徒心得細則ハ之ヲ本所生徒ニ適用又ハ準用ス

六 非常心得

東京女子高等師範學校非常心得ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

二 職員服務規程

東京女子高等師範學校職員服務規程ハ之ヲ本所職員ニ適用ス

三 事務分掌規程

東京女子高等師範學校事務分掌規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

四 文書處理規程

東京女子高等師範學校文書處理規程ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

五 物品會計規程細則

東京女子高等師範學校物品會計規程細則ハ之ヲ本所ニ適用又ハ準用ス

第六職員

(昭和十七年二月末調)

教育	東京女子高等師範學校校長	菅原 教造
家事	東京女子高等師範學校教員	西野 みよし
家政	東京女子高等師範學校教員	佐々木 等
體操	東京女子高等師範學校教員	由井 泰三
家事	東京女子高等師範學校教員	久米 芳三
理科	東京女子高等師範學校教員	津田 健三
英語	東京女子高等師範學校教員	菊池 健三
理科	東京女子高等師範學校教員	金子 彦二
國語	東京女子高等師範學校教員	石川 謙三
修身	東京女子高等師範學校教員	戸倉 八郎
體操	東京女子高等師範學校教員	瀧浦 さだ
衣	東京女子高等師範學校教員	

體操	東京女子高等師範學校助教授	北原 婦美子
禮法	東京女子高等師範學校助教授	岡 八ツノ
理科	東京女子高等師範學校助教授	阿武 喜美子
體操	東京女子高等師範學校助教授	川村 房子
弓道	東京女子高等師範學校助教授	本多 利時
音樂	東京女子高等師範學校助教授	加古 三枝子
體操	東京女子高等師範學校助教授	林 雅英
理科	東京女子高等師範學校助教授	神山 雅英
體操	東京女子高等師範學校助教授	石山 平作
音樂	東京女子高等師範學校助教授	山田 貞
弓道	東京女子高等師範學校助教授	山田 松二

教務囑託

家事 家事 家事 化學 體操 體操

學科主任

家事體操科第一學年

事務分擔

應務課幹事 教務課幹事 圖書課幹事 生徒主事 庶務課會計掛 庶務課庶務掛 庶務課會計掛

講師 由井チイ

島田壽子 島中英美子 藤木喜美子 山西貞子 望月和子 中村淑子

圖書課 教務課 生徒課

醫務囑託

囑託 山内純雄 囑託 野島彌三郎 囑託 橋田弘久 囑託 本間辰蔵

第七生 徒

(昭和十七年二月末調)

一 生徒氏名

(氏名ハ五十音順トス氏名ノ下段ハ出身學校名略稱ヲ示ス略稱ハ師範學校ヲ「師」、女子師範學校ヲ「女師」、トシ高等女學校ヲ省ク)

阿部好子	東京第十	鈴木良子	佐藤
伊藤光宮	古	高木とみ子	横濱第一
飯田宮子	賞	高田政恵	第一岡山
磯村和子	横濱第一	谷合久江	東京第九
磯野弘子	見付	千葉怜子	磐城
大江喜三枝	本校附屬	坪井喜代子	西條
大熊瑞璃子	小椋	西沼きみ子	前橋
大風間カオル	札幌	藤沼秋安	忍岡
神尾光子	山形第一	古屋秋菜	東京第六
北川千賀子	高岡	益子ふみ子	水戸第一
衣川了江子	舞鶴	三井ひさか	甲府
佐藤千鶴子	熊谷	六角英子	磐城
佐藤綾子	東調布	山口喜久枝	函館
酒井アヤ子	栃木	笠口喜久枝	東京第二
庄司文子	本校附屬	笠原	藤

二 生徒數

學科	第一學年	計
家事體操科	三〇	三〇
總計	三〇	三〇

三 入學志願者及入學者學歷及卒業年次別 (昭和十六年度)

學科	入學志願者	師範學校		高等女學校					合計
		第一部	第二部	修業年限四年	修業年限五年	修業年限二年	小計		
家事體操科	三	三	三	三	三	三	三	三	三
合計	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

四 生徒年別齡

學科	學年	最年	最	低	平均
家事體操科	第一學年	二二・三	二二・三	一六・二	一八・四

第九 敷地及建物

敷地ハ東京女子高等師範學校敷地ヲ使用ス
建物ハ東京女子高等師範學校建物ヲ使用ス

昭和十七年三月十七日印刷
昭和十七年三月二十二日發行

(非賣品)

東京女子高等師範學校

印刷者 東京市四谷區新堀江町三番地
小川 義一
印刷所 東京市四谷區新堀江町三番地
秀文社印刷所